

SAGA

SAGA UNIVERSITY GUIDE BOOK 2024



国立大学法人 佐賀大学 大学案内 2024

UNIV.

人生に差がつく4年間

そのサガ、 サガ大。

人生の中で、大学生活はたった4年間。

けれど、この4年間でどう過ごすかが、あなたの未来を変える鍵。

今はまだ、やりたいことが見つかっていなくても大丈夫。

多くの選択肢の中で、あなたらしく輝ける場所が必ずあるから。

さあ、まずは飛び込んでみよう。

4年後のあなたは、きっと今より大きく成長しているはず。

人生に差がつく4年間は、ここ、佐賀大学に準備されています。

佐賀大学憲章

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

<魅力ある大学>

目的をもって活き活きと学び行動する
学生中心の大学づくりを進めます

<創造と継承>

自然と共生するための人類の「知」の
創造と継承に努めます

<教育先導大学>

高等教育の未来を展望し、
社会の発展に尽くします

<研究の推進>

学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の
研究を世界に発信します

<社会貢献>

教育と研究の両面から、地域や
社会の諸問題の解決に取り組みます

<国際貢献>

アジアの知的拠点を目指し、
国際社会に貢献します

<検証と改善>

不断の検証と改善に努め、
佐賀の大学としての責務を果たします

CONTENTS

- 002 学長メッセージ・佐賀大学の将来構想
- 004 身につく、サガつく、
佐賀大学の教育への取り組み
- 006 特集 起点。the origin
～君の可能性がここからはじまる～
- 024 佐賀大学の研究
- 030 数字で見る佐賀大学
- 032 佐賀大学で資格・免許をとる
- 034 教育学部
- 042 芸術地域デザイン学部
- 050 経済学部
- 060 医学部
- 070 理工学部
- 088 農学部
- 098 大学院
- 100 キャリアサポート
- 102 就職データ
- 104 学生生活サポート
- 106 相談窓口・大学生生活協同組合
- 108 キャンパスライフ・キャンパスカレンダー
- 110 佐賀大生の生活・サークル活動
- 112 2024年度入学者選抜概要
- 118 入試情報
- 122 キャンパスマップ
- 124 ロケーション／アクセス
- 125 佐賀大学だけの入試POINT

志、挑戦、そして未来へ。



多様化する未来で活躍できる、魅力あふれる人材を育成します。

佐賀大学は1949年の創設以降、地域が求める人材の育成に継続的に取り組み、6万人を超える多くの人材を輩出してきました。

近年では2003年の佐賀医科大学との統合、2016年の佐賀県立有田農業大学校との統合等を経て、6学部6研究科を有する国立総合大学として、教育・研究・社会貢献活動を展開しています。

佐賀市内に本庄・鍋島の2キャンパスを有するほか、芸術地域デザイン学部の設置に合わせ、「有田焼」で著名な有田町に新キャンパスを設置するなど、地域に根差した教育環境を整え、皆さんをお待ちしています。

これからの時代を担う皆さんには、グローバル化が進み、多様化する将来を見据えた教育が必要です。大学生活の中で専門分野の学びを深めるのはもちろんのこと、プログラミング技術などのITの知識や、地域が抱える課題を解決できる実践力、チームで議論し協力し合える協調性など、人間力を身につけることが求められます。

本学は「志、挑戦、そして未来へ」をキャッチフレーズに、志を持つ皆さんがキャンパス内外での様々な挑戦を通して、予測困難な未来においても活躍できることを期待しています。

ぜひ本学での生活の中で、自らを向上させ、世界で活躍する人材へと成長して下さい。

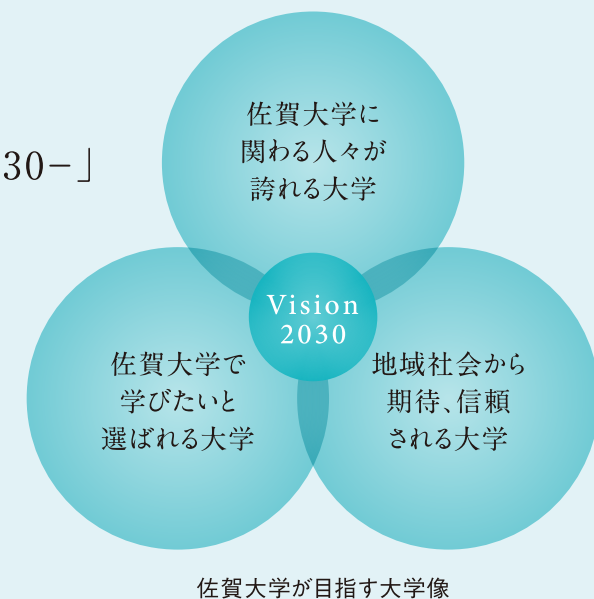
佐賀大学 学長 兒玉 浩明

佐賀大学の将来構想

「佐賀大学のこれからービジョン2030ー」

佐賀大学では2030年に向けた将来構想として、教育、研究、社会貢献、大学運営の4領域からなるビジョンを2020年4月に策定しました。

第4次産業革命やSociety5.0といった新しい社会、予測困難な時代の中で、今後10年間高等教育機関として本学が進むべき方向性を位置づけ、3つの大学像の実現を目指し活動していくこととしています。



2030年に向けた取組例

1. 次世代型研究



世界注目の海洋エネルギー開発など 未来と世界を見据えた研究を拡大

急激に変化する時代に対応するために、社会に応える分野横断的な研究に取り組んでいます。世界最高水準の出力を可能にし、カーボンニュートラルの実現にも寄与する「ダイヤモンド半導体デバイス」の開発をはじめ、海洋エネルギー研究所では次世代のクリーンエネルギーとして地位確立を目指すなど佐賀大学の立地や特性を活かし、多分野・多方面で研究を進めています。



海洋エネルギー研究所 (伊万里サテライト)

2. 地域活性



今の、そして未来の佐賀のために 佐賀大学の持ち味をいかに発揮

県内唯一の国立総合大学として、地方自治体や産業界と連携しつつ地域課題の解決に取り組んでいます。県内で様々な取組を開始しており、「地域防災減災研究プロジェクト」では、近年頻発する甚大な災害に対し、地域と連携して防災・減災に取り組んでいます。また、鹿島市において「鹿島プログラム」を立ち上げ、「町並み再生保存」「文化・伝統芸能保存継承」などの6つの研究テーマで、伝統的町並みの保存・活用などに地域と連携して取り組んでいます。



理工学部・三島伸雄教授と平瀬有人准教授の設計による鹿島市の肥前浜駅舎

3. 生涯学習社会



いつでもだれでも学べる環境を整え 「学びたい」「やりたい」を応援

学生向けの正規科目の一部を、学生と共に一般の方が学ぶ「授業開放」や、佐賀大学の「知」を地域に還元する「公開講座」、潜在助産師の学び直しや働きを支援する「佐賀県助産師リカレント教育プログラム」など、誰もがいくつになっても、主体的に興味を持って学び続けられる場を提供しています。また、オンラインと対面のハイブリッド授業を充実させるなど、より良い学びのカタチを追求しています。



ハイブリッドで開催した公開講座「都市の防災・減災」

4. 先端医療



地域医療を先端技術と地道な研究で支え 健やかな人生100年時代を目指す

県内唯一の医師養成機関である佐賀大学の役割は重要であり、地域医療の発展に大きな期待が寄せられています。人工股関節置換術や眼科手術用染色剤の開発が国内外で注目を集める一方、佐賀市民を対象としたコホート研究など地域に寄り添った取組も実施しています。さらにIoTも積極的に導入しており、眼底画像のAI診断プログラムや術前中止薬管理Webアプリの開発など、未来型医療を推進しています。



わずか15分ほどで県内全域に到着可能なドクターヘリ

身につく、サガつく、佐賀大学の教育への取り組み

佐賀大学は6学部を有する国立総合大学で、
佐賀が育んできた独自の文化や伝統を背景に、
基本的な学びや独自の研究活動に取り組んでいます。
本学での多彩な学び・活動により、
教養と専門知識を兼ね備えた「佐賀大学学士力」を培い、
社会の持続的発展を支えることができる人材を
養成します。



**大学機関別認証評価の
全基準を満たしています**
佐賀大学は、2021年度に大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審し、学生支援、学生の受入、教育課程と学習成果など6つの領域で定められた27の基準すべてを満たし、大学評価基準に適合していると認定されました。



佐賀大学の求める入学者 アドミッション・ポリシー

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。
佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根差した活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。
佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

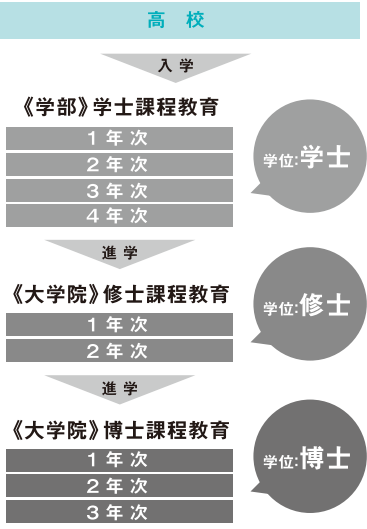
佐賀大学の学士課程教育「佐賀大学学士力」

佐賀大学の学士課程で身に付けさせるべき能力は、「佐賀大学学士力」として定められています。卒業時に、「佐賀大学学士力」が身に付くように、学士課程教育のカリキュラムが組まれています。

佐賀大学 学士課程教育のイメージ

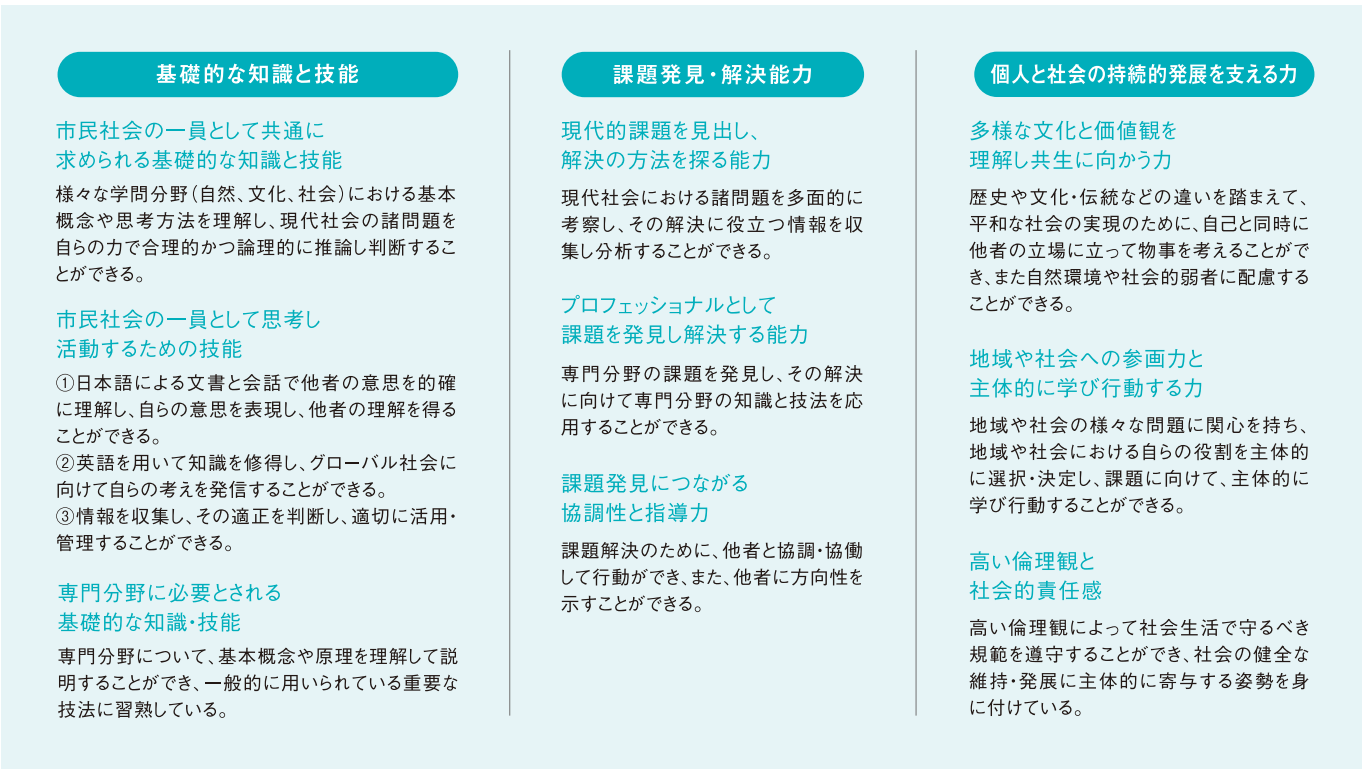


大学・大学院における教育 (一般的なイメージ図)



佐賀大学学士力のコンセプト

佐賀大学の学士課程では、基礎的および専門的な知識と技能に基づいて課題を発見し解決する能力を培い、個人として生涯にわたって成長し、社会の持続的発展を支える人材を養成することを目的としています。



起点。

the origin

～君の可能性がここからはじまる～

探求し続ける学びも、新たな自分との出会いも

変わりゆく社会への挑戦も、全てはここから。

目まぐるしいスピードで変化する時代を恐れることなく

惑うことなく、まっすぐに進んでいくために。

何をしたいのか、何ができるのか。たとえ今はわからずとも

人生の大切な時期に、人としての基盤を築く4年間で学び得たものは

決してブレることのない自分自身を築いてくれる。

自らは思いもしなかった可能性を開いてくれる。

佐賀大学、ここを起点に社会へ、明日へ。

起点。
知性を
磨く

P8へ

起点。
自信を
育む

P12へ

起点。
世界を
知る

P14へ

起点。
社会と
つながる

P18へ

起点。
時代に
挑む

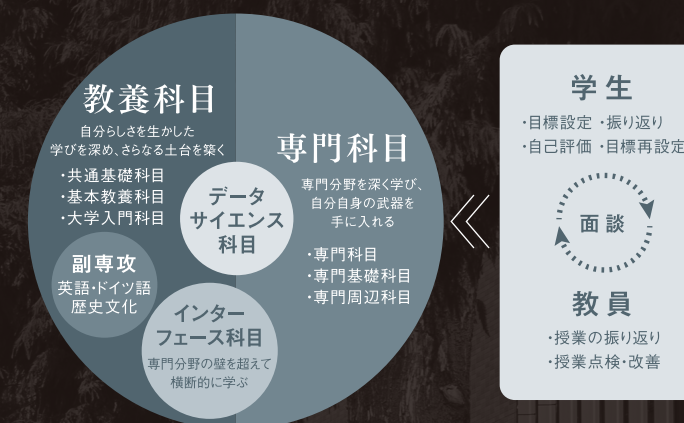
P20へ

起点。
可能性に
出会う

P22へ

基礎を大切にしながら多彩に学び
一人ひとりに合った教育プログラムを構築。

佐賀大学では総合大学の強みを生かし、専門科目の他にインター
フェース科目やデータサイエンス科目などを組み込み、学生が望む多
彩な学びの環境を整えています。ICT教育の活用など、学びをサポート
するシステムも充実させ、学生一人ひとりに合った教育を目指します。



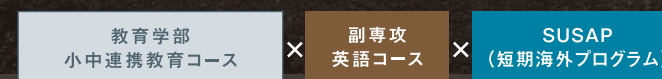
佐賀大学学士力

1. 基礎的な知識と技能
2. 課題発見・解決能力
3. 個人と社会の持続的発展を支える力

学びのカタチを自由に選択し
自らの可能性を見いだす。

専門分野を基本にしながらも、自分が学びたい分野や興味のあるブ
ログラムを自由に組み立てることが可能です。専門分野以外の知識
を修得することで、また理系文系を超えて幅広く学ぶことで、物事を
多面的に捉える複眼を養います。

〈多様な学びを専門分野に生かす〉



〈文・理の枠を超えて学ぶ〉





INTERFACE SUBJECT

インターフェース科目 必修



視野と柔軟性を広げ、知識・技能を社会に活かす。

インターフェース科目は専門科目や教養科目をさらに深めたり、社会とのつながりの中で興味がある分野の知識や技能を培うことで自分自身の強みを増やし、社会で生き抜く実践的な力を培うことを目的とした科目です。
思い描く将来に近づくために、より広い視野や考え方を身につけ、多様化する社会に柔軟に対応していくことを目指します。

POINT 01

専門分野の枠を超えて
横断的に学ぶ

POINT 02

アクティブラーニングで、
実践力を身につける

POINT 03

社会とのつながりで
視野を広げる

◎インターフェース科目

インターフェース科目は6つのコースと23のプログラムから構成されています。
学部や専門分野を問わず、好きな科目1プログラム(4科目・8単位)を選んで履修します。

環境コース



環境・資源・エネルギーなどに関する現代的課題を理解し課題に主体的に取り組む知識と応用力を養います。

● 機械工学と環境 ● エレクトロニクスと環境 ● 佐賀の環境

文化と共生コース



異なる文化や性別の人々と一緒に交流・協働し、芸術的創造を社会で用いる豊かな人材を育成します。

- 異文化交流
- 肥前陶磁器産業体験
- ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化
- 芸術と社会 ● 歴史文化
- 英語コミュニケーション

生活と科学コース



現代の社会生活における諸問題を多面的に考え、解決するために情報を収集し分析する知識を学びます。

- 未来を拓く材料の科学
- 情報技術者キャリアデザイン
- 2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 PICK UP
- 食糧生産の科学
- ライフサイエンス・フードサイエンス

人間と社会コース



社会状況から生じるさまざまな現象を多面的に学び、解決に向けた分析や立案する知識や技法を習得します。

● チームビルディングとリーダーシップ PICK UP

● リサーチ・リテラシー

● スポーツイベントとボランティアリーダー PICK UP

医療福祉と社会コース



環境や食の問題、少子高齢化社会を見据えて、支援と共生の社会を作り上げる人材を育成します。

● 現代社会と医療

● 食と健康

● ライフサイクルからみた医療

地域・佐賀学コース



地域を社会・文化・経済などのさまざまな面から取り上げ、具体的な事例を使って地域を中心に思考する力を養います。

● 佐賀の歴史文化

● 地域経済と社会

● 佐賀SDGsグローバルアクション PICK UP

\ PICK UP /



佐賀SDGsグローバルアクション

実践を通して学ぶSDGs

人類の「共通言語」としてのSDGsの基礎及び17の目標のうち重点的な課題についてグローバルな視点から学び、169のターゲットの中から佐賀のローカルな課題解決に向けた具体的なアクションを促します。佐賀大学が企業・行政・市民と目標を共有・連携し、授業開放にも取り入れているプロジェクトです。

● 佐賀SDGsグローバルアクションI ● 佐賀SDGsグローバルアクションII
● 佐賀SDGsグローバルアクションIII ● 佐賀SDGsグローバルアクションIV

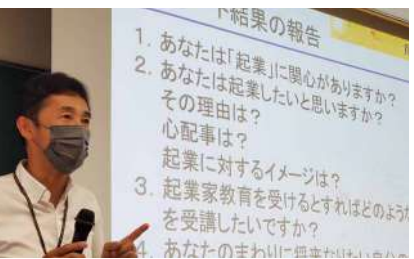
チームビルディングとリーダーシップ



スポーツイベントとボランティアリーダー



2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方



自らのリーダーシップを学ぶ

実践と省察を繰り返しながら自分自身の持つ「リーダーシップ」と「チームビルディング」について学び、授業や研究室での活動、サークルや地域ボランティア活動において、主体的・能動的に関われる人材の育成を目指します。

● 学生チームでの協働「企画づくりと企画書作成」
● 社会課題へのアプローチ など

満足できるイベントづくりを考える

スポーツイベントの参加者と実施者がともに「やってよかった」と思えるイベントに必要な要素とは何か。佐賀県庁の職員や企業を招いてイベントづくりの考え方を教えてもらい、複数のイベントの実践と反省を繰り返しながら考えます。

● 企画づくりと企画書作成
● 企画の実施と反省 など

2年間で学ぶベンチャー企業

プログラミングの基礎技術を身に付けるとともに、アントレプレナーシップと企業経営、知財戦略の理解を深め、様々な分野を対象にITを活かした新しいサービスとビジネスモデルの創造にトライできる人材の育成を目指します。

● アントレプレナーシップとプログラミング入門
● 知財戦略とプログラミングの活用



農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース
原田 豊徳

専門外のSDGsを学ぶことで視野が広がり「農学で何ができるのか」を考えるように！

私がこの科目を選択した理由は、社会の課題について考えるだけでなく、「大学生の立場からアクションを起こすことができる!」と感じたからです。授業では、佐賀市内の企業や行政・団体と一緒にグループワークや活動を行いました。コロナ禍で授業が制限されている中での取組みということもあり、非常に楽しく有意義に取り組めました。他学部の学生や企業・団体の人とのつながりができたことで、自分が専門として学んでいる農学以外の視点を持つこともできました。このつながりは今後いろいろな影響を与えてくれると思うので、大切にしたいですね。SDGsを考えることで人としても成長できたと感じますし、農学分野で何ができるのかを考えるいいきっかけとなりました。私は将来家業である農業を継ぎますが、農作物の生産だけでなく、環境への配慮や持続可能な生産を可能にする新たな取組みも率先して行いたいと考えています。

原田さんの
学びのタイプ

農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース

佐賀SDGs
グローバルアクション



今こそ学ぼう！仕事・暮らしに役立つデータサイエンスの基礎。

日本だけでなく世界的にも注目を集め、必要不可欠となっているデータサイエンス。

佐賀大学では、必要に応じたデータサイエンスを学ぶことができるようになりました。

「数理・データサイエンス・AI」は、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれており、今後、皆さんが社会で活躍するための必須スキルです。

データサイエンスとは？

現代社会では、ICTの急速な進化によって多彩なデータが得られるようになり、膨大なデータが蓄積されています。それが一般にビッグデータと呼ばれるものです。そしてそのデータを読み解き、価値ある情報を導き出すのがデータサイエンスです。決して新しい研究分野ではなく、すでに多くの企業や社会で活用されており、様々な業種・分野で今後も不可欠になっていくと考えられます。そこで佐賀大学では、データサイエンス教育プログラムを策定し、2021年度から全員が学べるようにしています。

データサイエンスの活用例



ネット通販の
レコメンド



仕事の効率化と
コスト削減



購買行動分析に
よる新商品の開発

データを
正しく読み解き
説明する
力がつく

どんなところで
データサイエンス
が使われて
いるかがわかる

データサイエンスを学ぶことで、できること

データやAIを
利活用する際の
倫理やルールが
わかる

データ社会の
脅威を理解し
リスク回避
できる

データ保護の
重要性と保護
のための方法を
理解する

教育学部



教育

データ
サイエンス

教育の現場でもデータサイエンスは重要になり、今後は小学生や中学生への教育も普及してくることが考えられます。自分で理解するだけでなく、人に教える理解が望まれます。

〔リテラシーレベル〕
●情報基礎概論
〔応用基礎レベル〕
●AI・数理・データサイエンスⅠ・Ⅱ

芸術地域デザイン学部



地域・文化

データ
サイエンス

たとえば橋や道路の交通量のデータを蓄積して渋滞緩和や安全対策に活かしたり、従来は勘や経験に頼っていた地域のものづくりが数値化できるなど、暮らしの質の向上が期待できます。

〔リテラシーレベル〕
●情報基礎概論
〔応用基礎レベル〕
●AI・数理・データサイエンスⅠ・Ⅱ

経済学部



企業経営

データ
サイエンス

データサイエンスは経済と密接に結びついていま。現在もすでに日常の買い物、ネットショッピング、交通手段などから多くのデータが蓄積され、それを活かした商品開発やサービスが展開されています。

〔リテラシーレベル〕
●大学入門科目 ●情報基礎概論 ●基本統計学
●基本ミクロ経済学 ●基本経営学 ●基本法学
〔応用基礎レベル〕 ●AI・数理・データサイエンスⅠ・Ⅱ 他

医学部



医療・介護

データ
サイエンス

新しい治療方法や医薬品の開発にはデータサイエンスが不可欠です。健康・介護・医療のビッグデータを利用し、個々人の健康管理や疾患予防への取り組みも期待されます。

〔リテラシーレベル〕
●情報基礎概論
〔応用基礎レベル〕
●AI・数理・データサイエンスⅠ・Ⅱ

理工学部



製造・開発

データ
サイエンス

製品・技術開発の分野ではビッグデータの分析・活用が進んでいるほか、製造業でも効率化や安全のためのAI活用が進んでいます。人的・時間的な効率化も可能となります。

〔リテラシーレベル〕
●理工リテラシーS1・S2 ●データサイエンスⅠ・Ⅱ
〔応用基礎レベル〕
●微分積分学 ●線形代数学 ●データサイエンス 他

農学部



農業

データ
サイエンス

AIやIoT、ビッグデータ、ロボットを活用したスマート農業の実現にはデータサイエンスが基本となり、農業が抱える人手不足の解消や生産・流通の効率化を図ることが可能になります。

〔リテラシーレベル〕
●情報基礎概論
〔応用基礎レベル〕
●AI・数理・データサイエンスⅠ・Ⅱ 他

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに認定されました。

佐賀大学は文部科学省の「令和4年度数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。

※認定期間は2022年8月24日～2027年3月31日



MDASH
Literacy

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル



社会に柔軟に対応するため、必要とされる教養を身につける。

副専攻では自分の学部の主専攻にとらわれず、自分が興味のある分野や社会に必要とされる分野が受講可能です。

専門分野の学びを深めることはもちろん、複数の分野の知識・技術を持ち合わせることで多様化する社会に対応し得る

人材を育成します。16単位を修得すると、卒業時に副専攻の修了証書が授与され、就職活動の際は履歴書にも記載できます。



POINT 01

語学や文化を学び、
複合的な視野を身につける

POINT 02

計16単位を修得

POINT 03

卒業時に
副専攻修了証書を授与

◎ 副専攻の科目



〔欧米の言語文化専攻〕英語コース

一定の英語力と留学への意欲がある学生を対象としたカリキュラムで、1年目は全員がTOEIC®にチャレンジします。ネイティブスピーカーによる授業を通し、原則として3年間で留学および国際交流に必要な英語力と知識を身につけ、留学後も英語力および異文化交流の維持・向上を目指すことを目標とします。定員は50名程度で、履修希望者を対象に選抜テストを実施します。

【科目の例】

- アカデミック英語
- ビジネス英語
- Introduction to Sociology
- Life in the Global World
- 海外交流実習

〔欧米の言語文化専攻〕独語コース

英語以外の外国語としてドイツ語を習得する機会を提供します。基本教養科目「ドイツの言語と文化」で初級文法を学んだ後に、インターフェース科目「ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化」を学び、ドイツ語の文法力・読解力を段階的に身につけていきます。3年間の継続的な学びを通して、プログラム修了時に中級レベルに達することを目指します。

【科目の例】

- ドイツの言語と文化Ⅰ・Ⅱ
- アカデミック独語
- ドイツ文化論A・B
- ドイツ文学A・B
- 海外交流実習

歴史文化専攻

国内だけで完結していた伝統的な日本史の観点から脱却し、諸外国との交流や交渉の観点から日本の近世史と近代史を捉えなおします。同時に地元佐賀の歴史遺産についても学びます。日本と地域の歴史文化を世界的な視点でとらえ、世界の目、日本の目、地域の目と、3つの視座で見つめ直し、見識を深めていきます。

【科目の例】

- 肥前セラミック学
- 芸術論（副題：美術）
- 日本史
- 文化の分野特別講義（九州学Ⅰ）
- アジアコミュニティ論



理論と実践

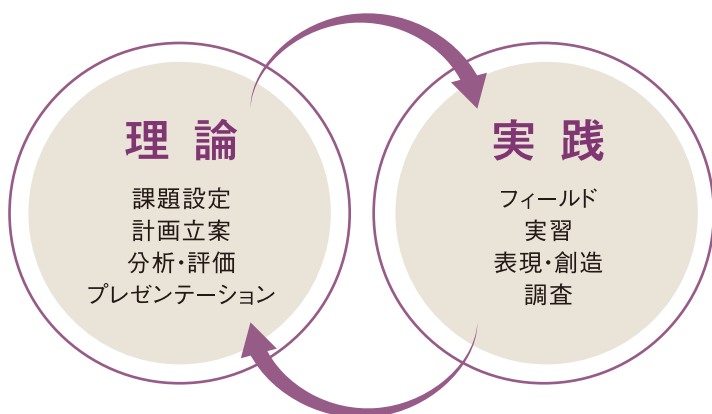


理論と実践の往還により“学び”の深化を目指す。

複雑な現代社会の諸課題を理解するためには、関連する分野の基本概念や理論を学ぶことが必要です。

それだけでなく、学んだことを実践の場で活かし、その経験からまた理論を見つめなおすことは、より深い学びに繋がります。

佐賀大学の教育は、理論から実践へ、実践から理論へ。それを繰り返すことで学生の学びを深め、専門性とともに自信を育みます。



佐賀大学では、課題を解決していくための理論研究を行い、それに基づいてフィールドワークや実習で実践を行っていきます。互いを照らし合わせながら考察を行い、理論だけ・実践だけに終わらせません。理論と実践の両方から課題に取り組むことで学びを深めて解決に導き、自らの実践力を培っていきます。

「理論と実践」の研究や取り組み例

【農学部】システム生態学分野

徳田誠教授のもとで、生き物の多様性や生き物同士の相互作用、生活における影響などを研究しています。

生き物の生態や行動を分析。

生き物がおかれた環境の中での行動や生態を探り、生き物同士の相互作用を考察する。

自然の中、生活の中でフィールドワーク。

変化していく自然環境・生活環境の中で、生き物がどう行動していくか、どんな影響を与えるかを観察する。

繰り返して取り組み問題解決へ。

フィールドワークを振り返り、何度も繰り返すことで、生き物の生態の解明、希少生物の保護、生き物による社会課題(環境問題等)などの解決につなげていく。

【経済学部】社会課題演習

1年生の後期から、実際の社会課題を取り上げて取り組み、ロジカルな考え方や4年間の学びの基礎を築きます。

社会問題を聞き取る。

経済学部の3つの学科をシャッフルしてグループを組んで多様な視点を持たせ、大学の教員と実務者の双方から同じテーマの社会課題について話を聞く。

自分で考え、説明する。

自身のクラスに戻って振り返り、それぞれが聞いた内容を互いに説明し合う。自分で考え、自分でまとめてロジカルに説明する習慣をつける。

「聞く・説明する」を繰り返す。

理論学習を積み重ねるとともにコミュニケーション能力を鍛え、2、3年生への学びやキャリアデザインにつなげていく。

ラーニングサポート(「学び」の見える化)



学びの足跡を残し、一人ひとりの成長を支援する。

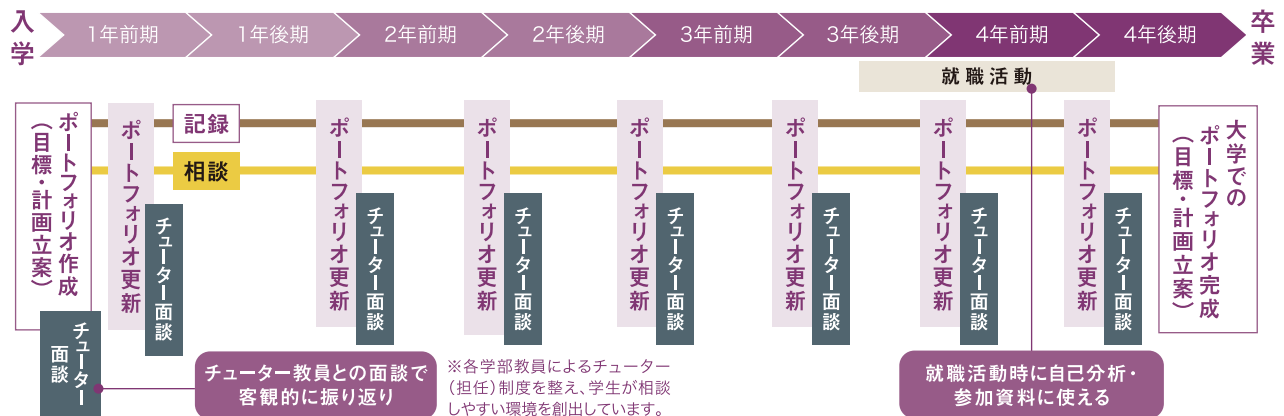
学びに必要なPDCA(PLAN、DO、CHECK、ACTION)サイクルをスムーズに行うため、学習成果の可視化を積極的に行っています。

可視化することで自分自身の学習状況や学習評価を正確に把握し、さらなる成長へとつなげていくことが可能です。

ラーニング・ポートフォリオ

学習の記録や目標を記し、自己を振り返る。

ポートフォリオは自らの学習活動を記入していく、日常的な学習・行動の記録です。学期初めに目標や将来像を入力し、その上で学習内容を自分で記録し、学習成果を可視化していきます。定期的に振り返って自己省察を行うことで成長を実感し、やる気を喚起させていくことができます。日々積み重ねていき、最終的には就職活動時のエントリーシートや自己分析につなげていくことが可能です。佐賀大学ではWEB環境でのポートフォリオで、少しの空き時間でも記入・確認ができるような継続しやすいシステムを取り入れています。



LAPシステム(Learning Analytics Platform)

学習成果をグラフ化し、成長を実感する。

在学中に修得する様々な成果をグラフ化し、自分の学習成果を客観的に可視化していきます。履修した科目の出席率や単位取得状況や成績評価だけでなく、TOEIC®やPROGなどの外部委託試験の結果なども含み、総合的に自分の成長を確認できます。自己評価を確認して今後の学習計画に役立てたり、就職活動に向けた振り返りなどにも大いに役立ちます。

【LAPシステムで確認できること】

- 単位取得状況とGPAの推移
- 成績評価の分布状況
- 出席率
- 外部委託試験(PROG、TOEIC等)スコア
- キャリアパス特性
- 学士力項目別達成度・自己評価値
- その他



卒業認定制度

学んだことを言語化し、卒業認定を申請する。

学生自ら学習成果を可視化させたラーニング・ポートフォリオから、卒業認定を申請します。卒業を控えた学生が、卒業するにふさわしい学習成果を得ていることや、獲得した能力、成長実感について自分の言葉で記述して申請します。



インターナショナルプログラム



言葉や文化を超えて新しい世界を知ることが、
自分の可能性を大きくする。

POINT 01 英語力

学生に明確な学習目標を与え、自ら英語力をアップさせるためのさまざまなシステムを用意。これらのシステムにより、全学部の英語力は、飛躍的にアップし、就職にも役立っています。

POINT 02 国際交流イベント

国境を越えて交流活動を行うチームや留学生と交流をしながら言語や文化を学ぶイベントなど新しい自分を発見し、よりグローバルな視点が広がる環境を用意しています。

POINT 03 海外留学支援

お金のこと、治安のこと、学力のこと。興味はあるけれど、不安も多い海外留学。佐賀大学では、留学を希望する学生に対して、さまざまな角度からサポートを行い、安心して海外留学できるように支援しています。

POINT 01 英語力

TOEIC®2回受験

これからの社会に必要な、
英語力アップはここから。

佐賀大学では2013年度より、全学生を対象に「全学統一英語能力テスト」と称してTOEIC® IPテストを実施しています。1年次前期の1回目のテストは義務化されていますが、2年次後期の2回目は任意となっています。英語を継続的に学び続ける環境を整え、支援しています。

英語の持続的な学びを支援



欧米の言語文化専攻 英語コース

徹底指導で英語力を引き上げ
グローバルな人材を育成します。

学部の専攻分野を問わず、国際的な知識と視野を持ち、英語での情報の正確な受信と積極的な発言ができるコミュニケーション能力を持ったグローバル人材の育成を目標としています。英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)で、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力(CEFR B2)を目指します。

2023年4月1日より「PAGE」は「欧米の言語文化専攻英語コース」と名称を変更しました。

Academic Express 3

eラーニングを活用し
英語力の質を向上させます。

世界最大級の教材データベース「スーパー英語」から、学習時間1,000時間を超える膨大な教材を提供するeラーニングサービスを拡充し、英語教育をきめ細かくサポートします。特に留学に必要な英語力を身につけるための教材が充実しており、継続して利用することでTOEFLやIELTSのスコアアップにつながります。

オンライン英会話ラウンジ

オンライン英会話レッスンで留学に向け英会話力を向上させます。

佐賀大学では留学を目指す佐賀大学生に無料で受講できる英会話レッスンプラットフォーム「オンライン英会話ラウンジ」を提供しています。1回25分の個人レッスンでは外国人インストラクターと自由に会話をしながら英語力、コミュニケーション力を向上させることができます。オンラインでのレッスンなので、インターネット環境があればいつでも、どこでも英会話が楽しめます。

POINT 02 国際交流イベント

立ち止まらずに世界を体験することで、可能性は大きく広がる。

佐賀大学の海外ネットワークは20カ国・地域73大学。海外の国や文化に触れることで、学識的にも人間的にも大きく成長することができます。佐賀大学では、学内でも国際交流ができるよう、様々な機会を提供しています。



グローバルサポーターズ

日本人学生と外国人留学生が共に学び、交流する機会を提供するため様々な国際交流イベント等を企画・運営する学生グループが「グローバルサポーターズ」です。グループには日本人学生と外国人学生が所属しており、学生の主体性を重視しながら佐賀大学のキャンパスの国際化を進めるとともに、メンバーそれぞれのスキルアップも目指しています。

グローバルサポーターズの様子を動画でご覧いただけます



インターナショナルミートアップ

留学生を含む国際交流に興味のある学生が集まり、趣味や文化など好きに会話を楽しむイベントです。初対面でもトピックシートを会話のきっかけとして使い、交流を深めることができます。参加者は皆、国際交流に興味のある学生なので、同じ共通点を持つ仲間によく出会う機会となります。



カルチュラルナイト

佐賀大学学内で最大級の国際交流イベントで、多くの留学生と日本人学生が参加します。イベントには例年、各国の伝統的な衣装、食事や観光名所の紹介や、文化的な体験などができるブースが出店されます。またステージパフォーマンスもあり、ステージ上で伝統舞踊や歌を各国の留学生と日本人学生が披露します。佐賀大学にいながら世界を「見て」「感じて」「体験する」イベントです。

POINT 03 海外留学支援

佐賀大学の海外ネットワーク20カ国・地域73大学



1 中華人民共和国

- 華東師範大学
- 北京工業大学
- 中国農業大学
- 遼寧師範大学
- ハルビン工業大学
- 華東理工大學
- 浙江理工大學
- 西南政法大學
- 浙江科技学院
- 遼寧大学
- 首都師範大学
- 温州大学
- 貴州民族大学

2 タイ王国

- カセサート大学
- コンケン大学
- チェンマイ大学
- タムサート大学
- モンクット王ラカバン工科大学

3 バングラデシュ 人民共和国

- ジャハングールナガール大学
- チッタゴン工科大学
- ダッカ工科大学

4 インドネシア共和国

- ハサヌディン大学
- ガジャマダ大学
- サム ラツランギ大学
- リアウ イスラム大学
- スリビジャヤ大学
- ボゴール農業大学
- マラン国立大学
- ジュアンダ大学
- プラウイジャヤ大学
- セバラスマレット大学
- スラバヤ工科大学

5 カンボジア王国

- プノンペン王立法経大学
- 王立プノンペン大学

6 フランス共和国

- ブルゴーニュ大学
- オルレアン大学
- バイオ産業大学

7 オランダ王国

- デザインアカデミー
- アイントホーフェン

8 ドイツ連邦共和国

- ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレ

9 フィンランド共和国

- ユバスキラ大学

10 ポーランド共和国

- ルブリン工科大学

11 リトアニア共和国

- ヴィタウタスマグナス大学

12 スリランカ民主 社会主義共和国

- ペラデニヤ大学

13 ラオス人民民主共和国

- ラオス国立大学

14 アメリカ合衆国

- バシフィック大学
- スリッパリーロック大学

15 カナダ

- ウィルフリッド・ロリエ大学

16 大韓民国

- 全南大学校
- 安東大学校
- 国民大学校
- 釜山大学校
- 金慶大学校
- 済州大学校
- 韓国技術教育大学
- 培材大学校
- 牧園大学校
- 大邱大学校

17 オーストラリア

- ラトロープ大学
- シドニー工科大学

18 台湾

- 輔仁カトリック大学
- 国立政治大学
- 国立中興大学
- 国立台北大学
- 国立東華大学
- 元培医事科技大学
- 文藻外語大学
- 国立勤益科技大学

19 ベトナム 社会主義共和国

- ハノイ農業大学
- ハノイ国家大学
- 外国語大学
- アンザン大学
- カントー大学
- ベトナム国家大学
- ハノイ校経済大学

20 スペイン王国

- アルメリア大学

▶ 交換留学

海外協定大学への長期の交換留学も可能。世界20カ国・地域73大学と協定を締結しており、大学の推薦を受けて、協定校へ派遣されます。正規留学よりハードルが低く、留学がより実現可能になります。また、さまざまな支援やサービスで、安心して留学に挑めます。



学びも、就活も、プライベートも充実。 大きな成長につながる貴重な1年間。

理工学部 理工学科 情報ネットワーク工学コース
オーストラリア シドニー工科大学
安達 さくら 福岡県 明善高校出身

留学のためにしっかりと準備を

大学1年生で交換留学の制度を知ってすぐに、留学支援英語のための英語特別クラスに入って勉強したり、留学生交流室の支援を受けながら奨学金の準備を始め、3年生の時に無事に留学できました。留学先のシドニー工科大学(UTS)は約20%が留学生で、先生たちも多国籍。授業では生徒の積極的な発言やプレゼンテーション、グループワークへの参加が求められ、それが有意義な学びにつながっています。

留学中に就活し、内定を獲得

夏季休暇中には現地のソフトウェア企業のインターンに参加し、就職活動もオンラインで行いました。留学中に日本企業への内定をいただけたことは、とてもうれしい出来事でした。夏休み期間中に、ドイツ人の親友とバックパッカーとして1ヶ月も旅したことや、メルボルンやバリ島などを旅したことも、素晴らしい思い出です。この留学経験を通じて、自分の技術力を実践に移し、社会貢献をしたいという気持ちが高まりましたし、もっともっと広い世界を見てみたいと思うようになりました。



語学力、学費、コロナ禍と 様々な課題をクリアし念願の留学。

教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主専攻英語科
アメリカ スリッパリーロック大学
福島 龍聖 佐賀県 佐賀清和高校出身

アメリカ留学を目指して佐賀大学へ

「周りとは違った“自分の強み”となる経験をしてみたい」という思いがあり、受験生の時から長期留学が目標でした。国立大学で学費を抑えられること、様々な国の大学と協定校になっていること、比較的負担が少ない交換留学制度があることから、佐賀大学への進学を希望しました。入学後は、ISAC(現欧米の言語文化専攻 英語コース)という留学支援プログラムなどに積極的に参加し、学部2年生での留学に向けて準備を進めていました。コロナの影響で留学時期は遅れましたが、学部4年生で留学を実現することができました。

さらなる成長を目指して再び海外へ

アメリカでは、学生が予習してきた内容に沿って話し合うディスカッション型授業が主流です。慣れるまで時間がかかりましたが、現地の友達と一緒に夜遅くまで予習をしたり、課題に取り組んだり切磋琢磨して壁を乗り越え、達成感を味わうことができています。留学後は、学生という立場ではなく、社会的責任のある立場でさらなる活動を行いたいと考えています。そのため、一時帰国後に再度インターンとして渡米する予定です。

▶ SUSAP SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM

長期休暇を利用したSUSAP(短期海外プログラム)ですが、2022年度は夏休みにオンラインSUSAPを実施し、春休みには現地に渡航して実施しました。語学研修に加え、その国の文化や生活についても学べるプログラムを提供。海外の学生との協働プロジェクトなども取り入れ、国際交流を行い、グローバルな視野を育みます。

2023年度実施予定プログラム ※変更の可能性あり

長期休暇を利用した10日から1ヶ月程度の全学部の学生対象プログラムです。単なる語学研修ではなく、学生各々が持つ関心や伸ばしたいスキル、将来のビジョンに応じて選択できるよう多彩なプログラムがあります。奨学金などの経済的支援や、留学に関するサポートも充実しています。

ラトロブ大学プログラム (オーストラリア) 5週間・約50万円

多彩な国籍の学生と週20時間の授業を受講。学生バディやホームステイ家族とも交流。

パシフィック大学プログラム (アメリカ) 3週間・約40万円

アカデミックイングリッシュの授業を履修。アメリカ社会の側面を体験的に学びます。

東華大学プログラム (台湾) 4週間・約10万円

専門分野の授業を英語で受講。自分の関心や専門分野に従って学習することができます。

スラバヤ工科大学プログラム (インドネシア) 2週間・約15万円

インドネシアで多文化共生を学びます。現地学生とも交流します。



アツという間でしたが 英語力は確実に向上!

教育学部 学校教育課程
小中連携教育コース(英語)
アメリカ パシフィック大学
池田 航一 千葉県 渋谷教育学園
幕張高校出身

私がSUSAPに参加したのは、アメリカという国を自分で体感し、この経験を長期留学につなげたいと思ったからです。現地での生活はカルチャーショックの連続で、刺激的で楽しい毎日でした。4技能及び文法知識を伸長する英語授業を受け、ランゲージバディと常に一緒に過ごしたことで日常会話に対する不安感を払拭することができたことは、大きな成長です。



学びたいことに 存分に取り組んだ1ヶ月。

芸術地域デザイン学部
芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
台湾 東華大学
神戸 愛心 福岡県 筑紫丘高校出身

今回の留学では、現地の文化や風土に1ヶ月間どっぷり浸かったことが本当によかったです。短い期間でしたが、自分自身の目的意識を高く持つことで様々な学びが可能だということも実感しましたし、世界のひととのコミュニケーションには人間力を高めることも必要だと強く思いました。現地の友達と過ごしたたくさんの時間も、かけがえのない宝物です。

▶ 佐賀大学の卒業生は海外での学びを今どのように生かしているでしょう?



留学で学んだことを 地域のために活かしたい。

先進健康科学研究科
先進健康科学専攻修了
佐賀県庁勤務
澤山 芽衣

姉の影響もあり、入学前から留学を考えていました。大学1年生の夏、農学で有名な台湾・国立中興大学の短期プログラムに参加し、学部3年生で同じ大学に1学期間、その後フィンランドのユバスキュラ大学に1学期間交換留学し環境技術を学びました。帰国後は大学院で農学を学び、それまでの学びを地域に還元するために佐賀県庁に就職しました。



コロナ禍を乗り越えて留学。 これからも学び続けたい。

経済学部 経済法学科卒業
読売新聞西部本社勤務
中村 由加里

学部1年生の夏休みに海外経済実習には参加できましたが、コロナの影響で交換留学を断念。コロナ禍で余った時間を活かして学部3年生で中国語学習を始め、交換留学が再開した学部4年後学期に台湾の政治大学に留学し、台湾華語、歴史、文化を学びました。今後もアジアの「これまで」と「これから」について学び続け、記者活動に活かしたいと考えています。



ツナガル留学日記

先輩達の詳しい
留学体験記はこちらから



学内企業設置



充実した環境や施設が大きな刺激と成長を与えてくれる。

佐賀大学構内には8社の企業や団体が設置されており、大学でありながら社会と交わる機会があります。「美術館」や「ラーニングコモンズ」、新しくなった理工学部棟や地域と大学をつなぐ「産学交流プラザ」など最高のジブンを育てる、バラエティ豊かな環境を整えています。



キャンパスへの企業設置

キャンパス内に8社を誘致。社会実装教育をより身近に。

佐賀大学では「グローバルな視野を持つ地(知)の拠点」を目指し、これまでIT関係、ロボット工学、AI、電気化学に関わる様々な企業・団体をキャンパス内に誘致するという画期的な取り組みを行ってきました。キャンパス内に開設された企業ではそれぞれに佐賀大学と連携しながら社会実装教育が行われ、学生に社会のあり方を示唆するとともに、共同開発をさらに発展させることで地域貢献も目指してきました。中でも、株式会社中山ホールディ

ングスが開設している「佐賀大deラボ」は、ファブラボのように分かりやすい形で情報発信している取り組みでもあり、注目を集めています。学内の一部の企業ではアルバイトやインターンシップも受け入れており、社員たちとともに実社会の現場や仕事を体験することも可能です。今後は、佐賀大学発ベンチャーとしての起業支援も含め、より広い視野での実践的な学びを応援していきたいと考えています。

ITで地域社会に貢献する。

SDC 株式会社 佐賀電算センター
Saga Denzan Center

人的交流を活発にし、ITの可能性を追求。

佐賀大学とは古くからの付き合いがあり、システムの納入やCBT入試の共同開発のほか卒業生の入社も多く、強い信頼関係を築いてきた佐賀電算センター。2020年6月に佐賀大学と連携協定を結んだことを機に、本庄キャンパス内に共同研究開発拠点として「R&Dセンター」を開設し、AIやIoTを得意としているメンバーを配属しました。ここではDX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用し、CBTシステム開発やAI(チャットボット等)・MRの共同開発をはじめ、佐賀大学と企業との人材交流、デジタル人材の育成なども推進しています。以前から受け入れていたインターンシップも、昨年からR&Dセンターで実施。若手社員を指導担当に付けたことで社員と学生が互いに刺激を受け、思いもよらないよい結果を生みだしています。常に新しいことを取り入れている佐賀大学に拠点を置くことでチャレンジ精神に刺激を受けるとともに、先生方や学生とよりよい関係を築き、相互の発展や地域産業へ貢献していきたいと考えています。



ネットを空気に変える。

OPTiM[®]
株式会社オプティム

現代社会の問題をITの力で解決に導く。

オプティムは「ネットを空気に変える」をミッションに、インターネットそのものを空気のように全く意識することなく使いこなせる存在へ変えていくことを目指しています。AI・IoT・Roboticsなどの最先端技術を活用することで、私達の身の回りの生活や産業にある課題を解決し、さまざまな業界・産業の新たな価値を創造していきます。誰かが世界を良くしてくれるのを待つのではなく、自らが「世界を変える」側でありたい。世界を変えるなら、誰よりも大きく良く変える仕事がしたい。そんな熱い思いを持って、佐賀大学内で社員と一緒に挑戦を楽しみ支え合うアルバイト生がオプティムにはいます。佐賀大学と連携して授業で学生にプログラミングや最先端技術を学べる講義も行っています。ご興味がある方は明日の世界を最適化する「∞無限大」の可能性を秘めた事業・サービスを私たちと一緒に創り出していましょう。

アイデアをカタチにし、地域貢献へ。

Nakayama
株式会社中山ホールディングス「佐賀大deラボ」

充実した設備・環境で、ものづくりを身近に。

佐賀大deラボは、本学の「キャンパス内で社会実装教育」の実現に向けて、2019年に設置された中山ホールディングスがサポートしている産学連携拠点です。この施設には設計用の3DCAD、3DCGソフトをはじめ、3Dプリンター、レーザー加工機、CNCフライス盤や穴開け加工のボール盤など、ものづくりに必要な装置・道具などを幅広く完備しております。学生は気軽にものづくりを行うことができ、アイデアをカタチにする充実した設備を整えています。また中山ホールディングスの依頼にアルバイトとして携わることで、「実務経験を積みながら」社会勉強ができる場所となっています。学生たちと最新機器に触れ、アイデアを生かしたものづくりを行い、それを地域貢献に役立てていくことを目指しています。



佐賀大学に
設置されている
企業8社

OPTiM[®]

Nakayama

福博印刷株式会社

METAL JACKET

SDC
Saga Denzan Center

株式会社 佐賀電算センター

Citynow Asia
create tomorrow together

佐賀新聞社

SAGATV



失敗を恐れない自由な発想と環境が新たな起業家を導き出す。

佐賀大学では、創造的人材の育成を目指して学生起業家育成の講演会を開催したり、

佐賀大学ベンチャーの称号を設けて支援を行うなど、学生ベンチャーに前向きに取り組んでいます。

そんな中で注目を集めているのが、理工学部の中山研究室。学生起業家を輩出している環境や、学生起業家の姿を紹介します。



学生は「大変な研究室」と言いながらも、和気あいあいとした雰囲気。しっかりと勉強ができ、「ここなら面白いことができる」「ここなら自分を伸ばせる」と思えるのだとか。

中山研究室は、理工学部の中山功一先生の研究室です。ドローンを使った防災研究、ディープラーニング、ブロックチェーンなどを中心にしながら、30人ほどのメンバーが自由に研究を行っています。中山研究室から最初に起業したのは、2017年の合同会社ロケモAI。

以来、次々にメンバーが起業し、現在4人の学生起業家が在籍していますが、「起業はあくまでソリューションの一つ」というのが先生の考えです。優秀な学生が多く、仕事が増えた時にはお互いに助けあえる環境があることも、起業を支えている一つの要因です。



〈合同会社ロケモAI 代表社員(創業時)／株式会社NEXS 代表取締役社長〉

梶原 薪

佐賀県 唐津東高等学校出身

学部4年次で起業。地図に関する研究をし、幼稚園や保育園にバスの位置情報を知らせるサービス提供で起業。研究室最初の起業となった合同会社ロケモAIの創業時の代表社員で、のちに一人で株式会社NEXSを起業。



〈株式会社SA-GA 代表取締役社長〉

森山 裕鷹

福岡県 福岡工業高等学校出身

学部4年次の夏に起業。ブロックチェーンを研究し、複数の特許を取得。その特許の製品化をきっかけに起業し、現在は、学校の先生たちの業務負担をなくすために、学校PAYで校納金などのキャッシュレス化に取り組んでいる。



〈株式会社山城機巧 代表取締役社長〉

山城 佑太

福岡県 八女学院高等学校出身

中山先生のために作った、腰の負担を軽減する用具〈フワット〉を開発し販売。「福祉機器コンテスト」や「さがラボチャレンジカップ2019」で受賞し、2020年には「キャンパスベンチャーグランプリ」の全国大会で最優秀賞を受賞。



〈株式会社AS 代表取締役社長〉

浅川 泰輝

福岡県 東福岡高等学校出身

学部4年次で起業。インターネットを使ったモバイルオーダーシステム「ASオーダー」を提供。「さがラボチャレンジカップ2020」で最優秀賞を獲得し、「佐賀大学発ベンチャー」称号の第2号を授与される。



学生起業家 座談会

Q.1 起業のきっかけを教えてください。

梶原さん もともと起業に興味はありましたが、在学中に起業する想定はしていませんでした。研究の中で開発したシステムを仕事として提供するには、会社というカタチをとった方がいいだろうということで、起業することになりました。



森山さん 私も当初から起業しようと思っていたわけではありません。ただ、研究室に入り、いくつか特許をとったり仲間に出会う中で、自分に自信がついたのは確かです。「やるぞ!」と勢い込んだわけではなく、淡々とやるべきことをやっていたら「目の前に起業があった」という感じです。

山城さん 私は、腰が痛い中山先生のために作った〈フワット〉が福祉機器コンテストで受賞し、製品化することになったのが起業のきっかけです。機器の製造には資金が必要なのでクラウドファンディングを活用しましたが、その後のフワットの発展とリスク分散として起業しました。

浅川さん 私は昨年10月に起業したばかりです。昨年、佐賀県から研究室に仕事依頼があった時に、先輩方から声をかけてもらったのがきっかけです。入学当時は起業するとは思っていませんでしたが、勢いで起業することになりました。



中山先生 研究室から多数の学生社長が出ていますが、特に起業を勧めているわけではありません。やりたいことに対して起業が向いていれば勧めるし、向いていなければ勧めません。起業は、やりたいことをやるための一つの方法に過ぎません。

Q.2 大学生活や起業を通して感じたことは?

梶原さん 佐賀大学でプログラミングを学んだこと、中山研究室に入ることが、私の大きな転機です。起業に際しては、特に大変だと感じたことはありませんが、起業後は様々な苦難を経験しました。今の会社は個人経営で自分の思い通りに決断することができ、非常におもしろいです。

森山さん 私も、入学してソフト開発にのめり込めたことがよかったです。佐賀大学や中山研究室には、自分が頑張った分だけ応援してくれる環境があります。起業した当初は、「失敗したらやめればいい」と思っていたのですが、お客様と接していく中で覚悟が定まり、今はずっと仕事を続けていきたいと思っています。



山城さん 大学に〈フワット〉の研究予算を組んでもらったり、佐賀大学発ベンチャーの第1号をいただいたりと、佐賀大学には応援してもらっていると感じています。イベントや展示会ではお客様と直接関わることも多

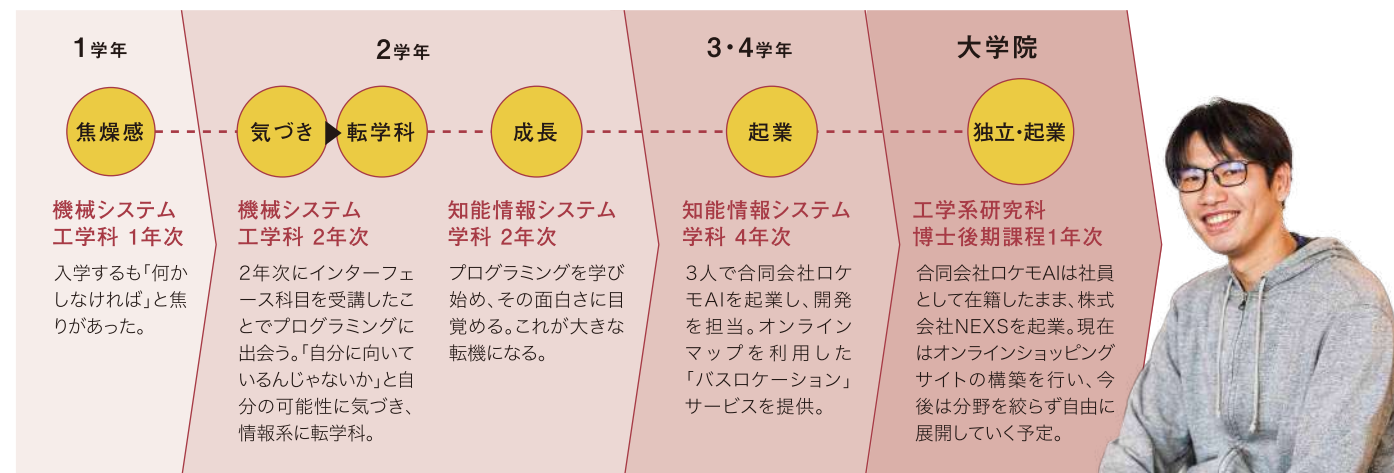
く、お客様がいることのありがたさ・面白さを感じています。

浅川さん 入学当初は勉強にもあまり面白みを感じられませんでした。研究室に入ったらすごい人ばかりで「ここなら面白い、頑張れる」と思いました。仕事としては難しいことも多いですが、研究室には個人的に目標にすべき人も多くて、日々やりがいを感じています。

中山先生 研究室は技術を教える場ではなく、一人ひとりの働き方や学び方を見つける「場」、能力を伸ばす「場」、活躍できる「場」でありたいと思っています。今回、学生たちの話を聞いていると、自分の気持ちが伝わっているようで、とてもうれしく思います。(2021年取材)



梶原薪さんの学びと成長



起点。
可能性に
出会う

FACILITY INTRODUCTION

施設紹介

ともに学び、成長するための
環境・施設が充実。

佐賀大学 美術館

教育、芸術振興、地域交流に貢献する美術館。

佐賀大学美術館はガラス張りの明るく開放的な造りで、大学正門に位置しています。美術・工芸作品を展示・収集・保管しながら、教育の実践の場として活用し、さらに地域の人々にも気軽に観覧していただけるように造られています。大学主催の企画展示のほか、市民や卒業生の企画展示も行っています。



EVENT

2020年のコロナ禍において、世界各地で実施されたデジタルアートフェスティバル「LightItBlue」に賛同。医療従事者への感謝と激励を込めて、美術館の内側からLED電球を使用してライトアップしました。



理工学部 4号館



教授たちが手がけた 建築を実践的に学ぶ新校舎。

建築系の研究室と演習室などをまとめた理工学部4号館は、佐賀大学の建築系教員による設計監修で改修されました。天井をスケルトンにして補修部分や空調や電気設備の配管等を見せるなど、学生が建築を実践的に学べる環境です。



産学交流 プラザ

産業や地域とのつながりを深め 新たな知の拠点をを目指す。

2021年に、佐賀大学の新たな知の拠点として開設されたのが産学交流プラザです。北側は全面ガラス張り、建物中央部は吹きぬけの開放的な造りです。学内のユニークな研究や共同研究の成果を紹介したり、地域連携や産学連携を推進・サポートする窓口などが集約されています。



1F インフォメーションコーナー

佐賀大学の設立時からの歴史や、最新の研究を紹介するコーナーです。研究成果の実物展示や、足で操作できる非接触型システムのスクリーンもあり、佐賀大学の概要を興味深く知ることができます。



2F 学生ベンチャースペース

2階部分は学生ベンチャースペースです。佐賀大学の学生が起業したベンチャー企業も入居し、互いに刺激し合いながら事業や研究に取り組んでいます。新たな学生起業家を応援する環境が整っています。



アトピー性皮膚炎のかゆみを 引き起こすタンパク質と その阻害物質を発見し、 新たな治療薬へ

2012年アトピー性皮膚炎と深い関わりがあるペリオスチンを発見していた佐賀大学出原賢治教授は、今回ペリオスチンとインテグリンの結合を阻害する物質CP4715を特定しました。この画期的な発見により、アトピー性皮膚炎の治療薬の開発が大きく進むものと考えられます。

医学部 副医学部長 分子生命科学講座分子医化学分野
出原 賢治 教授

1984年九州大学医学部卒業後、九州大学医学部附属病院や福岡通信病院などで勤務。1991年からDNAX分子細胞生物学研究所（アメリカ）にポストドクトラルフェローとして留学。帰国後、国立遺伝学研究所や九州大学医学部に勤め、2000年に佐賀大学医学部教授に就任。

アトピー性皮膚炎の 原因となる遺伝子を発見。

私がアレルギーの研究を始めたのは30年くらい前になります。当時はアレルギーのことはまだよくわかっていませんでしたが、アメリカ留学で免疫学を研究していた私は、免疫と関わりのあるアレルギーをテーマに研究を続けることにしました。

佐賀大学で教授として就任したのは2000年。数々の研究を繰り返す中で、今回の発見のキーワードとなっているペリオスチンをはじめとするいくつかの物質が浮上してきました。ただ当時は、ペリオスチンについては研究も論文も何もなく、アレルギーに関与しているのかも不明でした。

暗中模索の中で続けてきた研究に、大きな変化があらわれたのは2012年です。アトピー性皮膚炎にペリオスチンが大きく関係していることが明らかになり、この結果が出たことで、以降はペリオスチンに的を絞って研究を続けることになりました。

しかしこの段階でも、ペリオスチンがアトピー性皮膚炎に関係しているか、かゆみに関係しているメカニズムはまだ解明されていませんでしたし、それを止める物質もまだ見つかっていませんでした。



アトピー性皮膚炎の症状がある FADSマウスの開発で大きく前進。

アトピー性皮膚炎の研究が難しい理由の一つは、かゆみが脳を介する高次反応であり、そのメカニズムを解明することが非常に困難だからです。その解明を可能にしたのが、2019年に発表した顔に強いかゆみを訴えるアトピー性皮膚炎のモデルマウス「FADSマウス」の開発でした。生まれつきペリオスチンを多く産生し、かゆみで顔をひっかく特徴があるFADSマウスの開発で、困難を極めていたかゆみの原因の探求が可能になったのです。それから、研究が大きく前進しました。佐賀大学では、研究室に配属されたら2週間の実験を体験するプログラムがありますが、当時研究室に入ってきた学生に任せただけで、意図的にペリオスチンをなくしたネズミの観察でした。「ネズミが顔をひっかくかどうか」を観察させましたが、観察結果は「ひっかかない」という意外なものでした。ペリオスチンをなくしたFADSマウスはかゆみがないようで、ひっかく行動をしなかったのです。それが、長年解明できていなかった「アトピー性皮膚炎のかゆみにペリオスチンが深く関わっている」とわかった画期的な瞬間でした。今回の一連の研究で最も驚いた研究結果は、研究を始めたばかりの一人の学生からもたらされたわけです。



激しいかゆみを示すアトピー性皮膚炎のモデルマウス（FADSマウス）を開発

かゆみのメカニズムを解明し、 阻害物質を発見。

ペリオスチンは誰もが持っているタンパク質であり、通常は骨や歯を形成するのに役立っています。それがどうしてかゆみの原因になってしまうのか。過剰に作られたペリオスチンが神経の表面にあるインテグリンというたんぱく質と結合し、その刺激が神経に伝わり、神経から脳に伝わってかゆみを引き起こしていることがわかりました。その結合を防ぐのが、製薬会社で開発され、開発が中断されたことで私のもとに託された化合物CP4715でした。ペリオスチンを持つFADSマウスにCP4715を投与したところ、かゆみが改善することがわかりました。

- ・ペリオスチンを持っていないFADSマウスはかゆみを感じない
- ・ペリオスチンを持つFADSマウスにCP4715を投与するとかゆみが改善する

以上の研究結果から、FADSマウスのかゆみにペリオスチンが関わっていること、CP4715にはそれを止める効果があることが導き出されました。

新たな治療薬の開発とともに、 さらなる医療の発展に期待。

アトピー性皮膚炎は強い再発性のかゆみを伴うことが大きな特徴であり、かゆみが日常生活の支障になるとともにアトピー性皮膚炎を悪化させる大きな原因ともなっています。小さな子どもから大人まで多くの患者さんが苦しみ、患者数も年々増加しています。そのかゆみの原因の究明と治療薬の開発が長年の課題となっていました。私たちの研究でかゆみの原因（ペリオスチン）が特定され、それを止める物質（CP4715）も判明しました。

今後、CP4715をアトピー性皮膚炎の治療薬として開発していくわけですが、水に溶けにくいという性質や全身への影響を考え、塗り薬としての開発を検討しています。製品として出回るまでにはまだいくつかのハードルがありますが、できるだけ早い開発を試みています。

アトピー性皮膚炎のかゆみの原因はペリオスチンだけではなく、様々な要因が考えられます。今回のCP4715がどんなアトピー性皮膚炎にも効果をあげるとは限りませんが、長年苦しんでいる患者さんに希望を届ける研究であることに間違いありません。解決策の一つとして大きな前進です。またこれを機にアトピー性皮膚炎の研究がさらに進み、本当に長い間人々を苦しめてきたアトピー性皮膚炎の治療の選択肢が広がることを期待しています。

世界最高水準の出力を達成！ ダイヤモンド半導体デバイスを 世界に先駆けて実用化へ

理工学部 理工学科
電気電子工学部門

嘉数 誠 教授

1990年日本電信電話株式会社に入社し、基礎研究所に所属。研究に取り組みながら、日本国内の大学、ドイツやフランスの大学、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所などで講師や研究員を務める。2011年に佐賀大学大学院の教授に就任。



リージョナル・イノベーションセンター
化粧品科学 共同研究講座

化粧品を科学的に研究し、 佐賀発のコスメを アジア、世界へ

徳留 嘉寛 教授

薬学部卒・大学院薬学研究科修了後、大手化粧品企業、ポーラ化成工業(株)研究所で10年以上にわたり研究活動を行う。その後、武蔵野大学、城西大学の薬学部での教職を経て2021年より、佐賀大学「化粧品科学 共同研究講座」特任教授に就任。

ますます必要性が高くなる パワー半導体デバイス。

近年、パソコンや携帯電話の普及などで電気エネルギーの利用がますます増えていますが、この電気エネルギーを制御・変換する時に重要な役目を果たするのが半導体です。現在の半導体の主な材質はシリコンですが、携帯電話の基地局のように大電力を必要とする場合には、シリコンカーバイド、窒素ガリウムを使用したパワー半導体が使われています。しかし、もっと大容量の周波数・電力を必要とする人工衛星やテレビの地上波放送局においては半導体では力不足で、いまだに真空管が使用されています。真空管は半導体に比べて効率が低く、エネルギーロスも多いため、環境保護の観点からも半導体化が求められています。

わずか2インチのダイヤモンド半導体で 佐賀県の約10倍、350万世帯の電力をコントロール。

そこで注目されているのが、ダイヤモンド半導体です。ダイヤモンドは「究極の半導体」と言われ、20年以上前から世界中で研究が行われてきましたが、様々な課題を抱え、実用化は厳しいとされてきました。その課題を克服するきっかけとなったのが、企業との共同研究による新しい技術でした。サファイア基板の上に人工ダイヤモンドの結晶を成長させることで、直径2インチ(約5センチメートル)の円形状まで大きくし、純度も高いダイヤモンドのウエハー(半導体材料を薄い円盤状に加工したもの)を開発。そしてこのダイヤモンドのウエハーを使って、私

たちは半導体デバイスを作製しました。

従来の考えにとらわれない革新的な発想で新しいデバイス構造を考案し(特許出願中)、電気伝導を改良。従来のダイヤモンド半導体の約100倍という世界最高の出力電力を記録し、耐久性も飛躍的に向上させました。このダイヤモンド半導体は、2インチの大きさだと佐賀県の約10倍、350万世帯で使われる電力を全てコントロールできるほどのパワーがあります。

究極の半導体を 佐賀から世界に向けて。

ダイヤモンド半導体は現在のところ世界最大で2インチ(約5センチメートル)の円形状の大きさですが、6インチまで大きくすることが可能だと考えられます。放熱性や耐電圧性に優れており、地上はもちろん、宇宙空間でも安定して作動させることができるという特性を持っているため、より幅広い分野での応用が期待されています。これまでは基礎研究段階で止まっていたダイヤモンド半導体ですが、今回の成功を受け、海外でも積極的に研究が行われるようになってきました。しかし私たちは、この技術を日本発・佐賀発の産業として発展させていきたいと考え、実用化の課題をクリアして5年以内の量産化を目指しています。佐賀大学は熱心な学生も多く、ゆとりある研究室には企業が使用するような最新の実験装置も置くことができ、環境として非常に充実しています。今後もこの環境をいかして研究に取り組み、日本の最先端の半導体産業に貢献したいと考えています。

化粧品科学の人材育成と研究拠点を作る 国立大学として全国的に貴重な取組みを実践。

美と健康に関する産業を集積し、将来的にアジア市場のコスメ拠点を目指す事業である「コスメティック構想」を推進する佐賀県と、唐津市を拠点とする「ジャパン・コスメティックセンター(JCC)」、佐賀大学によって2021年6月1日に設立されたのが当共同研究講座です。目的は、化粧品に活かせる新技術の開発と人材育成、研究の拠点を作ることで、また玄海町や唐津市の離島をはじめ、佐賀県産のユニークな素材を活かした製品作りも目指しています。何より一番注目すべきは、化粧品を専門に研究している国立大学はほぼないということ、つまりこれは国内でも例を見ない取組みだということです。「化粧品研究において佐賀大学が日本一になる、頂点を目指す」ことを自治体と大学が一体となって行っているのです。

「実のある研究」を追求 商品化を実現し、消費者に届ける。

私の研究は、「皮膚の構造研究」と「巨大分子を皮膚内部に入れる」という2つが主軸です。具体的には、ヒアルロン酸は分子が大きいため皮膚表面から肌内部へは入らないと考えられてきましたが研究を進め、塗布するだけで皮膚内部に浸透させる技術の開発に成功しました。これは教科書の記述が変わるほどの成果だと自負しています。このようにヒアルロン酸の製剤化技術をはじめ、様々な技術を「ポーラ」などの大手企業との共同研究によって数多くの

商品化につなげてきました。私は「研究のための研究」で終わるのではなく、商品化を考えた研究が重要だと考えます。それは、かつて恩師からいただいた「薬学は実学だ」という言葉の影響が大きいのですが、研究の先に商品が生まれ、消費者が喜ぶ…それこそが実のある研究なのではないかと思うからです。そして自身の研究はもちろん、学生や研究者のサポート、また九州では佐賀だけにある貴重な研究施設を活用して、佐賀・九州と世界中の研究者との架け橋になることも私の役割だと考えています。

幸せな人を、もっと幸せにする 化粧品業界の研究者・技術職を輩出。

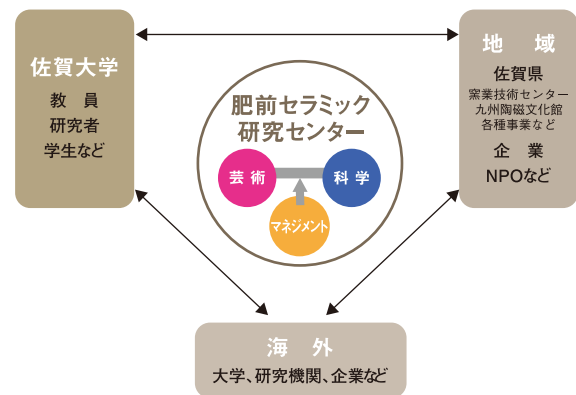
2021年度は、農学部3年生後期の選択科目として「コスメ産業学」の講義を行いました。必修でないにもかかわらず、多くの学生が履修したことから、化粧品科学が大変興味深い分野だということが分かります。化粧品はブランディングやマーケティング、パッケージデザイン等、様々な学びが活かされます。前職の大学で私の研究室の卒業生の多くは大学院へ進み、8割以上が化粧品業界の技術職として就職しました。本学の学生にも希望の就職を叶えられる素地が十分にあり、人材育成や新技術の開発に向けて、この数年間における講義や研究などの取組みは、とても重要だと感じています。化粧品は気分を高めてくれて、「幸せな人をより幸せにできる力」があります。化粧品業界を支え、誰かが喜ぶことを生み出していく——そんな素敵な研究に、一緒に取り組んでいきたいと思います。

肥前セラミック研究センター

歴史と伝統を守りつつ、新しい“やきもの”を届けていきたい。

陶磁の地・佐賀県において、
“やきものイノベーション”を目指す。

当センターは芸術分野の「プロダクトデザイン・アート研究部門」、理工学分野の「セラミックサイエンス研究部門」、そして地域デザイン・経済分野の「マネジメント研究部門」の3つの分野を融合した研究拠点です。ここでは陶磁器産業の分析、先進技術を取り入れた素材開発、陶磁器のデザイン研究などが行われており、地域活性化を目指しています。さらに、佐賀県窯業技術センター、佐賀県立九州陶磁文化館、有田町歴史民俗資料館、地元陶磁器関連企業、海外の陶磁器に関連する大学や研究機関などとの連携により、“やきものイノベーション”の創出を図っていきます。



新素材開発で、
やきもの業界に新しい風を。

佐賀県窯業技術センターが開発した焼成時無収縮磁器原料を基にした研究が進められています。この新素材はやきもの業界におけ



アイントホーフェンデザインアカデミー留学生 Marieke Van Schijndel 作品

る画期的な開発であり、この素材をもとにさらなる研究開発を進めるとともに、これを使った新しい作品を生み出し、どう地域貢献に生かしていくかを考えていきます。

当センターでは、芸術地域デザイン学部や理工学部の学生たちとともに、新素材の開発や、新素材を使った作品づくりや、歴史的遺跡の調査・分析を行っています。学生たちの斬新なアイデアやデザインを取り入れ、これまでにない研究成果の創出を目指します。

世界にやきものを
広めていきたい。

歴史と伝統を持つやきものの文化は、佐賀県の誇りです。世界中でやきものが持つ歴史やデザイン性が注目を集めており、当センターでも中国や韓国といった世界の国々と共同して国際シンポジウムや国際セミナーを開催しています。理工学的にも、芸術的にも、産業的にもまだまだこれから発展の可能性がある“やきもの”を、当センターから世界に広げていくことを目標としています。

微細藻類研究プロジェクト

こだわりは「佐賀産」。
佐賀初、佐賀発の有用物質発見を目指して。

私たちの日常生活で見られる微細藻類には、水質の改善に役立ったり、薬や化粧品原料となる物質や石油の代わりとなる物質などを作り出す種類があることが分かっており、注目を集めています。バイオマス産業都市を目指す佐賀市により、2018年3月、佐賀大学構内にさが藻類産業研究開発センターが設置されました。ここでは、佐賀市内企業の研究者と、農学部、理工学部、医学部の教員・学生が協力し、ため池や農業用水路の中に生息する微細藻類についての研究を日々進めています。

微細藻類から有用物質を取り出し産業利用するには、まず微細藻類を「発見」し、その微細藻類を「培養」、さまざまな有用物質を

「抽出」し、産業化に向けての「試験」へ進みます。この研究プロジェクトでは佐賀の微細藻類を対象とし、将来的には佐賀で生まれて佐賀で培養された微細藻類の有用物質を利用し、企業と共に商品開発を進めていくことが目標です。微細藻類研究プロジェクトは、佐賀の未来を担う九州初の取り組みなのです。



100ℓ以上の微細藻類培養。ビニールハウス内での大量培養実験も進行中です。

海洋エネルギー研究所

未来を大きく変える、新エネルギーへの挑戦。

日本初の海洋エネルギー施設は、
世界からも注目を集めています。

「海洋エネルギー研究所」は、日本の共同利用・共同研究拠点として2010年度に共同利用・共同研究拠点として海洋エネルギー研究センターが設立され、2022年度に「海洋エネルギー研究所」に改組されました。本研究所は「海洋温度差」「波力」「潮流・海流」「洋上風力」の4つの主要な海洋再生可能エネルギーの研究開発を行っている数少ない研究機関であり、世界的にも注目を集めています。海から得られるエネルギーは無限大の可能性を秘めており、21世紀が抱える地球規模でのエネルギー問題と環境問題の解決に寄与することが期待されています。

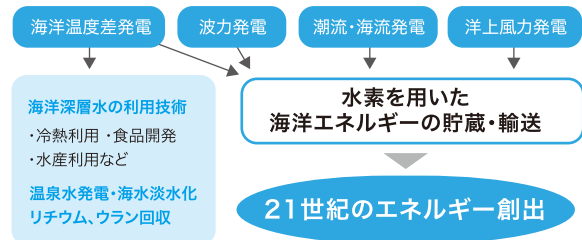


「海洋エネルギー研究所・伊万里サテライト」

電気を半永久的に供給する
画期的な海洋温度差発電。

海洋エネルギーの中でも、特に注目を浴びているのが「海洋温度差発電」です。深海から汲み上げられる低温の海洋深層水と、太陽に照らされた表層水を使うことで24時間安定して電気を供給できる技術です。本研究所には、海洋温度差発電実験装置があり、国内をはじめ海

研究所の主な研究分野



久米島100kW海洋温度差発電実証プラント



30kW海洋温度差発電装置

外からも多くの研究者たちが訪れ、包括的な研究推進体制を強化し、インド、マレーシア、オランダなどの諸外国の研究機関との間に学術交流協定を締結しています。また、2014年には久米島サテライトも設置し、2013年度に開始された沖縄県久米島の100kW級海洋温度差発電実証試験に協力しています。さらに、佐賀大学で開発された装置がマレーシアに導入され、2023年から実証実験が始まります。

「車海老」や「海ぶどう」などの
養殖で地域に貢献する「久米島モデル」。

海洋温度差発電は、電気以外の、さまざまな副産物も生み出しています。発電のために汲み上げられた海洋深層水は低温で豊富なミネラルが含まれており、久米島ではそれを全国シェアNo.1の車海老や海ぶどうなどの特産品の養殖にも利用しています。このような取り組みは、雇用を創出する地域創生の「久米島モデル」としても話題になっています。

海が持つパワーを次世代に引き継ぎ、
さらに大きな夢の実現へ。

本研究所では世界トップレベルの効率を得た波力発電システムの開発や、海流・潮流発電技術、洋上風力発電技術など、海からのエネルギーに関して研究開発が進められています。海洋再生可能エネルギーをより身近にしていくために、本研究所では日夜研究を推進し、人材を育成しています。卒業後は電力会社やガス会社、造船会社、エンジニアリング会社などのエネルギー関連の仕事に就く学生も増えています。海洋エネルギーが持つ強みは、他の再生可能エネルギーに比べてエネルギー密度が高いこと、そして、その膨大なエネルギー源にあります。海が持つ果てしないエネルギーを実用化することで、次世代のクリーンエネルギーとしての確立を目指していきます。

地域学歴史文化研究センター

佐賀の地をさらに知る、
学ぶ、伝える取り組み。

地域学歴史文化研究センターは、佐賀地域の特性を歴史・文化の面から考える「佐賀学」について、人文・社会科学や自然科学を取り入れた研究を進めています。センターでは佐賀の国際性・先進性に注目し、江戸時代の佐賀藩における医学・軍事技術の導入に関する資料の収集や研究などを行っています。また、研究の成果を市民・学生のみなさんに伝えるため、展示や講演会、刊行物の出版などの事業

のほか、教育学部、芸術地域デザイン学部で授業を開講しています。



センターが拠点としている菊桶シュイバー館



地域学歴史文化研究センター所蔵「解体新書」。江戸時代のお医者さんが実際に医学の勉強に使った現物です。

数字で見る佐賀大学

さまざまな分野で進化を続ける佐賀大学。就職率や国家試験合格率など、確かな実績を築き上げる佐賀大学の驚くべき魅力を数字でご紹介します。

2022年度
学部生就職率

99.1%

※詳細はP102に掲載

佐賀大学の
学生数

6,652名

※大学院生を含む

JR九州の特急で
博多駅↔佐賀駅

約35min

※電車の所要時間は乗り換え・待ち時間等は含まれていません。

学費の初年度納付金

81万7800円

入学金：282,000円 授業料：535,800円

※詳細はP104に掲載

キャンパス
の広さ

東京ドーム6個分

※本庄キャンパスのみ

佐賀大学の
教員数

625名

※教授、准教授、講師、助教の人数 ※2023年4月現在

アクティブ
ラーニング
導入科目数
の割合

99.97%

※2022年度実績

海外留学
人数

228人

2023年度から本格再始動！

※2019年度実績
※新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度、2021年度は派遣実績なし

奨学金
受給者の割合

約55%

※2023年3月現在

大学発
ベンチャー

6件

※2022年度までの実績

附属図書館の蔵書数

約70万冊

和漢書：約48万冊 洋書：約22万冊

女子学生
比率

45%

※2022年度学部入学者

高等教育の
修学支援新制度

全額免除750名

2/3免除：404名 1/3免除：215名

※2022年度通年実績 ※詳細はP104に掲載

公認サークル数

108団体

本庄キャンパス：68団体

銅島キャンパス：40団体 ※詳細はP111に掲載

保健師
助産師の
国家試験合格率

100%

※2022年度実績

就職先が
公務員の
学部生数

125名

※2022年度実績

就職者数は874名

将来のため、自分のために資格・免許を取得。

資格・免許の中には、仕事に必ず必要な資格・免許もあれば、将来のためやスキル向上のために取得する資格・免許などもあります。
学生時代の時間と能力を活かし、必要な資格・免許取得にチャレンジしましょう。

■ 主な資格・免許

資格・免許には、卒業要件単位を修得して卒業することにより得られるものだけでなく、他の科目の単位の修得や卒業後の実務経験が必要なものなど様々な取得条件があります。詳しくは学務部教務課各学部教務担当にお問い合わせください。

学部	課程・学科	コース	資格・免許
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース	
		小中連携教育コース	
芸術地域 デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	学芸員
		地域デザインコース	学芸員
医学部	医学科		医師国家試験受験資格
	看護学科		看護師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 保健師免許を取得し卒業後に資格が得られるもの 第一種衛生管理者免許状 養護教諭第二種普通免許状
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	測量士補
		データサイエンスコース	
		知能情報システム工学コース	
		情報ネットワーク工学コース	
		生命化学コース	毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者(甲種)受験資格
		応用化学コース	毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者(甲種)受験資格
		物理学コース	測量士補
		機械エネルギー工学コース	技術士補 第一種ボイラー・タービン主任技術者 施工管理技士受験資格
		メカニカルデザインコース	技術士補 第一種ボイラー・タービン主任技術者 施工管理技士受験資格
		電気エネルギー工学コース	電気主任技術者 電気通信主任技術者(一部受験科目免除) 施工管理技士受験資格
		電子デバイス工学コース	電気主任技術者 電気通信主任技術者(一部受験科目免除) 施工管理技士受験資格
		都市基盤工学コース	測量士補 二級・木造建築士受験資格 施工管理技士受験資格
		建築環境デザインコース	測量士補 二級・木造建築士受験資格 一級建築士受験資格 建築設備士受験資格 施工管理技士受験資格
		生物科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 家畜人工授精師受験資格 普及指導員受験資格
		食資源環境科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 測量士補 自然再生士補 1級及び2級土木施工管理技士受験資格 普及指導員受験資格
農学部	生物資源科学科	生命機能科学コース	食品衛生管理者 食品衛生監視員 普及指導員受験資格 危険物取扱者(甲種)受験資格 化粧品総括製造販売責任者申請資格
		国際・地域マネジメントコース	普及指導員受験資格

■ 取得可能な教育職員免許状の種類

教育学部以外の学部においても、所定の科目を履修し単位を修得することにより、卒業時に下記の教育職員免許状を取得することができます。
詳しくは学務部教務課各学部教務担当にお問い合わせください。

学部	課程・学科	コース	幼稚園教諭 一種免許状 二種免許状	小学校教諭 一種免許状 二種免許状	中学校教諭 一種免許状 二種免許状	高等学校教諭 一種免許状	特別支援学校教諭 一種免許状 二種免許状
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース	●	●	◆	■	★
		小中連携教育コース	●	●	◆	■	★
芸術地域 デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	－	－	美術 (一種)	美術、工芸	－
		地域デザインコース	－	－	－	－	－
経済学部	経営学科	－	－	－	－	商業	－
理工学部	理工学科	数理サイエンスコース	－	－	数学 (一種)	数学	－
		データサイエンスコース	－	－	数学 (一種)	数学、情報	－
		知能情報システム工学コース	－	－	数学 (一種)	数学、情報	－
		情報ネットワーク工学コース	－	－	数学 (一種)	数学、情報	－
		生命化学コース	－	－	理科 (一種)	理科	－
		応用化学コース	－	－	理科 (一種)	理科	－
		物理学コース	－	－	理科 (一種)	理科	－
		機械エネルギー工学コース	－	－	－	工業	－
		メカニカルデザインコース	－	－	－	工業	－
		電気エネルギー工学コース	－	－	－	工業	－
		電子デバイス工学コース	－	－	－	工業	－
		都市基盤工学コース	－	－	－	工業	－
		建築環境デザインコース	－	－	－	工業	－
		生物科学コース	－	－	理科 (一種)	理科、農業	－
		食資源環境科学コース	－	－	理科 (一種)	理科、農業	－
農学部	生物資源科学科	生命機能科学コース	－	－	理科 (一種)	理科、農業	－
		国際・地域マネジメントコース	－	－	理科 (一種)	理科、農業	－

◆・・・国語、社会、数学、理科、音楽、保健体育、技術、家庭、英語
★・・・知的障害者、肢体不自由者、病弱者
■・・・国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、書道、保健体育、家庭、英語

次世代を担う

子どもたちを育成

教育のプロになる。

する

Faculty of Education

教育学部

学校教育課程

- ▶ 幼小連携教育コース
- ▶ 小中連携教育コース

〈特別支援教育の
カリキュラムを強化〉

学校教育課程 小中連携教育コース
寺崎 文乃 福岡県 明善高等学校出身

〈学部の特徴〉

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う教育課題に応えることができる教員の育成を目指しています。特に、近年増加している特別支援を必要とする子どもや児童生徒の教育への需要にも対応できるカリキュラムを実施しています。

●「幼小連携教育コース」では、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学びます。また、これらの知識や技能をもとに子どものニーズや課題を把握できる教員を養成します。専攻は「幼小発達教育専攻」と「特別支援教育専攻」の2つです。

●「小中連携教育コース」では、小・中学校の9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えて教育実践を行える能力を持った教員を養成します。児童期から思春期にかけての心身の発達過程や各教科の内容をふまえ、一人ひとりの学習意欲を高めながら着実な理解や達成の積み重ねへと導き、学力向上を実現することのできる指導・支援のあり方を学修します。専攻は「初等教育主免専攻」と「中等教育主免専攻」の2つです。

■ 教育目的

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴うさまざまな教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。

■ 在学生インタビュー



子どもたちが楽しく学校生活を過ごし 自分自身も成長し続けられる教師を目指して。

高校生の時点では、まだ中学校か小学校の先生かを決めかねていたので、両方の免許が取得できる佐賀大学に進学を決めました。実際に入学してみると、設備は充実しているし、1年生の段階から授業の一環として小学校の現場を知ることのできるのも、とてもいい環境だと思いました。近年ではICT教育も充実してきているため、電子黒板などを用いて授業ができたこともよかったと感じています。同じ夢を持っている友人の影響を受け、教育に関することを積極的に知りたいと思うようになったことも、入学してからの成長だと感じています。今は小学校、中学・高校の理科の免許を取得しようと考えていますが、目標は小学校の先生になることです。

学校教育課程 小中連携教育コース
角岡 嵩章 福岡県 福岡大学附属大濠高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



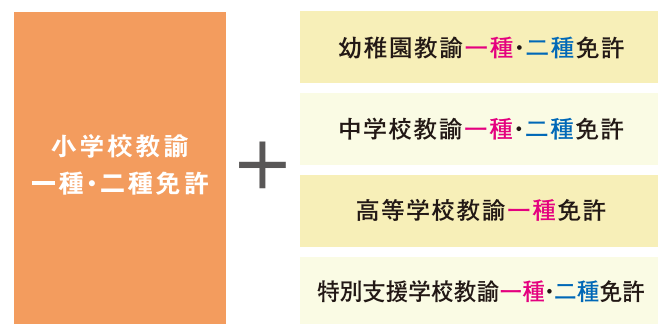
複数免許の取得で広がる 教育者としての幅広い可能性

01 幼小・小中連携教育を実現する 複数免許の取得をサポート

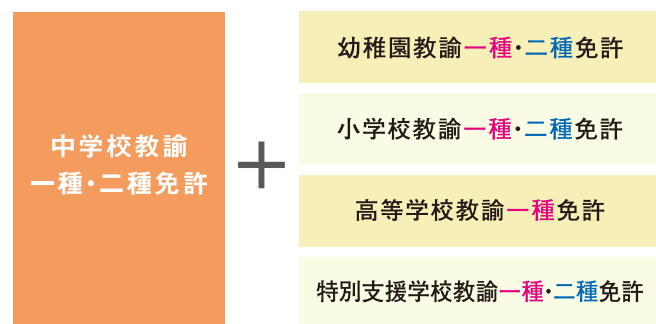
教育学部ではどのコースを選んでも「幼稚園教諭」「小学校教諭」「特別支援学校教諭」「中学校教諭」「高等学校教諭」から複数の免許取得が可能です。「幼稚園教諭」と「小学校教諭」のダブルライセンスや、小中一貫教育に携わるために「小学校教諭」「中学校教諭」を組み合わせるなど、目指す将来に必要な資格を在学中に取得できます。「保育士」の国家試験受験にも役立つ内容になっています。



小学校教諭免許とその他の免許の取得例



中学校教諭免許とその他の免許の取得例



◎ 幼・小・中・高校は教科・科目の免許が取得可能

「保育士」の資格取得には、国家試験の受験が必要です。

教科教育に重点を置き、各教科の学びを深めて専門知識と技能を身に付けます。小学校での英語教育に対応して、英語にも力を入れています。

全校種
対応 取得可能な中学・高校の免許科目一覧

国語	社会	地理歴史	公民
数学	理科	音楽	書道
保健体育	技術	家庭	英語

◎ 特別支援学校教諭の免許取得も充実

(教職大学院への進学→修了で専修免許も取得可能)

特別支援学校の教員になるためには、教諭免許状のほかに「特別支援学校教諭免許」が必要となります。幼小連携教育コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識を学び、免許取得をサポートします。特別支援学校にも強い教員を目指します。



丁寧なサポート体制

高い能力を備えた教育者を育成する充実の環境

現場で教える教科内容を
「質の高い授業」で学習

レベルの高い研究業績を持つ教員による、教科教育・教科内容で学びを深めます。学校教員になるための「質の高い授業」によって、教育現場で活用できる知識を身に付けます。

理論と実践、どちらも
高いレベルで修得可能

教育学部から教職大学院まで「6年間の教員養成」を見据えた学修が可能。また、佐賀県公立学校教員採用選考試験においては、一般・教職教養試験免除制度※が新設されました。

※教職大学院修了後の専修免許状所有者(見込み含)対象

学部教員が一丸となって
試験対策を丁寧に指導

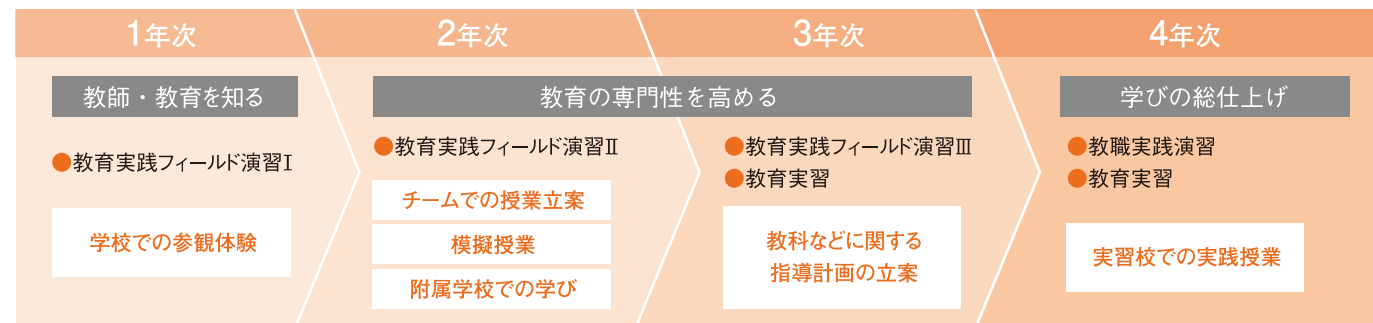
教員採用試験対策は、学部教員全員による丁寧な2次試験対策を中心とした指導を実施。過去問題の提供や実技指導など綿密な支援策で、合格への実力を積み上げていきます。

02 1年次から学校現場、3年次から教育実習へ、 実践経験を積むフィールド演習

1年次は参観等の学校体験を行うフィールド演習Ⅰ、2年次にはチームで授業を立案して模擬授業を行うフィールド演習Ⅱ、3年次には実地授業を行うフィールド演習Ⅲを実施。学内での講義のほかに体験学習をバランスよく組み合わせて、早い段階から教育現場での経験を積み、社会に出たときに即戦力として輝ける力を身に付けます。



[4年間の教育実習のイメージ]



附属学校での実習

教育学部には、一人ひとりの個性と能力を生かす教育の場である4つの附属学校(園)があります。教員を目指す学生が教育実習を行うのもこれらの施設です。



佐賀大学教育学部附属幼稚園



佐賀大学教育学部附属小学校



佐賀大学教育学部附属中学校



佐賀大学教育学部附属特別支援学校

03 ICTを活用した模擬授業の実施や 地域との連携を通して現場が求める教員を育成

小学校での英語教育や今後増加が見込まれるICTなど、教育現場を取り巻く環境にいち早く対応するために、佐賀大学では英語力とICTに力を入れています。電子黒板やタブレット型端末機器などの設備を充実させ、高度なICT機器による模擬授業を行える環境を整備。GIGAスクール構想に強い教員を目指しています。また、地域と連携して教育の現場の情報を随時収集し、教育の現場でどのような教員が求められているかを把握することで、即戦力となる人材を育成します。



佐賀県立鹿島高等学校(大手門学舎) 勤務
村上 正浩さん
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース
2020年3月卒業

【業務内容】
クラス経営の他、生徒指導部と生徒会副主任、部活動顧問を担当。

4年間で培った教員としての力と思い。 初心を忘れず、自分自身を磨き続けたい。

現在は佐賀県立鹿島高等学校で保健体育の教員として勤務し、2年生食品調理科の担任をしています。大学の4年間では、本当に多くの教育実習に参加することができ、それぞれの校種で子どもたちへの接し方や配慮の違いを感じました。初めてのことでばかりで緊張や失敗もたくさんありましたが、常に試行錯誤しながら取り組んだ日々は、私にとってかけがえのない財産です。それを乗り越えたからこそ、今の自分があると感じています。たくさん子どもたちとの出会いの中で、改めて「教師になりたい!」と思うことができた日々でもありました。4年間で学んだことを現在勤務している現場にも活かし、多様な生徒それぞれに応じた指導や支援に努めています。教壇に立ち3年が経ちましたが、この先も多くのことに挑戦し、初心を忘れずに教員としての資質を磨き、感謝の気持ちを持ち続けていきたいと思っています。





詳細情報はこちら

やりたいことがあれば、行動あるのみ
将来は、自分の目で海外の教育を学び
日本に持ち帰って実践してみたい

私は幼小連携に関心があったので、幼児教育・小学校教育について学べる本コースを選びました。教育実習前は主に小学校の科目指導に関することや幼児の発達について学び、実習後は学級経営など教育現場で必要となる知識を学んでいます。本学の魅力の一つは人の良さ。入学後に学生一人一人にチューターが付き、学習や将来のサポートしてくれたのはとても心強かったし、友人たちは自分以上に夢があり、それが学習のモチベーションアップにつながりました。また、心理学や特別支援、SDGsに関する授業も受講でき、入学後に一気に進路が広がったと感じました。現在は、幼稚園教諭、小学校教諭の免許、保育士の資格の取得を目指しています。そして将来は、学力の高いシンガポールや福祉の手厚い北欧に行き、自分の目で教育について学びたいと考えています。

学校教育課程 幼小連携教育コース
青木 美千 福岡県 筑前高等学校出身

幼小連携教育コースの紹介

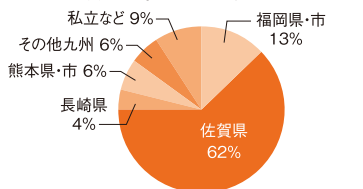
幼小の接続に関する基礎知識と特別支援教育の基本的理念を修得した教員を養成します。
「幼小発達教育専攻」では、子どもの発達を心理学、保育・幼児教育学、教育学の観点から包括的に理解する力を育みます。
「特別支援教育専攻」では、特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して適切な教育的支援を行える能力を育てます。

主な進路

〈就職先〉

●佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園

2021年度教育学部教員就職者地域別割合



●そのほか、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

●佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)
●長崎大学大学院教育学研究科(教職大学院)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	幼小発達教育専攻	【専攻の科目】 ●児童・生徒発達論 ●心理学概論 ●保育観察実習Ⅰ ●特別支援教育総論 など	【専攻の科目】 ●幼小連携教育論 ●子どもの福祉と家族支援 ●保育表現演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ●教育統計Ⅰ ●心理学実験Ⅰ ●臨床心理学概論 ●社会的養護の理解 ●社会教育概論Ⅰ など	【専攻の科目】 ●幼小連携教育研究法 ●幼小連携教育演習 ●心理学実験Ⅱ ●家族心理学 ●道徳教育と学級経営 など	【専攻の科目】 ●保育観察実習Ⅱ・Ⅲ ●卒業研究 など
		【教職・教科の科目】 ●教職概論 ●教育学原論 ●小学体育Ⅰ・Ⅱ ●初等数学 ●現代の教育と社会 ●幼児・児童発達論 ●幼児教育課程論 ●保育内容(健康) など	【教職・教科の科目】 ●教育相談 ●教育原論 ●初等国語科教育法 ●保育内容(環境) ●小学社会 ●小学家庭 ●教育心理学 ●初等理科講義及び実験 など	【教職・教科の科目】 ●生活科教育法 ●人権教育論 ●生活科概説 ●生徒・進路指導論 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●小学図画 ●小学工作 など	【教職・教科の科目】 ●教職実践演習
		●教育実践フィールド演習Ⅰ	●教育実践フィールド演習Ⅱ	●教育実践フィールド演習Ⅲ・教育実習(小学校)	●教育実習(幼稚園・特別支援学校・中学校)
		【専攻の科目】 ●特別支援教育総論 ●障害児心理学 ●病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理 など	【専攻の科目】 ●障害児学習指導法Ⅱ ●教育統計Ⅱ ●子どもの福祉と家族支援 ●幼小連携教育論 など ●肢体不自由者の心理・生理・病理	【専攻の科目】 ●障害児学習指導法Ⅰ・Ⅲ ●障害児の心理臨床と指導法 ●発達障害児心理療養 ●重複障害教育論 ●幼小連携教育研究法	【専攻の科目】 ●卒業研究 など
専門教育科目	特別支援教育専攻	【教職・教科の科目】 ●教職概論 ●幼児・児童発達論 ●現代の教育と社会 ●小学国語 ●小学体育Ⅰ・Ⅱ ●初等数学 ●幼児教育課程論 ●保育内容(健康) など	【教職・教科の科目】 ●教育相談 ●教育原論 ●初等国語科教育法 ●小学社会 ●小学家庭 ●教育心理学 ●初等理科講義及び実験 など	【教職・教科の科目】 ●生徒・進路指導論 ●生活科教育法 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●人権教育論	【教職・教科の科目】 ●生活科概説 ●小学図画 ●小学工作 など

授業紹介

幼小連携教育論

幼小連携とは何か、なぜ必要か、幼小接続の課題は何か、などについて、教育学的・心理学的見地から解明を試みます。さらに、幼児教育からの表現活動や特別支援教育の在り方を実践的に解説します。幼小連携教育コースの教員全員がオムニバスで授業を行います。

幼小連携教育研究法

幼小発達教育専攻では、教育学・心理学・造形教育から問題意識の設定や深め方を理解し、探求したいテーマと研究方法について考えていきます。特別支援教育専攻では、アンケート調査や心理学実験の演習や特別支援学校の児童生徒との関わりから、実態や支援方法について考えを深めています。教員全員がオムニバスで授業を行います。

障害児心理学



障害の種類と障害の特性、障害に伴う心理的影響や問題等を把握するとともに、障害特性に応じた支援のあり方に関する基本的事項を学びます。

研究室・ゼミ紹介

特別支援教育

芳野 正昭 教授



ゼミ生各自が興味・関心のあるテーマ(障害児支援、交流および共同学習、きょうだい児支援等)を決めて卒業研究に取り組み、障害児の理解と支援に関して研鑽を積んでいます。

心理学

石井 宏祐 准教授



教育現場の今日の課題について、心理学的方法を用いて実証的に検証します。学生たちは不登校やいじめ、心の病などをテーマに研究に取り組んでいます。

幼児教育(造形)

栗山 裕至 教授

造形実践を主内容に、幼児教育の理論や方法、課題や可能性について具体的に研究します。幼児・児童について深く理解し、柔軟な発想を持った教員を目指します。

教育学

成松 美枝 准教授

小1プロブレムや幼児の保育と母親の子育てなど、子どもの教育について多様な問題をテーマに取り上げ、学生の興味・関心によって卒業論文を作成しています。

卒業生の主な卒業論文テーマ

○幼児間の午睡時の寝つきやすさの要因に関する質的研究 ○孤立した母親の苦悩についての現象学的研究 ○スクールカーストを生まない学級づくり-教師の役割と課題- ○小学生における学習動機付けと学業適応との関連 ○特別支援学校における知的障害児への性教育のあり方 ○発達障害・知的障害の子どもを持つ家族の思いと支援のあり方-保護者へのインタビュー調査を通じて- ○保育と自然体験についての考察 ○親子の情緒的支援の方向性が親子の親密さおよび子の自尊感情に与える影響 ○自己表現の観点から見る人間関係を高める幼児教育 ○長崎県の離島教育の現状と可能性-新上五島町の実践に鑑みして-

教員紹介

教育学・学校教育

成松 美枝 准教授
教育制度

足立 佳菜 准教授
道徳教育

特別支援教育

松山 郁夫 教授
社会福祉学

芳野 正昭 教授
特別支援教育

日高 茂暢 講師
特別支援教育

図画工作

栗山 裕至 教授

造形教育

附属教育実践総合センター

石井 宏祐 准教授
臨床心理学

高柳 元 准教授
教育実習

大野 愛哉 助教
特別支援教育・臨床心理学



詳細情報はこちら

子どもたち一人ひとりの
良さを引き出し、可能性を広げる
そんな小学校教諭を目指して

複数の免許が取得できること、自分の強みをいかしたAO入試で受験できることから、本学を受験しました。今は音楽科に所属し、小中学校の音楽科教育法だけでなく、指揮法、伴奏法、声楽、ピアノといった実技の講義を受け、自分の技術を高めたり、音楽の指導に必要な知識・技術を学んでいるところです。今年度には4週間の教育実習を終えましたが、学習指導や生活指導など業務の多さに大変さを感じる反面、子どもの成長や教員のやりがいにも気づくことができました。周囲には同じ志を持つ友人が多く、将来のことや授業のことを話し合ったりアドバイスし合っていく中で柔軟な考え方ができるようになったことも大きな成長だと感じています。将来は、指導力を身につけるのはもちろん、子どもたちに寄り添って喜怒哀楽と一緒に感じることができ、小学校教諭になりたいと思っています。先生になり、子どもたちと触れ合えるのが今から楽しみです。

学校教育課程 小中連携教育コース
岡田 実久 山口県 梅光学院高等学校出身

小中連携教育コースの紹介

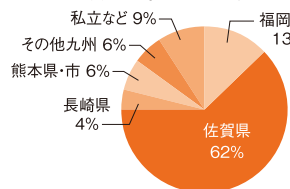
小・中学校9年間の義務教育期間全体を体系的に把握し、児童生徒の心身の発達過程に基づきながら各教科の内容と特徴についての理解を深めます。「初等教育主免専攻」と「中等教育主免専攻」の2専攻があり、初等教育と中等教育を一体として捉えた特色ある教育を各専攻で行います。

主な進路

〈就職先〉

●佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園

2021年度教育学部教員就職者地域別割合



●その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

●佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	初等教育主免専攻	【専攻の科目】 ●小学英語 ●小学国語 ●小学音楽 ●教職概論 ●現代の教育と社会 ●小学体育I など 【中等教育副免許の科目】例:国語科 ●中国文学概説 ●書写 など	【専攻の科目】 ●初等外国語教育法 ●小学社会 ●小学家庭 ●道徳教育の理論と実践 ●初等理科講義及び実験 ●初等国語科教育法 ●初等社会科教育法 ●算数科教育法 ●教育心理学 ●教育原論 ●教育方法学(情報通信技術の活用を含む。) ●教育相談 ●特別支援教育の基礎 ●初等理科教育法 など	【専攻の科目】 ●小中連携教育内容研究 ●小中連携教育学 ●生活科概説 ●小学図画 ●小学工作 ●生活科教育法 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 など 【中等教育副免許の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法I・II ●国語表現論 など	【専攻の科目】 ●教職実践演習 ●卒業研究 など
		●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II	●教育実践フィールド演習III-教育実習(小学校)	●教育実習(中学校など)
				●教育実践フィールド演習III-教育実習(中学校)	●教育実習(小学校など)
		【専攻の科目】例:国語科 ●中国文学概説 ●書写 ●国語学概論 ●国文学論 など 【初等教育副免許の科目】 ●小学英語 ●小学国語 ●教職概論 ●現代の教育と社会 ●小学体育I など	【専攻の科目】例:国語科 ●国文学演習I ●中国古典学演習I ●道徳教育の理論と実践 ●教育方法学(情報通信技術の活用を含む。) ●中等国語科教育法II ●特別支援教育の基礎 など 【初等教育副免許の科目】 ●初等外国語教育法 ●小学社会 ●小学家庭 ●初等理科講義及び実験 ●初等国語科教育法 ●算数科教育法 ●教育心理学 ●初等理科教育法 など	【専攻の科目】例:国語科 ●中等国語科教育法I・II ●国文学演習III ●中国古典学演習III ●国語学演習III ●小中連携教育内容研究 ●小中連携教育学 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●国語表現論 など 【初等教育副免許の科目】 ●生活科概説 ●小学図画 など	【専攻の科目】 ●教職実践演習 ●卒業研究 など

授業紹介

住居学I



講義や住宅見学を通じて住まいや住まい方に関する知識を身に付けます。また実習により住宅設計・製図の基礎的な技術を修得します。

英語科教育法



小中連携を見据えた中等教育における英語指導について基礎的な知識を獲得し、コミュニケーション能力を育む英語指導の実践力を修得します。

化学実験

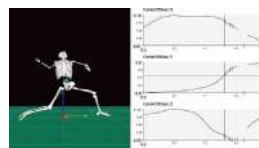


理科の実験風景の1コマです。写真は化学領域です。少人数での実験です。知識及び技能の習得・確認を行うとともに、未知の事象に遭遇した時の思考力、判断力を訓練します。

研究室・ゼミ紹介

バイオメカニクス

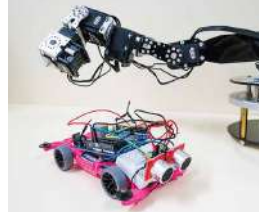
井上 伸一 教授



センサや映像技術を用いてヒトの動きを解析しトレーニングによってスポーツ技術はどのように変容していくのか、スポーツにおける効率的な動きとはなにかを探っていきます。

人工頭脳工学

和久屋 寛 教授



情報通信技術(ICT)や人工知能(AI)が専門です。動画コンテンツを用いた教材開発、ミニ四駆やロボットアームによる賢い情報処理を研究します。

地理学

黒田 圭介 准教授



この演習では主に、国土地理院発行の地形図の読み方と、統計地図の作図法について学び、これらを基に地域の風景や自然環境、人間活動の特徴を考察できる力を修得します。

卒業生の主な卒業論文テーマ

◎算数教育における子供のつまずきを減らすための指導法について ◎「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす音楽科の授業づくりに関する研究 ◎小学校体育授業と道徳教育についての研究 ◎初等理科教育における有毒植物の取り扱いについての研究 ◎小学校家庭科における包丁を使った食品の切り方についての映像教材の開発 ◎小学校外国語教育におけるCLIL(内容言語統合型学習)の実現可能性についての考察 ◎学習センターとしての学校図書館の利活用に関する研究-小学校を中心に- ◎社会参画としての学力を育成する学習環境デザインの研究 ◎人工知能(AI)初学者向けの教材開発 ◎発達段階に応じた性の多様性(LGBTQ)に関する教育の研究 ◎小学校の教科教育におけるICT機器の活用について

教員紹介

【言語・社会系グループ】

国語	達富 洋二 教授 国語科授業論	中里 理子 教授 日本語学	竜田 徹 准教授 国語教育学
書道	谷口 高志 准教授 中国文学		
社会	正寶 直美 准教授 書道		
英語	吉岡 剛彦 教授 基礎法	後藤 正英 教授 倫理学・思想史	岡本 託 教授 西洋史
	黒田 圭介 准教授 地理学		
	木原 誠 教授 英米・英語国文学	林 裕子 准教授 外国語教育学	ジョナサン モクソン 准教授 英語コミュニケーション
	吉村 圭 准教授 英米・英語国文学		

【理数系グループ】

数学	川中子 正 教授 幾何学	橋本 貴弘 准教授 幾何学	
物理	岡島 俊哉 教授 有機化学	角縁 進 教授 火山学・岩石学	中村 聡 教授 音楽科教育学
化学	世波 敏嗣 教授 理科教育学	端 正勝 教授 動物生理学	高島 千鶴 准教授 地球科学
技術	小野 文慈 教授 機械工学	和久屋 寛 教授 電子情報工学	

【実技系グループ】

音楽	板橋 江利也 教授 声楽	今井 治人 教授 指揮	荒巻 治美 准教授 音楽科教育学
体育	井上 伸一 教授 スポーツ科学	坂元 康成 教授 スポーツ科学	山津 幸司 教授 応用健康科学
家庭科	町田 正直 准教授 体育科学・運動生理学	澤島 智明 教授 住生活学	中西 雪夫 教授 家庭科教育学
			萱島 知子 准教授 食生活学

地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現

する。

Faculty of Art and Regional Design

芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

▶ 芸術表現コース

▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース

今村 葵 福岡県 伝習館高等学校出身

高桑 正誠 福岡県 明善高等学校出身

〈学部の特徴〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

■ 在学生インタビュー



作品を作りながら展覧会を開催。
将来は、自由に絵を楽しめる地域づくりを。

幼いころから絵に関心があり、中学・高校と創作を続けてきました。その中で、絵を描く人たちのコミュニティの魅力に気づき、次第に「描きたい人が自由に絵を描き続けられる環境づくり」を考えるようになり、本学部・本コースに進学しました。入学してからは、授業に取り組む一方で学生団体を立ち上げ、4回の作品展示を行いました。地域のカフェなどで開催しましたが、自分が求めているコミュニティを地域に作ることができ、とてもうれしかったです。作品制作のプロセスを展覧会などに応用できるようになったことも、成長の一つです。入学時から思い描いている地域づくりに、一歩ずつ近づいていると思います。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
園田 一馬 佐賀県 佐賀北高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



地域を知り、芸術でつなげる 作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく ～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに出品し大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間に伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



興賀神社 三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。	学生企画展の変遷と意義 65年にわたる学生企画展を調査・展示。学生たちの活動をアーカイブ化。	吉野ヶ里 吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。	旧長崎街道 佐賀市中心市街地を横切る長崎街道を広く知ってもらうための展示を実施。	SAGA ART WEEK 卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。
--	--	--	--	---

■ 作品紹介

ミクストメディア



night sea journey ミクストメディア
宇野 のどか 大分県 芸術緑丘高等学校出身

日本画



今日の絵 展示風景
廣嶋 美文 熊本県 必由館高等学校出身

コンテンツデザイン



はぐし水の三重点でピボット
インスタレーション、サイズ可変
遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身

映像デザイン



夢裡
シングルチャンネル映像 (HD、ステレオ、カラー)、10min
楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身

有田セラミック



たおる
陶土、手びねり
西岡 彩那 福岡県 福岡講倫館高等学校出身

■ 施設紹介



有田エントランスギャラリー(有田キャンパス)
授業成果や学生たちの自由な制作発表の場として活用され、毎年3月には卒業生・修了生の作品を展示し、地域住民も訪れる開放された空間となっています。



メディア収録演習室(本庄キャンパス)
4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。



福岡県庁 文化振興課 九州芸文館 勤務
小林 愛恵さん
芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
2020年3月卒業

【業務内容】
会場の設営立ち合い、広報物の校正、展覧会のイベント運営や企画など、展覧会開催に関わる全般に取り組む。

学生時代に積み重ねた経験を活かして 考えた企画をしっかりと実現できる人になりたい。

現在は福岡県庁文化振興課の学芸員として、筑後市の九州芸文館で年3回行われる展覧会を担当しています。学生時代に授業やゼミで展覧会やアートプロジェクトに携わり、本番までの段取りや現場での動き方、そして自分で考える力をつけられたことが、現在の仕事にも大きく影響していると思います。学生時代に特に思い出に残っているのは、佐賀県武雄市の武雄温泉物産館を中心に各地を巡るツアー型展覧会「武雄かくれ伝説」を行ったことです。学生アーティストや企業と連携した企画で、立ち上げも含めた本格的な運営は初めてだったこともあり不安もありましたが、最後までやり遂げられたことは自信につながりました。今後は芸術に限らず他分野にも視野を広げ、自分の考えと照らし合わせて企画に反映し、そのたびに浮上する課題と向き合って改善していくことで、多くの人がハッとするような企画を作れる人になりたいです。





詳細情報はこちら

制作活動に没頭する日々
将来は陶芸家になり
心地よい器を作りたい

高校時代から陶芸に興味があり、陶磁器の一大産地・有田で知識や技術を身につけたいと、進学を希望しました。素晴らしい設備と、広く学ぶことのできるカリキュラムも魅力でした。1年次に絵画や工芸など様々な分野の基礎を学びましたが、2年次に自分の専攻に分かれてからも、その学びが活動の中で活かされています。現在は、磁器土を用いたロクロ成形と石膏型による造形表現を中心に学んでいます。同じ専攻の友人と意見交換をしながら制作を進め、各自が時間外でも自分の課題と向き合い、またレベルの高いものを作ろうと日々頑張っています。将来は陶芸家になり、日々の生活の中で自然に手に取られるような、心地よい器づくりをしたいと考えています。そのためにも、好きなロクロ成形に一層力を入れて取り組んでいます。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
秋 貞 陽 山口県 野田学園高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学校から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

●美術家 ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッパングラフィックコミュニケーションズ ●ブレイン ●旭製作所 ●ノアデザイン ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メガネ ●不二貿易 ●丹心窯 ●佐賀県庁 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

●佐賀大学大学院
●University of the Arts London/Camberwell College of Arts

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目				
	共通基礎科目「英語」				
	共通基礎科目「情報リテラシー」				
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目			
学部共通科目	学部共通コア科目		学部共通コア科目		
	●地域デザイン基礎 (デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸)		●芸術文化・地域創生論 (国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 ●アートと科学		●有田キャンパスプロジェクトI・II ●地域創生フィールドワークI・II ●国内外芸術研修
	●デザイン発想論 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●アートマネジメント ●Key Concepts in Art ●デジタル表現基礎 ●文化経済論 ●比較オリエンタリズム研究 ●風土と地理学 ●芸術と観光				
	●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻) ●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸) ●美術史基礎 ●図法		●工芸理論 ●現代美術概論 ●アートマーケティング論 ●デザイン基礎		
基礎科目					
美術工芸					●卒業研究I・II
有田セブミック					●卒業研究I・II

授業紹介

芸術表現A・B



美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

デザイン発想論



表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

陶磁特別演習I・II



有田を代表する十四代今泉今右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統についての話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

ミクストメディア

柳 健司 教授



芸術という枠を越えて、多種多様な思想や様式が展開される現代美術において、素材や技法にとらわれない個性を重視した、新たな表現の可能性を探索します。

漆・木工芸

井川 健 准教授



漆や木の基本技法を学び、素材との関わりの中で自分の表現を見つけていきます。用途あるものから造形作品まで、モノを作ることを通してさまざまな事を習得します。

日本画

近藤 恵介 准教授



「日本画」が歴史の経緯において獲得した視点や技術を絵画制作を通して学び、基礎に据え、認識をほぐしながら今日の絵画表現を模索します。

窯芸・装飾成形

甲斐 広文 准教授



単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

井川 健 准教授

漆・木工芸

甲斐 広文 准教授

窯芸・装飾成形

近藤 恵介 准教授

日本画

世利 幸代 准教授

視覚伝達デザイン

田中 右紀 教授

窯芸

徳安 和博 教授

彫刻

鳥谷 さやか 准教授

染色工芸

三木 悦子 准教授

窯芸・プロダクトデザイン

柳 健司 教授

ミクストメディア

湯之原 淳 准教授

窯芸・造形



詳細情報はこちら

地域でのフィールドワークに
初めてのアメリカンフットボール
動くことで得た知識や経験は大きい



最初は建築関係に興味がありましたが、大学のオープンキャンパスなどを通して、地域創生やまちづくりに興味があることに気づき、地域デザインコースへの進学を決めました。中でも私はフィールドデザイン分野を専攻しており、さらにはゼミでも地域創生関連の活動を行うゼミに所属しています。実際にフィールドワークで現地に行き、課題を見つけ、その解決策を考えていきますが、現地に行くことで地域の特色や課題を肌で感じ、住民の方々と距離感が近くなるのが、とても好きです。部活動ではアメリカンフットボール部に所属。大学から始めたスポーツですが、先輩・後輩・同期に恵まれて、スポーツの楽しさ・仲間たちと助け合いながら何事もあきらめないことの大切さを学びました。将来は公務員になり、大学生活で得た地域創生の知識・経験を役に立てたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
中川 磨一 熊本県 熊本高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

●株式会社ユニクロ ●株式会社良品計画(無印良品) ●株式会社オカムラ ●株式会社岩田屋三越 ●株式会社電通九州 ●総合警備保障株式会社 ●株式会社レベルファイブ ●株式会社Cygames サイゲームス ●日本郵便株式会社 ●株式会社再春館製薬所 ●株式会社スチームシップ ●JR九州エージェンシー株式会社 ●東映株式会社 ●関家具 ●大創産業 ●旭化成ホームズ ●日本赤十字社 ●パルコ ●九州電力 ●モノゾフ ●カメラのキタムラ ●防衛省九州防衛局 ●九州管区行政評価局 ●佐賀県庁 ●朝倉市役所 ●大野城市役所 ●那珂川市役所 ●小城市役所 ●柳川市役所 ●神埼市役所 ●美術家など

〈進学先〉

●東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目		大学入門科目			
		共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●デジタル表現基礎 ●風土と地理学 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●文化経済論 ●アートマネジメント ●比較オリエンタリズム研究 ●Key Concepts in Art ●芸術と観光	●芸術文化・地域創生論 (国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 ●アートと科学	学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI・II ●地域創生フィールドワークI・II ●国内外芸術研修	
	コース基礎科目	●博物館概論 ●ランドスケープ ●美術史基礎 ●観光学概論	●地域再生論 ●コミュニティビジネス ●Intercultural Communication and Art I ●地域情報マネジメント演習 ●経営・流通演習I ●フィールドデザイン演習I ●視覚伝達デザインI ●エリアスタディ演習I ●情報デザインI ●コンテンツデザインI ●映像デザインI ●ヘリテージマネジメント論	●地域マネジメント論	
	地域デザイン		●デザインプロジェクト演習 ●地域ブランディング演習 ●コミュニケーションデザイン論 ●メディアアート論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●メディアアート演習 ●地域ブランディング論	●コンテンツデザインII・III ●情報デザインII・III ●映像デザインII・III ●インターンシップ ●メディアプレゼンテーション ●デザイン実践セミナー	●卒業研究I・II
	キュレーション	●マーケティング論	●キュレイトーリング基礎 ●博物館経営論 ●博物館資料論 ●博物館展示論 ●博物館資料保存論(芸術と倫理を含む) ●博物館情報・メディア論 ●博物館学内実習 ●美術史I・II・III ●博物館教育論 ●工芸理論 ●美術史演習 ●キュレイトーリング応用I ●アートプロデュース論 ●アートプロデュース演習I ●現代美術概論	●博物館学外実習 ●アートマネジメント特別講義 ●アートプロデュース演習II ●キュレイトーリング応用II ●ヘリテージサイエンス ●インターンシップ	●卒業研究I・II
	フィールドデザイン	●考古学I	●考古学II・III ●アーカイブズ論 ●考古学演習I・II ●都市空間論I ●地域史論I・II ●都市・地域空間史 ●陶磁史 ●考古学実習I(室内) ●ヘリテージマネジメント演習 ●製図 ●文化財の保存と活用 ●アートマーケティング論 ●Critical Studies in Language and Image I・II・III ●Intercultural Communication and Art II・III	●考古学IV ●地域史論III ●古文書解読演習 ●都市空間論II ●フィールドデザイン演習II ●博物館の政治学 ●エリアスタディ演習II ●考古学実習II(野外) ●地域史演習	●地域調査分析 ●地誌学 ●経営・流通演習II ●Art in Context ●インターンシップ

授業紹介

映像デザイン



映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

Art in Context



アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を実現したり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

博物館実習



美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

博物館資料保存



石井 美恵 准教授
美術品の価値や保存について実資料を用いて学びます。

地域マーケティング

山口 タ妃子 教授
地域活性化をマーケティングにおける「地域ブランド」という視点から考察。特にゼミでは地域に実際にフィールドワークの中から地域課題を発見し、解決策を模索していきます。

都市デザイン

有馬 隆文 教授
人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

美術史



吉住 磨子 教授
作品、制作者、注文主、受容者、作品を生み出した社会全体、技法や材料など、既にある美術の多岐にわたる研究を行って学んでいきます。

教員紹介

阿部 浩之 准教授
情報デザイン

石井 美恵 准教授
博物館資料保存

重藤 輝行 教授
考古学

中村 隆敏 教授
映像デザイン

藤井 康隆 准教授
博物館学

山崎 功 教授
アジア研究・国際関係

HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授
異文化間コミュニケーション

有馬 隆文 教授
都市デザイン

栗林 賢 准教授
地理学

土屋 貴哉 准教授
コンテンツデザイン

花田 伸一 准教授
アートプロデュース

山口 タ妃子 教授
マーケティング

吉住 磨子 教授
美術史

経済社会の動きを

多面的・実践的に学ぶ

世界を支える人材に。

Faculty of Economics

経済学部

- ▶ 経済学科
- ▶ 経営学科
- ▶ 経済法学科

経済学科

岩崎 康太

佐賀県 伊万里高等学校出身

大野 悠輔

福岡県 西南学院高等学校出身

中津 遼大

福岡県 三池高等学校出身

衛藤 大

佐賀県 佐賀西高等学校出身

河谷 柁輝

佐賀県 多久高等学校出身

西浦 誓七

宮崎県 五ヶ瀬中等教育学校出身

大石 凌

福岡県 八女高等学校出身

永尾 優祐

福岡県 祐誠高等学校出身

森 泰樹

佐賀県 致遠館高等学校出身

〈学部の特徴〉

2020年のコロナ禍によって、私たちは、現代社会がいかに「不安定」なものかを感じ知らされました。全世界で都市封鎖が行われ、国際的・地域的な人の移動が制限され、様々な行事が中止となり、行動様式の転換が求められました。このような混乱状況にあってますます求められるものが、社会科学的思想です。私たちはポストコロナの社会を構想し、実現していかなければなりません。そして、その主役は、皆さんのような未来に生きる若者です。佐賀大学経済学部は、経済学・経営学・法律学の最新知識と思考を教授することによって、ポストコロナを生きる皆さんと社会を支えたいと考えています。

■ 教育目的

経済学部は、経済学・経営学・法律学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済や社会における課題を分析し、解決できる人材を育成することを教育の目的とします。

■ 在学生インタビュー



理系から経済学科へ。将来は公務員になり、大学での様々な学びを仕事に活かしたい。

高校では理系でしたが、いくつかのオープンキャンパスに行き、友人と話すうちに経済に興味を持つようになり、経済学科に進学しました。経済学の学びは興味深いことも多く、特に数学を用いて経済活動を分析するマクロ経済学やミクロ経済学の授業が好きです。大学に入って大きく伸びたのがプレゼン能力。高校の時に比べるとプレゼンをする機会が一気に増え、回数を重ねるごとに、より質の高いプレゼンができるようになりました。また、友人が熱心に勉強する姿勢を見ることで、大学の講義の重要性を再認識させられました。将来は公務員を目指していますが、大学で学ぶ様々なことを社会人になっても活かしていきたいと思っています。

経済学科
田代 啓晃 福岡県 宗像高等学校出身

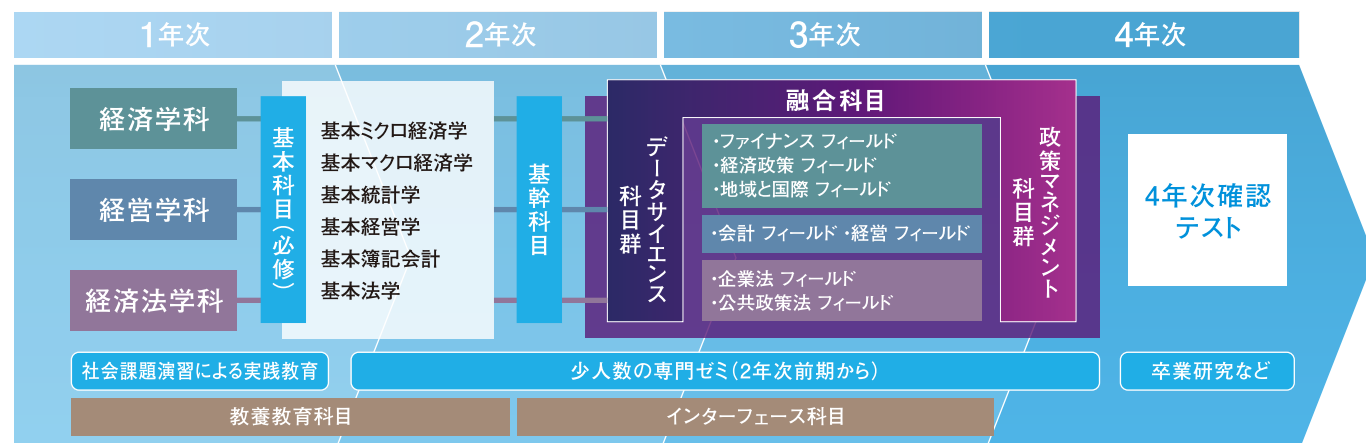
インタビュー動画も
ご覧いただけます



社会科学の土台をしっかりと固め 社会で活躍できる経済人に

01 専門知識を修得し、経済学×法学、経営学×法学の融合に 基づくデータサイエンスと政策マネジメントを実践的に学ぶ

佐賀大学経済学部は、経済、経営、経済法の3学科で形成されており、各学科の専門知識の習得はもちろん、学科融合に基づく総合的で実践的な学習を通じて、ひとつの社会課題を複数の専門知識で見て、思考・判断できる能力を涵養します。社会科学の総合的な思考・判断では、客観的な証拠が求められ、それを提供できるデータサイエンスの技法を習得します。



基幹科目とは？

社会課題を分析していく上で必要となる基礎知識や考え方について、幅広く学ぶ科目です。1年次後期から2年次前期に開講され、基本科目で習得した基礎理論と融合科目で行う実践的な学習をつなぐ内容となっています。

融合科目とは？

経済学部の特徴である経済学×法学、経営学×法学に基づく融合科目は、データサイエンス科目群と政策マネジメント科目群に分岐しており、フィールド別に科目群の専攻科目を組み合わせることで進路に応じた実践的な学習を実現します。2年次6月までに所属する学科の融合科目のフィールドを1つ選択します。

4年次確認テストとは？

経済学部で習得した基本6科目をはじめ、経済学×法学、経営学×法学の融合科目の専門用語、知識、考え方が身に付いているかを確認するために、卒業前に確認テストを実施し、実力を確かめます。



02 少人数ゼミ制で学びを深め、 学生発のプロジェクトを研究・発表

1教員あたり10～20名程度の学生による少人数演習を4年間実施。1年次の社会課題演習では、社会人の実務的な視点を交え経済活動と法律の関係を学習。ここで培った問題意識をもとに2～4年次の演習では、現代社会に必要なデータ分析はじめ専門技能を習得。ゼミプロジェクトで学生主体の社会課題解決プログラムも実施します。

地元企業の調査など、学生主体で行うプロジェクト

亀山ゼミ「企業・行政との連携イベントとデータ分析」

3年次のゼミで、企業や役所と連携してイベントを企画し、参加者にアンケート調査を実施したうえで、データ分析をもとに報告書を作成します。企画力、調整力、分析力などビジネスマナー・スキルが身に付きます。



佐賀市、サガスポーツクラブとの自転車イベント

早川ゼミ「地域雇用課題研究」

厚生労働省佐賀労働局の支援を受け、地域の雇用課題に関する研究に取り組んでいます。最近では、企業による若者のキャリア形成支援の取り組みについて、学生が企業を直接訪問してヒアリング調査を行いました。



佐賀若者就職支援施設ユメタネを訪問

03 外部講師や卒業生と交流して “生”の社会について知る機会も

野村證券や佐賀県弁護士会など学外の専門家による講義を開講しており、第一線で活躍している方々の実践的な知識に触れながら学びを深めることができます。さらに、卒業生との交流会を定期的の実施して、経済界や行政で活躍している先輩たちの生の声を聞き、自分の将来について相談・考える機会を設けています。



外部講師による実体験を交えた講義

実践的な知識を高めるために、野村證券提供の「グローバル時代の資本市場と証券」と日本労働組合総連合会提供の「現代の労働」、税理士による「実践会計」や、佐賀県弁護士会の弁護士による講義などを受講できます。



経済界や行政の卒業生との交流会

経済の現場・なりたい職業に向けてどのような経験を積むべきか、など気になることを、社会で活躍する卒業生たち大学OB・OGからのアドバイスを受け、将来に向けての知識を広げます。



現場を体験する実地研修も実施

海外研修と訪問先大学での討論を行う「国際交流実習」を行います。

04 1年次から国際研修に行き 海外の経済に直に触れる経験を

希望者は1年次から国際研修に行けるのも経済学部の特徴のひとつです。海外で経済の仕組みの違いを身をもって体験したり、現地大学との交流で学生と英語でコミュニケーションを行ったりと、座学だけではわからない生きた知識と経験が得られます。コロナ禍に対応したオンラインプログラムや海外に行くチャンスを多く設けることで、国際的な人材育成をサポートします。また、経済学部独自の外国人留学生受け入れプログラムであるSPACE-ECONにより、学内にいながら国際交流ができるのも特徴です。



タイの大学との交流・研修

カセサート大学の学生とタイの中小企業の視察を行いました。



中国経済を体験する

キャッシュレスが進む中国の状況を実地で体験。浙江理工大学の学生との交流も行いました。

佐賀大学で学んだことをいかし 「内容が伝わる」アナウンスを目指しています。

私は現在、株式会社サガテレビに勤め、アナウンサーとして仕事をしています。アナウンサーと聞くと華やかなイメージを持たれがちですが、実はテレビに出ない仕事が多くほとんどで、日々視聴者の皆さんのために見えないところで頑張っています。在学中は行政法について学びました。行政法は私たちの生活の身近な法律です。報道の仕事をする時には目にする機会が多い法律なので、ニュース内容をわかりやすく伝えることにとても役立っています。自分自身が内容を知らないままだと、視聴者には伝わりませんから。社会人になって3年目。本当に幅広い仕事をしましたが、そんな中でも大事にしてきたのは「初心を忘れない」こと。取材させていただいていることを忘れず、謙虚な姿勢でこれからも働きたいと思っています。(2021年執筆)



株式会社サガテレビ 報道編成制作局
アナウンス室員
橋爪 和泉さん
経済法学科 2019年3月卒業
【業務内容】
インタビュー、取材、ナレーション、ニュース読み、原稿作成と、仕事内容は多岐にわたる。





詳細情報はこちら

地域に貢献できる人材を目指し、勉強に資格取得に頑張っています

高校で興味を持った簿記やマーケティングをより専門的に学びたいと思ったこと、また将来は地元で就職して貢献したいと考えたことから、地域社会に密着した教育を行っている佐賀大学に進学を決めました。好きな授業は経済学史です。古典派経済学や新古典派経済学を学ぶことで、現代経済社会を様々な視点から考察・評価できるようになるところが好きです。本学の魅力の一つは教授とのキョリの近さ。直接話す機会も多く、私たちが理解できるまで丁寧に教えてくださいました。また、大学生になって自由な時間が増えたので、スケジュール管理能力がついたのも大きな成長だと感じています。計画的に勉強し、秘書検定準一級や法学検定などの資格も取得しました。将来は公務員になって社会で活躍できるよう、卒業までの時間を日々精進していきたいと思っています。

経済学科
高尾 天寧 佐賀県 佐賀商業高等学校出身

経済学科の紹介

グローバル化を深める国際社会および現代経済社会の構造について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経済事象を理論的な枠組みで捉える「金融」、経済社会の分析をもとに政策立案を行う「経済政策」、経済を地域・国際の2つの観点から考察する「地域経済・国際経済」に重点を置いた教育プログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

●佐賀銀行 ●日本銀行 ●十八銀行 ●西日本シティ銀行 ●福岡銀行 ●親和銀行 ●鹿児島銀行 ●肥後銀行 ●福岡国税局 ●福岡市役所 ●佐賀県庁 ●佐賀市役所 ●久留米市役所 ●鳥栖市役所 ●全日本空輸 ●ANAエアサービス佐賀 ●JTB九州 ●新出光 ●伊藤忠商事 ●九州旅客鉄道(JR九州) ●日本郵政 ●富士通 ●明治安田生命 ●国立病院機構など

〈主な進学先〉

●佐賀大学大学院地域デザイン研究科
●九州大学大学院経済学府修士課程

カリキュラム一覧

		1年次		2年次		3・4年次	
教養教育科目	大学入門科目		共通基礎科目「英語」				
	共通基礎科目「情報基礎概論」						
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)						
	インターフェース科目						
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)		●演習(2年) ●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働		●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習	
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B)		●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営		●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)		●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)		●会社法 ●社会保険法Ⅰ ●債権法 ●経済法Ⅰ ●労働法Ⅰ	
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)		●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語		融合科目	
融合科目 「ファイナンス」フィールド		ミクロ経済学 統計学演習 経済法Ⅰ		計量経済学 都市経済学 ファイナンス論 財務会計論 経営財務論		融合科目 「地域と国際」フィールド	
融合科目 「経済政策」フィールド		マクロ経済学 労働経済学 政策評価分析 労働法Ⅰ 社会保険法Ⅰ		産業組織論 経済学演習 自治体行財政分析 労働法Ⅱ 文化経済学 ロジスティクスマネジメント 自治体行財政分析		融合科目 「地域と国際」フィールド	
						●演習(3年) ●演習(4年) ●日本農業論 ●農政経済論 ●経済地理学 ●開発経済学 ●Asian Economics	
						●アジア経済史 ●日本経済史 ●国際金融論	
						●流通産業論 ●経営史 ●実践会計	
						●経済法Ⅱ ●労働法Ⅱ ●社会保険法Ⅱ ●民事手続法 ●刑事訴訟法 ●不法行為法 ●国際環境法 ●国際政治学	

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

日本経済論

経済学が取り組むべきさまざまな問題に対して幅広い関心を育み、専門科目の学習に結びつけていくために、日本経済の基礎知識を身に付けます。

財政学

経済政策の主要な手段である税や公共支出、債務のこれまでの使われ方を振り返り、より効率的な政策展開の方向性を政治制度的背景も考慮に入れつつ模索します。

特殊講義 (Economics for Developing Countries)

アジアを中心に発展途上国についての入門知識と、未発達の問題、開発の概念などを学び、経済発展における現代の主要な経済的問題を議論します。

研究室・ゼミ紹介

計量経済学ゼミ

上山 和俊 准教授



現実の経済データを適用して経済分析を行ったり、経済理論を検証するために必要な計量経済学の基礎理論の修得を目指し、さらなる知識を深めています。

国際金融論ゼミ

張 韓模 教授



国際通貨システムの歴史や仕組みを理解するために、経常収支、為替レート決定の理論、開発途上国の金融問題、基軸通貨ドルの過去と現在などについて学びます。

ゲーム理論ゼミ

吉田 友紀 准教授

2年次でゲーム理論と契約理論の基礎を学び、3年次でそれらを用いた社会や経済の諸問題の分析方法を学び、4年次で既存論文をもとに各自のテーマで卒業論文に取り組みます。

経済学史ゼミ

伊藤 正哉 准教授

近現代の経済社会の基本的仕組みを把握し、自分なりに今日の経済政策を評価できるようになるために、近代経済学の基本的な考え方について理解を深めます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

●女性のキャリア継続における課題 ●大分県別府市における観光まちづくりの変遷-地域住民の関わり方に焦点を当てて- ●短時間労働者に対する年金保険適用拡大の影響について ●労働政策とガバナンス ●女性の働き方支援 ●大学生が主体性を身に付けるための教育内容の改善に向けた提案-高大接続を視野に入れて- ●訪日韓国観光客の日本旅行に関する意識調査-佐賀のインバウンド展開の方向性- ●ジョイント分析から見る聖地巡礼者の消費行動の規定要因-佐賀県の「パンピラントサガ」を例に- ●ライブやコンサートのチケット転売問題について-チケットに対する支払意思額から-

教員紹介

張 韓模 教授 国際金融論
金子 晋右 教授 経済史
中西 一 教授 財政学
品川 優 教授 農業経済学
伊藤 正哉 准教授 経済学史
上山 和俊 准教授 計量経済学
谷口 みゆき 准教授 文化経済学
相浦 真二郎 助手
高野 佳佑 講師(9月着任予定) 地域経済学
亀山 嘉大 教授 都市経済学
中村 博和 教授 統計学
ディシルバサリヤ 教授 開発経済学
谷 晶紅 准教授 マクロ経済学
蘭田 竜之介 准教授 日本経済論
吉田 友紀 准教授 産業組織論
浅川 慎介 助教 労働経済学



詳細情報はこちら

共に学ぶことを楽しみながら
教職に向けて
自分の成長を実感中

私の夢は商業科の教員になることです。そのために教職に必要な単位が取れ、教職カルテやセミナーなどのサポートが充実した佐賀大学に進学を決めました。現在は会計を中心に学んでいますが、特に会計学、管理会計論が好きです。高校で習ったことをさらに深く詳しく勉強し、今までの知識と新しい知識が結びついた時に喜びを感じています。また、日商簿記1級の取得に向けて独学で勉強しながら、教員になるために、生徒指導のように教職に必要な講義も受けています。日々「夢に近づいている」という実感が湧き始めているところです。1年生の時はオンラインの授業がほとんどでしたが、2年生になってからは対面授業やゼミ、サークル活動を通して、人と関わることの楽しさを実感しています。勉強に対するモチベーションもグンとあがりました。

経営学科
清水 美優 福岡県 久留米商業高等学校出身

経営学科の紹介

多角化・グローバル化する企業活動を「ミクロの経済システム」として捉え、企業経営に関する専門的知識を教授し、幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に経営管理・経営戦略などの実践的分析能力を身に付ける「経営」、企業経営の成果をシステムとして体系的に説明する「会計」に重点を置いたプログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

●岩谷産業 ●オービック ●九州旅客鉄道 ●佐賀銀行 ●サガテレビ ●佐賀電算センター ●JTB ●住友金属鉱山 ●ゼンリン ●TOTO ●西日本電信電話 ●西日本シティ銀行 ●ニトリ ●ニプロ ●日本生命 ●日本政策金融公庫 ●野村證券 ●福岡銀行 ●富士ソフト ●富士通 ●税理士法人諸井会計 ●楽天 ●経済産業省 ●熊本県庁 ●国税庁 ●佐賀県庁 ●佐賀市役所 ●福岡市役所 ●佐賀商業高校など

〈主な進学先〉

●佐賀大学大学院地域デザイン研究科

カリキュラム一覧

		1年次		2年次		3・4年次	
教養教育科目	大学入門科目		共通基礎科目「英語」				
	共通基礎科目「情報基礎概論」						
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)						
			インターフェース科目				
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習	●計量経済学 ●公共経済学 ●都市経済学 ●文化経済学 ●産業組織論 ●経済学演習	●日本農業論 ●農政経済論 ●経済地理学 ●開発経済学 ●Asian Economics ●アジア経済史 ●日本経済史 ●国際金融論	
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B)	●企業論(基幹科目B) ●演習(2年) ●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	●ファイナンス論 ●経営情報論 ●財務会計論 ●ロジスティクスマネジメント ●ブランド戦略論 ●経営財務論	●演習(3年) ●演習(4年) ●流通産業論 ●経営史 ●実践会計	
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●債権法 ●経済法Ⅰ ●労働法Ⅰ ●社会保険法Ⅰ ●行政法総論 ●環境法 ●行政救済法	●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政救済法	●経済法Ⅱ ●労働法Ⅱ ●社会保障法Ⅱ ●民事手続法 ●刑事訴訟法 ●不法行為法 ●国際環境法 ●国際政治学	
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	融合科目		●特殊講義	

融合科目 「経営」フィールド	労働経済学 マーケティングリサーチ 経営戦略論 流通経済論 会社法	経済学演習 経営情報論 ブランド戦略論
-------------------	---	---------------------------

融合科目 「会計」フィールド	ミクロ経済学 管理会計論 経営戦略論 会社法	ファイナンス論 財務会計論 経営財務論 商法
-------------------	---------------------------------	---------------------------------

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

企業論



企業という存在、株式会社やNPOといった企業の種類、企業不祥事など、企業に関する疑問に対する見方を提示し、深く考察していきます。

経営管理論



消費者や企業で働く立場として、企業について目利きになることを目的とし、主に企業家の立場からの経営管理に関する理論や方法について学びます。

マーケティングマネジメント



マーケティングとは何か、その基本概念および分析手法などについて理解を深めるため、実際のケースを取り上げながら詳しく解説していきます。

研究室・ゼミ紹介

組織マネジメントゼミ

松尾 陽好 准教授



企業およびその組織や戦略に関わる諸問題について、具体的なテーマやその進め方を学生同士で話し合い決定し、研究を深めていきます。

経営財務論ゼミ

野方 大輔 准教授



企業の財務活動に関する基礎知識を身につけ、実際の会計数字や株価データを用いて企業の経営状態を定量的に評価する方法について学びます。

流通経済ゼミ

宮崎 卓朗 教授

企業が顧客ニーズを把握して顧客を獲得するためのさまざまな方法であるマーケティングや、小売業などの流通について理解を深めていきます。

情報科学ゼミ

安田 伸一 准教授

このゼミでは、現在答えの見つかっていない問題や説明のできていない課題を取り上げ、「など」や「その他」という答えに逃げない考え方を学んでいきます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

○コーポレートガバナンスの国際比較-所有構造を中心に- ○韓国財閥グループ企業の支配構造及びマネジメントに関する考察 ○日本版DMOの研究 ○コンビニエンスストア業界における脱コモディティ化 ○ホームセンター業界のターゲティング ○日本のキャッシュレス化について ○ディズニーランドはなぜ夢と魔法の王国なのか ○移転価格税制と無形資産取引について ○外食産業による利益追求のための原価管理 ○国家会計とその会計監査

教員紹介

宮崎 卓朗 教授
流通経済論

羽石 寛志 教授
経営情報論

角田 幸太郎 教授
管理会計論

安田 伸一 准教授
情報処理

山形 武裕 准教授
財務会計論

野方 大輔 准教授
経営財務論

山本 長次 教授
経営史

関 庚炫 教授
マーケティング戦略

松尾 陽好 准教授
組織マネジメント論

洪 廷和 准教授
マーケティング論

篠崎 伸也 准教授
ファイナンス論

池田 智子 助手



詳細情報はこちら

充実した学生生活・活動を糧に
佐賀県で地方公務員となり
愛着のある地元のために働きたい

私の目標は佐賀県で地方公務員になることです。そのために最も情報が得やすく、地域社会に密着した教育を行っている本学を選びました。1年次に受けた岩本先生の基本法学が好きだったことから今では岩本ゼミに所属し、佐賀市消費者フェアで公開講座を行ったり、佐賀県の大学生消費者教育推進リーダー養成事業に参加したりと、積極的に活動しています。また、学生団体「Green-Nexus」にも所属し、自然の素晴らしさ・楽しさに触れてもらうことを目標にイベントを開催。仲間と協力してイベントを成し遂げた時の達成感は何とも言えず清々しく、また日々の活動を通して一生モノの友情を築くこともできました。大学の講義はレポートやプレゼンテーションが多いため、自分の思いを正確に相手に伝えられるようになったことも大きな成長だと感じています。大学や地域でのつながりや活動が広がるほどに、地方公務員への夢は確かなものになっています。

経済法学科
井上 和希 佐賀県 致遠館高等学校出身

経済法学科の紹介

複雑化・多様化する現代経済社会の規範となる法律について、専門的知識を教授し幅広い視野と問題対応能力を養成します。特に企業の対外活動・経営管理に必要な法制度を学ぶ「企業法」、地方自治体の行政実務や政策形成に必要な法制度を学ぶ「公共政策法」に重点を置いたプログラムになっています。

主な進路

〈主な就職先〉

●労働基準監督官 ●佐賀労働局 ●福岡出入国在留管理局 ●長崎法務局 ●福岡国税局 ●九州財務局 ●日本年金機構 ●佐賀県庁 ●福岡県庁 ●宮崎県庁 ●山口県庁 ●佐賀市役所 ●福岡市役所 ●長崎市役所 ●佐賀銀行 ●福岡銀行 ●親和銀行 ●日本通運 ●日本郵便 ●木村情報技術 ●医療法人社団高邦会高木病院 ●労働者健康安全機構など

〈主な進学先〉

●九州大学法科大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次		3・4年次	
教養教育科目	大学入門科目		共通基礎科目「英語」			
	共通基礎科目「情報基礎概論」		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
			インターフェース科目			
専門教育科目	経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●統計学(基幹科目A) ●日本経済論(基幹科目A) ●経済学史(基幹科目B) ●地域経済論(基幹科目B)	●経済数学(基幹科目B) ●財政学(基幹科目B) ●金融論(基幹科目B) ●証券市場分析 ●現代の労働	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●国際経済学 ●労働経済学 ●政策評価分析 ●統計学演習	●計量経済学 ●公共経済学 ●都市経済学 ●文化経済学 ●産業組織論 ●経済学演習	●日本農業論 ●農政経済論 ●経済地理学 ●開発経済学 ●Asian Economics ●アジア経済史 ●日本経済史 ●国際金融論
	経営学系科目	●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本統計学(再掲) ●マーケティングマネジメント(基幹科目A) ●社会情報論(基幹科目A) ●経営管理論(基幹科目B)	●企業論(基幹科目B) ●原価計算論(基幹科目B) ●経営組織論(基幹科目B) ●プログラミング(基幹科目B) ●経営労務論(基幹科目B) ●現代の経営	●マーケティングリサーチ ●管理会計論 ●経営戦略論 ●流通経済論	●ファイナンス論 ●経営情報論 ●財務会計論 ●ロジスティクスマネジメント ●ブランド戦略論 ●経営財務論	●流通産業論 ●経営史 ●実践会計
	法学系科目	●基本法学 ●民法総則(基幹科目A) ●人権論(基幹科目A) ●刑法総論(基幹科目B)	●演習(2年) ●現在政治論(基幹科目B) ●物権法(基幹科目B) ●統治機構論(基幹科目B) ●刑法各論(基幹科目B)	●会社法 ●債権法 ●経済法I ●労働法I ●社会保障法I ●行政法総論 ●環境法	●自治体行財政分析 ●知的財産法 ●商法 ●行政救済法	●演習(3年) ●演習(4年) ●経済法II ●労働法II ●社会保障法II ●民事手続法 ●刑事訴訟法 ●不法行為法 ●国際環境法 ●国際政治学
	その他	●社会課題演習 ●情報処理(基幹科目A)	●ビジネス英語基礎 ●ビジネス・コミュニケーション英語	融合科目		●特殊講義

融合科目 「企業法」フィールド	マーケティングリサーチ 経営戦略論 会社法 債権法 経済法I 労働法I	経営財務論 知的財産法	融合科目 「公共政策法」フィールド	政策評価分析 社会保障法I 行政法総論 環境法	公共経済学 都市経済学 自治体行財政分析 行政救済法
--------------------	--	----------------	----------------------	----------------------------------	-------------------------------------

※各フィールドの科目の太字は融合科目における重点科目(必修)を示す。

授業紹介

環境法



現代の環境問題の解明と対応に不可欠な環境法について、歴史や基礎的事項を理解し、法がいかに社会を規制しようとしているかを学びます。

社会保障法I



年金保険、医療保険、生活保護など生活困難に直面する者に対して給付を行う社会保障法の基本的な考え方を理解し、あわせて立法的課題を考えます。

知的財産法



著作権、特許、商標、営業秘密、模倣品対策などに関する重要な法規範を説明し、基礎的な知的財産観を育て、法解釈の現状や立法の動向を共有します。

研究室・ゼミ紹介

刑法ゼミ

内山 真由美 准教授



捜査、死刑、刑事施設、更生保護、犯罪被害者、少年非行、交通事故など多数の問題を取り上げ、刑法、刑事訴訟法、刑事政策の基礎を学びます。

民法ゼミ

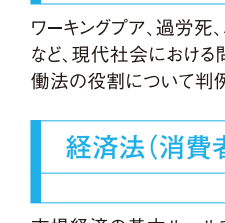
中山 泰道 准教授



欠陥商品の購入、交通事故など種々のトラブルに対してどう解決されているのか、裁判例を素材にして民法を考え、論議し、多面的な視点を養います。

労働法ゼミ

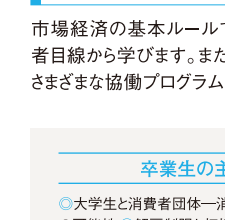
早川 智津子 教授



ワーキングプア、過労死、ハラスメント、リストラ、少子高齢化など、現代社会における問題を取り上げ、これらの問題と労働法の役割について判例などを素材に検討を行います。

経済法(消費者法)ゼミ

岩本 諭 教授



市場経済の基本ルールである独占禁止法について、消費者目線から学びます。また、学生が主体となって自治体とのさまざまな協働プログラムに積極的に取り組んでいきます。

教員紹介

檜澤 秀木 教授 環境法	岩本 諭 教授 経済法・消費者法
早川 智津子 教授 労働法	平部 康子 教授 社会保障法
井上 亜紀 教授 憲法	中山 泰道 准教授 民法
内山 真由美 准教授 刑法	孫 友容 講師 知的財産法



高度な知識と 技術を身に付け、多くの 人々を救う医療人へ。

Faculty of Medicine

医学部

- ▶ 医学科
- ▶ 看護学科

■ 佐賀大学医学部の使命

医および看護の実践とその科学的創造形成の過程を通じて医学および看護学の知識技術ならびに医師または看護職者たるにふさわしい態度を修得し、かつ、これらを生涯にわたって創造発展させることのできる人材を養成することを目的とし、もって医学および看護学の水準および地域医療の向上に寄与する。

■ 卒業時学修成果

- プロフェッショナリズム
- 医学的知識
- 安全で最適な医療の実践
- コミュニケーションと協働
- 国際的な視野に基づく地域医療への貢献
- 科学的な探究心



日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育分野別評価の結果、適合が認定されています。

看護学科

石本 尚子 福岡県 京都高等学校出身
岸田 和之 佐賀県 唐津西高等学校出身
立尾 風香 熊本県 天草高等学校出身

〈学部の特徴〉

医学部は、四半世紀におよんだ旧佐賀医科大学の建学の精神と伝統を受け継ぎ、「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応え得るよい医療人を育成し、もって医学・看護学の発展ならびに地域包括医療の向上に寄与する」ことを基本理念としています。そして、時代にマッチした斬新な教育方法を取り入れ、豊かな感性と高度な専門知識と専門技術を兼ね備えたよき医療職者を育成することを目標として教育を行っています。また、医療に関する単なる知識や技術を学ぶのみでなく、医療職者に求められる広い視野からの問題解決能力と、病める人が心の奥に持つ悩みや苦しみを共感できる心を育てます。

■ 教育目標

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうるよき医療人を育成し、もって医学・看護学の発展ならびに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。

■ 在学生インタビュー



保健師と看護師、両方の国家資格を取得し 臨床の現場で経験を積み重ねていきたい。

高校3年の時にコロナが流行ったことで保健師の仕事が上げられるようになり、4年間で看護師と保健師の両方の資格が取得できる本学科に進学しました。特に好きなのは、基礎看護技術の授業です。看護師の基礎的な技術を講義で理解した後、演習を行うことで確かな習得を目指します。また各学生にチューターがつき、学習や学生生活についての悩みや不安を相談しやすい体制が組まれているのも、本学科の大きな魅力だと思います。4年次には看護師と保健師の国家試験を受験し、卒業後は看護師として臨床現場で経験を積みたいと考えています。将来的には、看護師を続ける他にも保健師への転向も視野に入れています。

看護学科
坂田 大陸 長崎県 佐世保西高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



医学部 サガつく ポイント

医療現場での経験を数多く積み、 誠実なよい医療人を育成

01 グループ学習・自己学習で 自ら考える力を身に付ける

医療の現場で活躍できる人材を育てるために、医学科・看護学科では自ら考える力や行動する力を身に付けるための独自カリキュラムを実施しています。少人数でのグループワークやグループ討論を行いながら、チューターがきめ細かくフォローを行い、現場に出た際に即戦力となる実力を身に付けます。

チューター制度とは



チューター（指導教員）といわれる教員が一人ひとりの学生に付くことで、学習や生活での悩み、進路相談などについてきめ細かくアドバイス。質問や相談がしやすい環境を整え、より深い学びをサポートします。

医学科

ハワイ大学のカリキュラムをもとに佐賀大学が独自に作り上げた、シナリオからディスカッションで解決策を導くPBLやCBLなどのカリキュラムを取り入れています。患者の症例から病名を予測し治療法を導くという医療現場に近い流れを経験しながら知識を深め、自ら情報を整理して診断・治療法にたどり着くプロセスを学びます。

◎PBL (Problem-based Learning) 問題基盤型学習

① 問題事例の提示

学生に問題点を自ら見つけてもらうきっかけとなる事例・課題を提示します。



② グループ討論

7～8人の少人数グループを作り、与えられた事例・課題文より症例を検討し、学習の課題を抽出します。



③ 自己学習

グループによる課題を各自が参考書・文献・教科書・インターネットなどを使い自己学習します。



④ グループ討論

各自が学習してきた事例を他メンバーが学習した内容と突き合わせてディスカッションし問題を解決します。



◎CBL (Case-based Lecture) 症例基盤型講義

PBLより、応用課題のみの実施に特化した形がCBLです。症例の事前配布・テーマの提示による予習を前提とし、コンパクトな症例シナリオを多数使用。少数の専門チューターが全体を指導しながら、症例を検討して解決へと導きます。また、学生に自己学習を促し、自己指導型学習を強化します。

① 課題を提示する

② 課題に基づき事前の自己学習

③ グループ討論・全体討論

看護学科

看護師教育を基盤に保健師・助産師教育に選抜制を採用。600床以上の大規模な附属病院で実践的な実習を行い、医学科とも連携できる充実した教育研究環境を整えています。保健師・助産師コースの選択者は、4年間でそれぞれの国家試験受験資格を得ることが可能です。

少人数のグループワーク

グループワークや演習により考える力や探求する力を養います。自分の考えを明確に表現する姿勢や、他者の考えを理解する力を身に付けます。



対面式の個別指導・フォローアップ体制

課題学習に対する対面式個別指導を実施。講義や課題、試験などの個人の学習到達度に応じて、きめ細かにフォローを行います。



看護技術修得の環境を整備

1年次の早期体験実習、2年次の基礎看護学実習、3年次の臨床実習、4年次の統合実習など実技の経験を積み、確かな技術を修得します。



02 実習を重点的に行い、 現場で活躍できる医療人を育成

佐賀大学では実習を重視しており、卒業してすぐに社会で役立てる医療人の育成を行っています。看護学科では1年次から実習を、医学科では5～6年次は臨床を重点的に行い、卒業後すぐに活躍できる力を育てます。

〔医学科の実習教育プログラム〕

医学科では1年次から医療入門や早期体験学習を導入して、早くから医師としての心構えをしっかりと身に付けるためのカリキュラムを組んでいます。臨床実習では先輩の教員、医員および看護師等と共にチームの一員として患者に接し、PBL等で培った「課題発見・問題解決」能力を有効に応用する経験を積みます。

1～2年次	3～4年次	5～6年次
医療入門 基礎的な医療知識と方法論を修得します。講義に加え、早期体験学習なども実施します。	臨床入門 PBLとCBLによるアクティブ・ラーニングと医療面接や診療など基礎的な臨床技能を修得します。	臨床実習 大学での実践的な診療参加型実習や診療所・病院での地域医療実習で包括的な実践を行います。
6年一貫の実践的訓練		

社会で
活躍できる
医療人の
育成

〔看護学科の実習教育プログラム〕

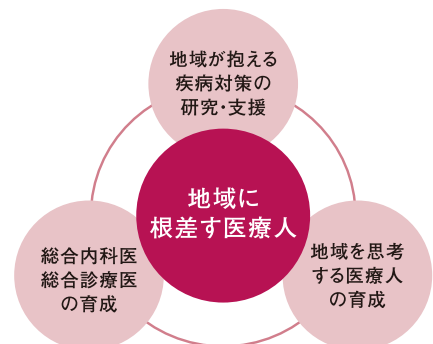
1年次から4年次まで、病棟で実習を行う臨床実習を取り入れ、基礎から在宅看護まで実際に体験しながら学びます。地域における保健・医療・福祉の関わりや、現在起きている課題に関心・理解を持つことで、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、科学的・論理的な思考で課題を解決する力を身に付けます。

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎看護学実習Ⅰ 日常生活を援助する技術力を身に付けます。	基礎看護学実習Ⅱ 看護対象の問題を理論的に解決に導けるように育成します。	成人・小児・母性・精神・老年・在宅・地域連携看護実習 今までの知識と技術を統合し、臨床における判断力と看護の想像力を育成します。	統合実習 在宅で生活する人などに対する看護の展開を、医療チームの一員として実習します。

問題解決や
対人関係形成
能力を持った
人材育成

03 地域の課題に目を向け、患者に寄り添う 誠実な医療人としての志を育む

佐賀大学は佐賀県の中で唯一医師を育成しているため、佐賀県と近隣の地域の医療を担っています。そのため、地域の救急や在宅など現在の課題に目を向け、地域の人々に貢献する患者に寄り添える誠実な医療人を育てます。



地域の健康に貢献しながら 佐賀県を支える看護職の人材を育成したい。

現在は、佐賀県杵藤保健福祉事務所で行政保健師として働いています。感染症の広がりや災害など、いつ発生するかわからない事象に対して健康危機管理体制（災害時医療など）を整備したり、看護学生の実習指導や保健師の人材育成などを担当しています。私が佐賀大学に進学し、働きながら大学院に進んだのは、佐賀県の看護職の育成に貢献したいと思ったからです。同じ志の仲間と一緒に学び、実習を乗り越え、夜遅くまでテスト勉強や国試対策をしたことはとてもいい思い出です。そんな中で培った先生方や友人たちとの関係は今に活かされており、多職種の方との協働が求められる行政の仕事において、縁があって恩師や旧友と共に仕事ができることはとても大きな喜びです。これからも仕事に真摯に取り組みながら、地元や母校に恩返しができるように精進していきます。



佐賀県杵藤保健福祉事務所
企画経営課 勤務
山田 由佳さん 2007年3月卒業

〔業務内容〕
地域の健康維持・管理をはじめ、災害などで不測の事態が起きた時にも、効果的な対応ができるように取り組んでいる。



詳細情報はこちら

患者さんとの信頼関係を築き
一人ひとりの病状に合わせて
幅広い視点で治療に取り組みたい

本学の医学部は地域医療や臨床医療に触れる機会が多く、1、2年次から大学病院での実習や、医療面接の実習などができる点に魅力を感じ、進学しました。授業では特にPBL(問題基盤型学習)やCBL(症例基盤型講義)が面白いです。出された症例に対して、自分たちで問診する内容や治療法について考えていきます。学生同士でコミュニケーションを取りながら学習していくので学習意欲が高まり、自分で学習する習慣も身につきました。現在は研究室配属で、基礎研究をしている先生方と話をする機会があるのも大きな刺激になっています。大学に入り、これまで知らなかった学問に触れたり、考え方の異なる友人や先輩方と交流する中で、自分の視野が大きく広がったように思います。将来は医師になり、研究も行いながらその結果を臨床でも活かしたいと考えています。

医学科
村瀬 絢香 福岡県 東筑紫学園高等学校出身

学びの特色

1

よい人間関係を持つ人になる

高い倫理観と豊かな人間性を育み、他者と共感してよい人間関係を作ることができる。

学びの特色

2

自己学習できる人になる

医学の知識・技術を修得するとともに、自己学習の習慣を身に付ける。

学びの特色

3

問題を解決に導く人になる

つねに科学的論理的に思考し、問題の本質に迫った解決に努める。

学びの特色

4

医療を理解し実践する人になる

国内外に対し幅広い視野を持ち、地域社会における医療の意義を理解し、かつ実践する。

主な進路

〈主な就職先〉

●佐賀大学医学部附属病院 ●佐賀県医療センター好生館 ●嬉野医療センター ●久留米大学病院 ●佐賀病院 ●九州大学病院 ●九州医療センター ●長崎医療センター ●順天堂大学医学部附属順天堂医院 ●自治医科大学附属病院 ●横浜市立大学附属市民総合医療センター ●小倉医療センター ●熊本医療センター ●浜の町病院 ●聖マリア病院 ●福岡総合病院

■ カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
大学入門科目I (医療入門I)		医療入門II		薬理学 病理学 遺伝医学	Unit3 (呼吸器)	Unit7 (皮膚・膠原)	Unit11 (救急・麻酔)	臨床実習	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習	臨床実習 地域医療実習 関連教育 病院実習	
基本教養科目 インターフェース科目		組織学 生化学 動物性 機能生理学 植物性 機能生理学 神経解剖学 概説	免疫学 人体発生学 微生物学		Unit4 (循環器)							
外国語科目					Unit5 (代謝・内分泌・ 腎・泌尿器)							
情報リテラシー 科目	医療統計学		Unit1 (地域医療)	Unit6 (血液・腫瘍・ 感染症)	Unit8 (運動・感覚器)	Unit12 (社会医学・ 医療社会法制)						
生命倫理学				肉眼解剖学 概説	Unit2 (消化器)	Unit9 (精神・神経)	◆共用試験 (CBT、OSCE)					
行動科学原論	分子細胞 生物学I・II・III	肉眼解剖学	Unit13 (臨床入門)		Unit10 (小児・女性)	◆共用試験 (CBT、OSCE)	臨床実習	基礎系・臨床系 選択科目	基礎系・臨床系 選択科目	基礎系・臨床系 選択科目	総括講義	
物理学												
生物学												
化学												
特定プログラム教育科目								臨床実習	基礎系・臨床系 選択科目	基礎系・臨床系 選択科目	基礎系・臨床系 選択科目	
基礎系・臨床系(2年次～)選択科目												
地域枠入学生特別プログラム												
Phase I	Phase II-A	Phase II-B	Phase III	Phase IV	Phase V							

Phase I Phase II-A Phase II-B Phase III Phase IV Phase V

医学科では教養教育、基礎医学、臨床医学の実施時期を明確に区別せず、Phase(フェイズ)I～Vに分けて6年一貫教育を実施しています。教養教育科目および専門基礎科目は1年次から2年次後期まで行われます。専門科目では、基礎医学が1年次後期から始まり、遺伝子、発生、細胞、組織、器官、個体、集団といった順序で、かつ構造と機能を並行して勉強できるように構成されています。3・4年次には内科、外科、小児科などの臨床医学を統合し、臓器別に再構成したカリキュラムで学び、医師として患者さんの問題を解決する能力を養います。

Phase
I

大学入門科目I(医療入門I)、基本教養科目、インターフェース科目、情報リテラシー科目、外国語科目からなる教養教育科目と、基礎科学分野の教育や生命倫理学、行動科学原論などの専門基礎科目から構成されています。医師を志す者が学習すべき基礎的な知識と方法論を修得し、かつ人間に対する理解を幅広い視点から深めるために教育が行われます。講義に加えて実習も取り入れられ、例えば1年次から2年次まで開講される医療入門I、IIでは早期体験学習が行われています。

Phase
II

医学専門科目である基礎医学の学習が始まります。まず、生物の基本的構成単位である細胞の構造と機能を遺伝子レベルから分子レベルまで講義・実習を通して学びます。そこで得た知識を、細胞から組織、組織から個体へと構築することにより、人体の正常な構造と機能を個体発生、系統発生的背景と共に学習します。さらに、どのような内的・外的要因が係わり、どのような病態を呈するかを学び3年次(Phase III)から本格的に始まる臨床医学へとつなげます。

Phase
III

PBL(問題基盤型学習)やCBL(症例基盤型講義)を大幅に導入していることが特徴です。これは、症例シナリオを用いたグループ討論を通して、学習課題を自ら見だし、学習する能力や、知識を活用して病気の診断や治療方針を立案する訓練を行うものです。同時に、医療面接や身体診察などの基本的臨床技能を訓練し、臨床実習に備えます。

Phase
IV & V

PhaseIVは全体的に臨床実習にあてられ、医療チームの一員として診療に参加するため、4年次の学年末に共用試験に合格し、Student Doctorとして適格認定を受けた者のみが実習を許可されます。PhaseVは「特定プログラム教育科目」「基礎系・臨床系選択科目」「地域枠入学生特別プログラム」から成っています。中でも6年次前期の「基礎系・臨床系選択科目」は、自らの弱点を補ったり、興味を持つ分野をさらに深める目的で、6年間の最後の仕上げとして位置付けられています。海外での短期臨床実習に参加するコースも含まれています。



授業紹介

医療入門



医療には、患者との良好なコミュニケーションを保ち、患者の心を理解しようと努める豊かな人間性と寛容な精神、職業人としての倫理性と責任感に基づき困難な決断を患者と共有する厳しさが求められます。医療入門は、臨床医学の修得前に、講義に加え早期体験学習、医療面接のロールプレイ、身体診察技法およびファーストエイド等の実習、地域の診療型・介護型医療機関での施設実習を行うことにより、医療人としての自覚を高め、少子高齢化を特徴とする現代日本社会における医療の実態を理解し、医療の技術的進歩と社会の急速な変貌が人々の心にもたらす問題に関心をもち続ける態度を身に付けることを目標としています。

臨床実習



臨床実習では、これまで学習してきた基礎医学・臨床医学・社会医学・行動科学の知識や早期体験実習で得られた経験を統合し、病棟での実習を通じて将来医師として必要な考え方や技術などを身につけることができます。診療は、患者さんの病態や背景を理解し治療するために、医師だけではなく看護師・管理栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなどのメディカルスタッフとチーム医療で取り組んでいます。そのため病棟実習では全人的で総合的に患者さんを診ること、そして多職種連携の面白味、また患者の退院後の生活を考える想像性と創造性を学ぶことができます。

PBL



PBLとは、問題基盤型学習(Problem-based Learning)といわれるもので、従来の講義形式と違い、学生を1グループ7～8人程度の少人数に分け、提示された課題に対し、グループでのディスカッションを通じて、自らが問題点を見つけ解決法を探る、つまり自ら学習する方法のことです。各グループにはPBLチューターといわれる教員が付き、学習を進めるためのアドバイスをを行います。

研究室・講座紹介

分子生命科学講座

出原 賢治 教授、副島 英伸 教授
池田 義孝 教授、吉田 裕樹 教授

生命現象の基本的仕組みを明らかにし、その異常により引き起こされる疾患の病態解明を目指して「分子遺伝学・エピジェネティクス」「分子医化学」「免疫学」「細胞生物学」の4分野により教育・研究に取り組んでいます。

社会医学講座

市場 正良 教授、田中 恵太郎 教授、池田 知哉 教授

良好な健康状態を保持するための「環境医学」、癌や生活習慣病の危険因子・防御因子を明らかにして疾病予防に役立てる「予防医学」、DNAを用いた個人識別をテーマとする「法医学」の3分野で教育・研究を進めています。

小児科学講座

松尾 宗明 教授

最先端の医療技術をもって診療にあたるとともに医学生卒前や卒後の教育を重視し、小児の総合診療医としての小児科専門医の育成と各専門分野でのサブスペシャリティの養成に力を入れています。

整形外科科学講座

馬渡 正明 教授

膝関節外科、肩関節外科、脊椎外科、手外科など、幅広く診療を行っている中でも、特に股関節外科は全国屈指の手術症例数です。また、人工関節の開発などの基礎研究の成果も多く、学会でも注目されています。

産科婦人科学講座

横山 正俊 教授

全ての婦人科悪性腫瘍に対応できる県内唯一の施設である強みを生かし、診断・治療、フォローアップ、臨床研究、特に子宮頸癌に関してはHPVIに関連した発癌機構の解明と新規治療法の開発の研究を行っています。

放射線医学講座

入江 裕之 教授

佐賀県唯一の最先端放射線機器類を駆使して、画像診断、インターベンショナル・ラジオロジー、核医学、放射線治療の各分野で一致団結して日夜、教育・研究・診療に励んでいます。

臨床検査医学講座

末岡 榮三朗 教授

さまざまな疾患の発生機序やその疾患の治療に対する反応性などを総合的に解明することにより、臨床業務に役立つ新規の臨床検査の構築と、そのための技術開発を目指し研究を行っています。

(附属施設)
地域医療科学教育研究センター

小田 康友 教授、川口 淳 教授

「数理解析部門(教育IR室)」[福祉健康科学(社会生活行動支援)部門][医学教育開発部門]の3部門で構成され、地域包括医療人材育成などの目標を持って活動しています。

生体構造機能学講座

倉岡 晃夫 教授、城戸 瑞穂 教授、安田 浩樹 教授

生命体の構造(形態)とその働き(機能)の解明を目指して「組織・神経解剖学」「解剖学・人類学」「生理学」および「薬理学」の4分野に分かれ、それぞれの分野で教育・研究を進めています。

内科学講座

杉田 和成 教授、安西 慶三 教授、木村 晋也 教授
江崎 幹宏 教授、野出 孝一 教授、小池 春樹 教授

内科の専門8部門「膠原病・リウマチ内科学」「呼吸器内科学」「神経内科学」「血液内科学」「循環器・腎臓内科学」「消化器内科学・光学医療診療部」「肝臓・糖尿病・内分泌内科学」と「皮膚科学」の教育・研究を進めています。

一般・消化器外科学講座

能城 浩和 教授

「体に優しい」低侵襲の鏡視下手術を積極的に行い、全国でもトップクラスの手術率を誇っています。また、腫瘍制御に関する基礎研究もっており、腫瘍の悪性度診断、浸潤転移機構の解明などの研究を行っています。

脳神経外科学講座

阿部 竜也 教授

対象疾患は、脳腫瘍、脳血管障害、脊髄脊髄、小児脳神経疾患など広い範囲に及びます。特に詳細な外科解剖の研究に基づいた手術と新規治療開発に関する研究に立脚した悪性脳腫瘍の治療に精力を注いでいます。

眼科学講座

江内田 寛 教授

特に網膜剥離や糖尿病網膜症などの網膜硝子体疾患に力を入れ、加齢黄斑変性やお子さんの斜視・弱視など、長期にわたる疾患に対しても、地域の医療機関と連携し、患者さんの利便性を考慮した診療を行っています。

麻酔・蘇生学講座

坂口 嘉郎 教授

「手術室での麻酔」「集中治療」「ペインクリニック」「緩和ケア」の分野で診療と研究を行っています。手術など大きな侵襲に対する生体の反応を制御する侵襲医学の研究や、難治性の痛み治療を向上させる研究などに取り組んでいます。

救急医学講座

阪本 雄一郎 教授

初期診療体制の充実、救急集中治療体制の構築と共にドクターヘリ基地病院、佐賀広域消防との医師同乗救急車事業によって、九州で3ヶ所目となる、高度救急医療を行うセンターとしての役割を果たしています。

(附属施設)
先端医学研究推進支援センター

(併)吉田 裕樹 教授、(併)川口 淳 教授

学際分野を含む医学研究の先端的・中心的役割を担い、学内外への発信を行うと共に、医学部の教育研究の基盤となる高度な技術的支援とその研鑽を行うことで、医学・看護学の課題を重点的に研究することを目指しています。

病因病態科学講座

宮本 比呂志 教授、相島 慎一 教授、青木 茂久 教授

疾病の機序の解明を意図して、細菌や微生物感染に対する生体防御機序、動脈硬化症や癌の病理学、癌や肥満症などの生活習慣病の分子生物学の研究を「微生物学」「診断病理学」「臨床病態病理学」の3分野で進めています。

精神医学講座

“患者と共に在れ”をモットーとし、うつ病をはじめとするストレス関連疾患、老年精神疾患など変貌する精神科医療に対応すべく、リエゾンコンサルテーションなど他の診療科と協力しながら、さらに研鑽を重ねています。

胸部・心臓血管外科学講座

蒲原 啓司 教授

心臓血管外科と呼吸器外科から成り、患者さんの目線で最高の医療を実践し、地域医療に貢献し続けるために24時間体制で診療に励んでいます。我が国でも有数の心臓の再生医療に取り組んでおり、日夜研鑽を重ねています。

泌尿器科学講座

野口 満 教授

副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺などの後腹膜臓器および泌尿生殖器の疾患を担当しています。常に患者のQuality of Lifeを尊重した医療をモットーとし、内視鏡・体腔鏡手術、ロボット手術など最新の医療技術を提供しています。

附属再生医学研究センター

中山 功一 教授

新しい再生医療技術の樹立を目指して「足場材料を使用しない3次元の複雑な組織形態を再現できるバイオ3Dプリンタ」を開発してきました。現在はこれを用い、血管や軟骨、肝臓、心臓の作製にもチャレンジしています。

耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学講座

のど・鼻・口等の癌を最新の診療技術を用いてチーム医療で治療し、その治療成績向上を目指した研究を行っています。また、聞こえや発声などの機能障害や、嚥下障害、味覚障害などの改善を目指した診療や研究も行っています。

歯科口腔外科学講座

山下 佳雄 教授

口腔がん、口唇口蓋裂、顎変形症、顔面外傷など口腔外科疾患を専門に診療・研究・教育を行っております。特に顎骨再建へのインプラント義歯の応用や顎顔面補綴を積極的に行い、県民の「口腔健康管理」に努めています。

国際医療学講座

青木 洋介 教授

Globalizationや高齢化により大きく影響を受ける感染症の診断と治療を行います。一般感染症、免疫不全感染症などの臨床的疑問点を明らかにし、医療の質保全と向上に資する臨床研究を遂行できる人材を育成します。

研究室・講座紹介

社会医学講座(環境医学分野)

市場 正良 教授、田中 恵太郎 教授、原 めぐみ 准教授
松本 明子 准教授、西田 裕一郎 講師



社会医学講座は、医学の中では衛生学・公衆衛生学という領域を担当し、予防医学とも呼ばれます。その中で、我々の環境医学分野では、人を取り巻く環境の健康影響を考えています。例えば、空気中の化学物質を分析し、その健康影響を探るために血液や尿など生体試料中の化学物質やその代謝物の分析、あるいは代謝の仕組みや個人差について追究しています。特に様々な化学物質を取り扱う産業現場での作業環境や健康管理を考える産業医学は、重要な課題です。産業医という専門医資格もあります。これらの研究成果は、大学内での安全衛生管理や地域社会での実践活動に生かされています。

脳神経外科学講座

阿部 竜也 教授、増岡 淳 准教授、中原 由紀子 講師、吉岡 史隆 講師
緒方 敦之 講師、伊藤 寛 助教、古川 隆 助教、正島 由里 助教



脳神経外科は、脳・脊髄に生じる疾患の予防、急性期治療、慢性期治療を網羅的に担う診療科であり、脳神経外科医は、外科医の目と技を持った神経総合医です。脳腫瘍、脳血管障害、脳血管内手術、頭部外傷、先天奇形、水頭症、てんかんなどの機能的疾患、脊椎・脊髄疾患など幅広い診療を行っています。従来の顕微鏡手術に加え、近年は血管内手術、内視鏡手術、定位的手術、細胞療法など多彩な手術や治療に取り組んでおり、女性医師の活躍も目立ってきています。臨床に繋がるような基礎研究にも積極的に取り組んでおり、世界水準の医療の実践と研究の推進ができる若手脳神経外科医の育成に励んでいます。



詳細情報はこちら

確かな知識と技術を身につけ
緊迫した状況でも冷静かつ
柔軟に行動できる看護師に

中学の時に手術を受け、その時に会った看護師に憧れて看護師を目指すようになりました。本学は1年次の前期に臨地実習があり、早くから実践的な看護を学ぶことができることに魅力を感じ、志望しました。現在は、小児看護、急性期看護、慢性期看護、がん看護、老年看護、在宅看護など、様々な領域における看護展開について学んでいます。特に看護技術の授業では、吸引や注射などの実践的な技術に取り組むことができますので好きです。グループワークの演習も充実していて、同級生と一緒に課題に取り組みながら学びを深めたり、いろいろな考えを知ることができて刺激を受けています。グループワークでの演習を通して協調性が身につき、また自分の意見を端的にわかりやすく伝えることができるようになり、自分が成長できていることを感じています。将来は患者さんやその家族と信頼関係を大切にし、患者さんの気持ちに寄り添える看護師になりたいです。

看護学科
佐藤 那砂 福岡県 八女高等学校出身

学びの特色

1

豊かな感性を持つ人になる

看護職者にふさわしい豊かな感性を備え、人を尊重する態度を身に付ける。

学びの特色

2

看護の知識と技術を持つ人になる

的確な看護実践ができるように、看護の知識と技術を修得する。

学びの特色

3

問題を解決に導く人になる

看護の多様な問題に対処できるように、自ら考え解決する習慣を身に付ける。

学びの特色

4

地域に貢献できる人になる

社会に対する幅広い視野を持ち、地域における保健医療福祉の活動に貢献できる基本的能力を養う。

主な進路

〈主な就職先〉

●佐賀大学医学部附属病院 ●九州医療センター ●九州大学病院 ●福岡大学病院 ●福岡赤十字病院 ●浜の町病院 ●九州がんセンター ●熊本医療センター ●長崎大学病院 ●神戸大学医学部附属病院 ●名古屋大学医学部附属病院 ●佐賀県(保健師) ●九州大学病院(助産師) ●長崎医療センター(助産師) ●高等学校教員(養護教諭)

カリキュラム一覧

1年次		2年次		3年次		4年次		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
大学入門科目	ライフサイクルと看護				臨地実習 (成人) (老年) (小児) (母性) (精神) (在宅) (地域連携)	臨地実習 (統合)		
情報リテラシー科目						ライフサイクルと看護		
外国語科目		臨地実習 (基礎)	基本教養科目または インターフェース科目			ライフサイクルと看護		
基本教養科目または インターフェース科目								
看護の機能と方法				統合分野		看護の機能と方法		
臨地実習 (基礎)	統合分野							
専門基礎科目						看護の機能と方法		
						専門基礎科目		
公衆衛生看護学コース						看護学コース		
						看護学コース		
						公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公衆衛生看護学コース				公衆衛生看護学コース		
公衆衛生看護学コース		公						

教養教育科目 専門基礎科目 看護専門科目

授業紹介

老年看護学概論



高齢者の健康問題に関する基礎的な知識を踏まえ、生活史の聴取やシミュレーション学習などに取り組みながら、高齢者の身体的・心理的・社会的特徴について理解を深めます。

臨地実習



病院での実習と、地域・在宅実習をひとつにしたもの。1年次の早期体験実習、2年次の基礎看護学実習、3年次の臨地実習、4年次の統合実習で構成されています。

成人看護援助論Ⅱ



成人患者の特性をふまえ、代表的な慢性疾患を持つ患者および家族が抱える健康問題に対し、病気と折り合いをつけながら生活できるよう支援方法を学修します。

研究室・ゼミ紹介

基礎看護学



看護教育学、看護援助学(看護技術・コミュニケーション・看護過程論を含む)、看護管理と、看護の基本となる分野を幅広く担いながら、研究も進めています。

成人看護学



肺がん患者さんの手術後1日目の心身の状態をアセスメントして発表しています。術式や麻酔の種類、年齢などによって、起こりえる状況が異なってきます。

小児看護学



小児看護学領域では、様々な子どもと家族を理解し、発達過程で生じる健康問題の解決のため、個別性に応じた看護実践に繋がる教育・研究を行っています。得られた成果を地域の教育に活かしています。

母性看護・助産学



母親の育児負担を軽減するグッズや産後髄鞘炎の予防プログラムの開発、助産師の教育方法などの研究に取り組み、その成果は学会で発表だけでなく教育や地域に還元しています。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 日本における外国人に対する救急医療の現状と課題
- 救急看護師のストレス要因と対処に関する文献検討
- 基礎看護技術におけるシミュレーション教育の効果と課題
- 特別支援学校における不登校の実態と支援に関する文献検討
- 睡眠の質向上のための有効的な身体活動について
- 地域住民の健康意識向上及び行動変容に対する保健師の支援について
- 高齢者を対象としたアロマセラピーに関する研究動向と課題
- 精神障害者が感じている就労の阻害要因についての文献検討
- 助産師が離島で働くことの魅力
- 医療的ケア児の家族への退院支援の現状についての文献検討
- 終末期がん患者の心理
- 終末期心不全患者の意思決定支援に関する文献検討

理学と工学を 融合し、希望に満ちた 未来を創造する。

Faculty of Science and Engineering

理 工 学 部

理工学科

- ▶ 数理サイエンスコース
- ▶ データサイエンスコース
- ▶ 知能情報システム工学コース
- ▶ 情報ネットワーク工学コース
- ▶ 生命化学コース
- ▶ 応用化学コース
- ▶ 物理学コース
- ▶ 機械エネルギー工学コース
- ▶ メカニカルデザインコース
- ▶ 電気エネルギー工学コース
- ▶ 電子デバイス工学コース
- ▶ 都市基盤工学コース
- ▶ 建築環境デザインコース

理工学科 電子デバイス工学コース
中山 結加 佐賀県 唐津東高等学校出身

〈学部の特徴〉

理工学部は、建学時から理学と工学の融合をテーマとしてきました。地球上の生き物や環境と共生し、新たな希望に満ちた未来を創造していくには、双方の領域で自在に思考できる「知」が必要不可欠です。理学で原理を学び、工学で応用技術を学び、「知」のハーモニーの中から次の世界を生み出す「人」が育っています。本学部は、13コースにおいて21世紀の高度科学技術時代に活躍できる人材の育成と、知的創造を目指して教育研究を行います。理学と工学のコースが同一学部にあるという特色を最大限に発揮し、科学と技術の融合による基礎科学とハイテクノロジーの推進を旗印に、ユニークな教育と研究に意欲的に取り組んでおり、まさに時代の要請に応えることのできる体制といえるでしょう。

■ 教育目的

理工学部は、幅広い教養と理工学基礎力を土台として、多面的視点を持って社会の広い分野で活躍できる科学・技術の専門的素養を持つ人材を育成することを目的とします。これを実現するために1学科13コースの教育体制を取り、1年次は共通の講義で基礎学力を整え、2年次のコース配属によりそれぞれの希望する専門に分かれて教育を受けます。

■ 在学生インタビュー



専門分野の学び+実践的な活動で自分を磨き 将来は宇宙関係の仕事をしたい。

宇宙や素粒子について学びたくて進学し、今はそれらの分野の研究に必要な量子力学や統計力学など、物理学の基本的な学習を行っています。物理学コースの先生方とは距離が近く、先生方の研究の話を聞くこともでき、質問もしやすいです。また、産官学連携拠点「佐賀大deラボ」でアルバイトをしており、CAD設計やCG制作を実践的に行っています。この経験を最先端の物理学を理解する取組みにも拡張し、最近では、ブラックホールの2次元画像を3Dプリンターで立体的に視覚化する試みを行っています。将来はここでの経験と学びを活かし、宇宙に関係する職に就きたいと考えています。

理工学科 物理学コース
岡田 菜花 福岡県 西南学院高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



専門性の高い13のコースで 「やりたいこと」が必ず見つかる

01 1年次にさまざまな入門科目を学び 自分の「やりたいこと」に向き合える

1年次には、理工教育の要である数学、物理、化学、生物、データサイエンスなどを学び、基礎力を強化します。さらに、13の専門コースの教育研究内容に少しずつ触れることで、1年を通して「自分が何をやりたいのか」考える時間を持つことができます。自分自身の希望とじっくり向き合い、2年次のコース選択に臨めるのが佐賀大学理工学部の特徴のひとつです。



[4年間の学び]

1年次

理工学の基礎力を強化しながら、専門コースの入門に触れます。

2年次

13の専門コースから自分の希望に合うものを選択して学びます。

3・4年次

学びをさらに深めます。一部の大学
院科目の履修も可能です。

卒業

進学や多彩な 進路

○進学(大学院) ○自動車関連企業 ○建築設計関連企業 ○電機メーカー ○公務員
○IT系企業 ○エネルギー関連企業 ○化学系企業 ○ゼネコン

KEY POINT

大学院科目の先行履修

3・4年次の学生に対しては、学部在学中に一部の大学院科目の履修を認め、佐賀大学大学院入学後に単位として認定。先行履修を行うことで、大学院入学後に海外インターンシップに参加するなどの余裕も生まれます。

KEY POINT

データサイエンス

社会のニーズに応じてビッグデータを活用できるよう、データサイエンスを必修科目に。社会の膨大なデータを解析する技術と知識を培います。



02 他コースの人と協力して 課題を解決するサブフィールドPBL

複眼的な視点から業務を遂行する能力を醸成するために、2年次にサブフィールドPBLを実施。6つのサブフィールド(理学、情報技術、化学、機械工学、電気電子工学、都市工学)のうち、自分の専門外の5つのフィールドの講義を各3回、合計15回受講します。その後の演習ではコースの混在した5名程度のグループを作って、最新トピックや地域に根差した課題などに取り組みます。

[サブフィールドPBLの主な流れ]

自分の専門分野以外にも触れ、
広い視野での知識を深める。

専門外の分野であるサブフィールド(理学、情報技術、化学、機械工学、電気電子工学、都市工学)についての講義を受け、複眼的な視点から物事を考える姿勢を養います。また、自分の専門分野との関連についても理解を深めます。

少人数グループで取り組み、
課題を解決する力を育てる。

講義後に、コースが混在した5名程度の少人数グループを作って周辺分野のサブフィールドを選び、課題に取り組むPBL演習を実施します。グループで計画・立案・実施し、問題解決に向けて取り組みます。

導いた結果をプレゼンして
分析・説明する力を養う。

演習終了後には発表会を実施。グループのプレゼンテーションに対して学生同士でディスカッションを行い、教員のアドバイスを受けながら最終的な結論を導いていきます。講義と演習、プレゼンテーションを通して、結論を導き出す能力を高めます。



03 理工学部で行われている さまざまな研究テーマ

13の多彩なコースを持つ理工学部では、それぞれのコースによって研究内容も多種多様。どのような内容があるのかをしっかりと事前に確認して、自分が一番興味を持てる内容を選ぶことができるのも魅力のひとつです。理工学部の教授たちが現在取り組んでいる研究テーマの一部を紹介します。

素粒子を探究し 宇宙の起源を解き明かす

理工学部 理工学科 物理学部門
船久保 公一 教授



私の研究分野は素粒子論の宇宙論です。素粒子物理学は物質の究極の姿とそれを支配する法則を探求

する学問で、日本はこの分野のノーベル賞受賞者を輩出してきました。また、ここ10年来の観測技術の進展により、宇宙の中に原子核や電子といった既知の物質のほかに、未知の形態のエネルギーや未知の物質がどれほど存在しているかがわかってきました。私は素粒子論をベースに、宇宙の物質の起源を解き明かそうとする研究に取り組んでいます。

カメラとAIで力加減を 判断する「スマートハンド」

理工学部 理工学科 数理・情報部門
福田 修 教授



事故や病気で腕を失った人にとって、「義手」は重要な存在です。しかし、現在の義手は力加減がう

まくいかななどの課題があります。そこで、義手に「頭脳」を持たせる「スマートハンド」の研究を始めました。カメラ映像をAIにディープラーニングさせる「物体認識」の技術が急速に進歩しており、今後IoT技術で義手とAIをつなげば、やがて本物の手と同じく的確に動かせる義手を実現するでしょう。

建築×まちづくりデザインで 喜ばれる「まち」をつくる

理工学部 理工学科 都市工学部門
三島 伸雄 教授



「建築デザイン学」では、新しい建物を造ったり街並みの一部を変えることで「まちを元気にする」

手法を研究しています。観光地再生の成功例として、佐賀県鹿島市の「肥前浜宿」があります。古い酒蔵を生かしてイベント会場にするなど酒蔵を中心としたまちづくりを推進し、多くの観光客が訪れるようになりました。まちのよさや住民のニーズなどを総合的に判断しながら、まちづくりを行っていく研究です。



和歌山工業高等専門学校
知能機械工学科 勤務
石橋 春香さん
理工学部 機械システム工学科
2012年9月卒業
[業務内容]
工業高等専門学校の教員。
専門である実験を継続して行
い、複数の授業を受け
持っている。

大学での学びやサークル活動の経験が 今の仕事や研究につながっています。

私は大学の卒業研究で取り組んだ非破壊検査についてさらに研究を深めたいと考え、続けて研究ができる高専の教員になりました。現在は、超音波非破壊検査をはじめとした波動についての研究を進めつつ、学生に機械工作や電子制御、計測工学などの授業を行っています。高専は実践的な授業が求められるので、大学時代に学んだこと全てを駆使して挑んでいるところです。教員になる前にはエンジン周りの部品の設計製造の会社にも勤めていましたが、そこでも大学で学んだ熱力学・材料力学、計測統計・電気電子といった学びが非常に役立ちました。また、学祭をはじめとしたサークル活動にも取り組みましたが、そこでの経験や人とのつながりは大学生活での一番の思い出です。今は大学時代のように自由になる時間は少ないですが、もっともっと日々を充実させていきたいと考えています。



詳細情報はこちら

理 工 学 部

数理サイエンスコース

現代数学の基本を学び、論理的思考力、
数理科学的考察力を身に付ける

数理サイエンスコースは、あらゆる科学技術の基礎となる数学ならびに数理科学を専門的に学修するコースです。

2年次は必修科目において、数理サイエンスのどの分野においても必要となる専門用語・表現方法と基礎的概念を修得します。

3年次選択科目では、代数学、幾何学、解析学の各分野について理解を深化させると共に、演習科目により問題解決能力を養います。ほかに、教職や金融・保険といったキャリアパスを想定した場合に必要な確率・統計の科目も取り入れられています。

4年次の卒業研究において、3年次までに学修した数学の分野の中から特に興味を覚えたものを選んで、特定のテーマについて少人数形式で探求します。

主な進路

損保ジャパン、佐賀銀行、唐津信用金庫、フコクしんらい生命保険、IT関連企業、金融関連企業、教育関連企業、公務員、大学院進学、中学校・高等学校教諭



カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目				
	共通基礎科目「英語」				
	共通基礎科目「情報リテラシー」				
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
			インターフェース科目		
専門教育科目	基礎科目	●理工リテラシー-S1	●理工リテラシー-S2 ●サブフィールドPBL	●理工リテラシー-S3 ●地方創生インターンシップS, L	
	専門科目	●微分積分学Ia/Ib ●線形代数学Ia/Ib ●物理学概説	●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI ●理工概論		
	コア類共通	●微分積分学IIa/IIb ●線形代数学IIa/IIb ●物理演習 ●化学演習 ●基礎電気回路 ●基礎電磁気学 ●建設力学基礎 ●空間設計基礎 ●基礎化学A/B ●基礎力学	●現代物理学 ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●応用数理学 ●データサイエンス入門 ●知能情報システム工学入門 ●情報ネットワーク工学入門 ●機械システム工学概論 ●機械エネルギー工学概論		
	専門科目		●代数学基礎I ●解析学基礎I ●代数学基礎I演習 ●解析学基礎I演習 ●集合・位相I ●集合・位相II演習 ●代数学基礎II ●解析学基礎II ●代数学基礎II演習 ●解析学基礎II演習	●集合・位相II ●集合・位相II演習 ●数理科学英語 ●代数学I ●代数学演習 ●幾何学I ●解析学I ●解析学演習 ●複素関数論I ●複素関数論演習 ●微分方程式論I ●代数学II ●幾何学II	●卒業研究 ●解析学II ●複素関数論II ●微分方程式論II ●数理統計学 ●幾何学演習 ●微分方程式論演習 ●確率解析学

授業紹介

解析学I



現代解析学を修めるために必要不可欠であるルベーク測度およびルベーク積分について学び、さらにその発展である関数解析なども学びます。

代数学基礎II



群の定義から始め部分群、準同型・同型、正規部分群、剰余群などについて説明。発展的話題として、アーベル群の基本定理、群の集合への作用にも触れます。

幾何学II



局所的にユークリッド空間と同一化して微分や積分ができる空間である多様体の定義や、逆関数定理などを理解し、応用・計算できることを目指します。

教員紹介

学部長	副学部長				
豊田 一彦 教授	佐藤 和也 教授	皆本 晃弥 教授	山西 博幸 教授		

数理・情報部門

半田 賢司 教授 確率論	中村 伊南沙 教授 幾何学	只木 進一 教授 数理モデリング	岡崎 泰久 教授 教育工学	花田 英輔 教授 医療情報学・病院設備学	福田 修 教授 知覚情報処理
皆本 晃弥 教授 応用数学・数値解析	奥村 浩 教授 環境動態解析	松前 進 教授 並列分散処理	中村 健太郎 教授 代数学	日比野 雄嗣 准教授 確率論	木下 武彦 准教授 数値解析
山口 暢彦 准教授 情報学基礎理論	中山 功一 准教授 知能情報学	掛下 哲郎 准教授 情報システム・ソフトウェア工学	木村 拓馬 准教授 数値計算法・数理計画	廣友 雅徳 准教授 符号・暗号理論・情報セキュリティ	上田 俊 准教授 ゲーム理論・人工知能
猿子 幸弘 講師 幾何学	加藤 孝盛 講師 数学解析	大月 美佳 講師 ソフトウェア	前田 明子 助教 情報ネットワーク	ヨー ウェンリアング 助教 ヒューマンマシンインタラクション	

化学部門

高栢 利幸 教授 分析化学	大渡 啓介 教授 環境材料・リサイクル	鯉川 雅之 教授 無機・錯体化学	富永 昌人 教授 電気化学	花本 猛士 教授 有機化学	海野 雅司 教授 物理化学
山田 泰教 教授 無機化学	竹下 道範 教授 有機機能物質化学	長田 聡史 教授 生物有機化学	矢田 光徳 教授 セラミックス	川喜田 英孝 教授 化学工学	坂口 幸一 准教授 無機材料・物性
梅木 辰也 准教授 分析化学	江良 正直 准教授 ナノ材料工学	成田 貴行 准教授 ナノマイクロシステム	森貞 真太郎 准教授 化学工学	藤澤 知績 准教授 物理化学	米田 宏 助教 無機化学
小山田 重蔵 助教 有機化学	磯野 健一 助教 分析化学	大竹 亜紗美 助教 無機材料化学			

物理学部門

青木 一 教授 素粒子・原子核	船久保 公一 教授 宇宙論	河野 宏明 教授 素粒子・原子核	鄭 旭光 教授 物性物理学	真木 一 教授 物性物理学	橘 基 教授 天体核理論
石波 洋一 准教授 物性物理学	岡山 泰 准教授 物性物理学	山内 一宏 准教授 物性物理学	房安 貴弘 准教授 素粒子・原子核	高橋 智 准教授 宇宙論	

機械工学部門

佐藤 和也 教授 制御・システム工学	只野 裕一 教授 機械材料・材料力学	張 波 教授 設計工学	寺本 顕武 教授 計測工学	萩原 世也 教授 機械材料・材料力学	服部 信祐 教授 機械材料・材料力学
松尾 繁 教授 流体工学	宮良 明男 教授 熱工学	長谷川 裕之 教授 複合材料・表界面工学	泉 清高 准教授 知能機械学	大島 史洋 准教授 設計工学	飯屋 圭史 准教授 熱工学
カーン タウヒドウル イスラム 准教授 知能機械学		塩見 憲正 准教授 流体工学	住 隆博 准教授 流体工学	武富 紳也 准教授 機械材料・材料力学	橋本 時忠 准教授 生体医学工学
馬渡 俊文 准教授 設計工学	森田 繁樹 准教授 構造・機能材料	石田 賢治 講師 熱工学	佐藤 善紀 助教 設計工学	サンティアゴ ガリシア エドガー 助教 熱工学	
椿 耕太郎 助教 熱工学	林 喜章 助教 リハビリテーション科学				

電気電子工学部門

田中 徹 教授 電子・電気材料工学	豊田 一彦 教授 通信・ネットワーク工学	後藤 聡 教授 制御・システム工学	嘉数 誠 教授 電力工学	大津 康徳 教授 プラズマエレクトロニクス	大石 敏之 教授 電子デバイス
村松 和弘 教授 電力工学	杉 剛直 教授 生体医学工学	伊藤 秀昭 教授 人工知能	木本 晃 准教授 計測工学	佐々木 伸一 准教授 通信・ネットワーク工学	田中 高行 准教授 電子デバイス
西山 英輔 准教授 通信・ネットワーク工学	猪原 哲 准教授 電力工学	堂園 浩 准教授 ソフトコンピューティング	原 重臣 准教授 電力工学	福本 尚生 准教授 電力工学	三沢 達也 准教授 プラズマエレクトロニクス
サハ・ニロイ・チャンドラ 助教 半導体工学		ハサン・マオドウドウル 助教 通信・ネットワーク工学			

都市工学部門

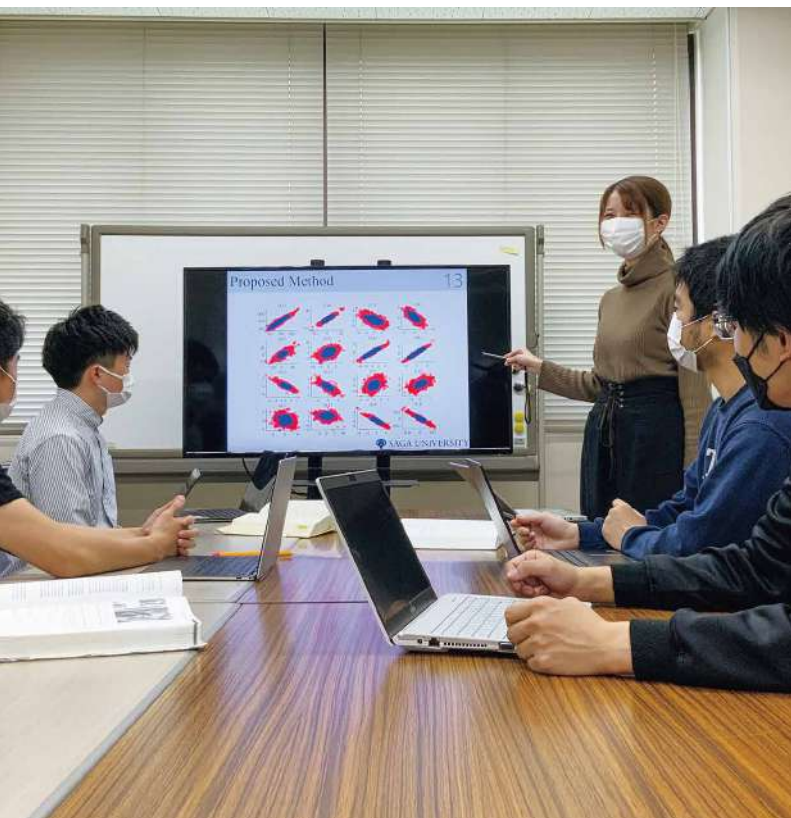
伊藤 幸広 教授 建設材料学	大串 浩一郎 教授 水工学	押川 英夫 教授 水工学	帯屋 洋之 教授 構造工学	小島 昌一 教授 建築環境・設備	日野 剛徳 教授 地盤工学
三島 伸雄 教授 都市計画・建築計画	山西 博幸 教授 土木環境システム	後藤 隆太郎 教授 建築計画・集落計画	猪八重 拓郎 准教授 土木計画学	VONGTHANASUNTHORN NARUMOL 准教授 土木環境システム	
中大窪 千晶 准教授 建築環境・設備	宮原 真美子 准教授 建築計画	李 海峰 准教授 建築環境・設備	根上 武仁 講師 地盤工学	三島 悠一郎 講師 土木環境システム	デルベル・モハメド・ラミ 助教 建築計画
淵上 貴由樹 助教 建築史・意匠					

海洋エネルギー研究所

池上 康之 教授 エネルギー学	木上 洋一 教授 流体工学	光武 雄一 教授 熱工学	吉田 茂雄 教授 風車工学	有馬 博史 准教授 熱工学	今井 康貴 准教授 船舶海洋工学
松田 吉隆 准教授 制御・システム工学	村上 天元 准教授 熱工学	安永 健 准教授 熱工学	SRINIVASAMURTHY SHARATH 助教 船舶海洋工学		鶴 若菜 助教 流体工学
森崎 敬史 助教 熱工学	鹿熊 信一郎 特任教授 水圏生産科学	中岡 勉 特任教授 熱工学	永田 修一 特任教授 船舶海洋工学		



詳細情報はこちら



データから新たな価値を創造する データサイエンティスト

データサイエンスコースでは、データ駆動型社会の中でDX推進の中核を担う人材として必要となる数理・データサイエンス・AIについて深く、かつ広く学びます。

その基本となる数学、プログラミングなどの知識や技術を体系的に習得すると共に数理統計学、データサイエンス、機械学習、AIなどを講義と演習によって実践的に学びます。

これらの教育を通じて、数理・データサイエンス・AI分野の専門的な素養を持ち、多様なデータから知見を得て課題を解決するデータサイエンティストとして理学や工学、ビジネスなどの社会の広い分野で活躍できる人材を養成します。

想定される進路

IT関連企業、AI関連企業、DX関連企業、公務員、大学院進学、中学校・高等学校教諭

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	理工リテラシーS1	理工リテラシーS2 サブフィードPBL	理工リテラシーS3 地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	微分積分学Ia/Ib 線形代数学Ia/Ib 物理学概説	化学概説 生物学概説 データサイエンスI		
	専門科目	微分積分学IIa/IIb 線形代数学IIa/IIb 物理学演習 化学演習 基礎電気回路 基礎電磁気学 建設力学基礎 空間設計基礎 基礎化学A/B 基礎力学	現代物理学 コンピュータプログラミング データサイエンスII 応用数理学 データサイエンス入門 情報システム工学入門 情報ネットワーク工学入門 機械システム工学概論 機械エネルギー工学概論	プログラミング概論I-II プログラミング演習I-II データ構造とアルゴリズム 技術文書作成 情報数理 データベース 情報システム実験 連続最適化概論 ソフトウェア工学 計算機アーキテクチャ	組込みシステム実験 オペレーティングシステム 数値解析 離散数学・オートマトン コンピュータグラフィックス演習 集合と位相I-II演習-II演習 解析学基礎I-II演習-II演習 代数学基礎I-II演習-II演習 確率解析学 自主演習
	専門科目			人工知能概論・実験 ヒューマンデータ分析 データサイエンスコロキウム 技術英語 実践データサイエンス データサイエンス演習 機械学習 情報社会とセキュリティ プログラミング概論II演習II 並列分散処理	情報ネットワーク実験 ソフトウェア協同開発実験 ネットワークシステム 卒業研究準備演習

授業紹介

実践データサイエンス



データサイエンスの目的は、データから情報や法則を抽出し、価値の創造や問題の解決に結びつけることです。データサイエンスを支える手法を理論的・実践的に学びます。

データサイエンス演習



実践データサイエンスで扱った例題や課題を実際にプログラミングしてデータ分析を行うことで技能を習得します。

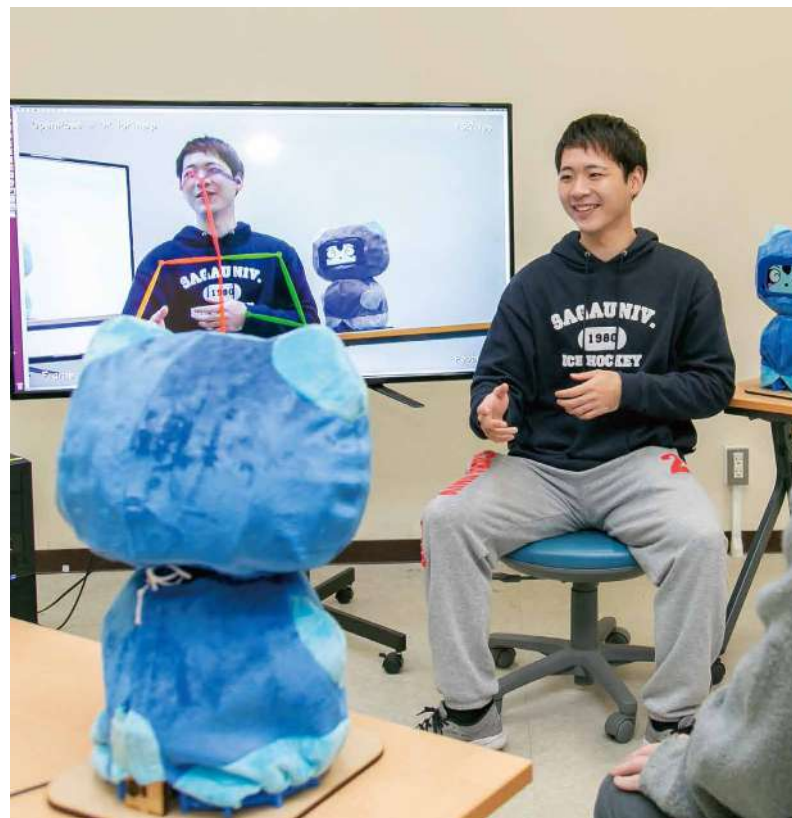
数理統計学



1年次「データサイエンスI」で学んだ統計的考え方や手法を、ここでは微分積分学・線形代数数学といった強固な数学的基盤に立ち、さらに進んだ形で修得します。



詳細情報はこちら



人工知能、画像・音声の情報技術で 新しい社会を切り開く

知能情報システム工学コースでは、急速に進化しつつあるコンピュータによる人工知能的処理を行う情報システム構築技術について深く、かつ広く学びます。

情報システム構築の基本となるプログラミングなどの知識や技術を体系的に習得すると共に、知能情報システムの構築や運用に必要な画像や音声の生成・認識、ディープラーニング、機械学習、ゲーム理論、マンマシンインターフェース、脳科学応用、データサイエンスなどに関する技術を講義と演習によって実践的に学びます。

これらの教育を通じて、人工知能やデータサイエンスの応用に関わるエンジニアとして、社会の幅広い活動に関わる人材を育成するコースです。

主な進路

九州電力(株)、エコー電子工業(株)、(株)システムソフト、(株)デンソーテクノ、IT関連企業、AI関連企業、公務員、起業・開業、大学院進学、中学校・高等学校教諭

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	理工リテラシーS1	理工リテラシーS2 サブフィードPBL	理工リテラシーS3 地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	微分積分学Ia/Ib 線形代数学Ia/Ib 物理学概説	化学概説 生物学概説 データサイエンスI		
	専門科目	微分積分学IIa/IIb 線形代数学IIa/IIb 物理学演習 化学演習 基礎電気回路 基礎電磁気学 建設力学基礎 空間設計基礎 基礎化学A/B 基礎力学	現代物理学 コンピュータプログラミング データサイエンスII 応用数理学 データサイエンス入門 情報システム工学入門 情報ネットワーク工学入門 機械システム工学概論 機械エネルギー工学概論	プログラミング概論I プログラミング演習I データ構造とアルゴリズム 計算機アーキテクチャ 情報数理 応用数学 組込みシステム実験 技術文書作成 プログラミング概論II プログラミング演習II	並列分散処理 情報社会とセキュリティ 技術英語 プログラミング概論III ソフトウェア工学 人工知能概論 人工知能実験 情報ネットワーク 情報ネットワーク実験 卒業研究準備演習
	専門科目		データベース 情報システム実験 オペレーティングシステム 数値解析 情報理論 コンピュータグラフィックス演習 離散数学・オートマトン 自主演習	画像情報処理 音声情報処理 実践データサイエンス データサイエンス演習 ソフトウェア工学 ソフトウェア協同開発実験 ネットワークシステム ゲーム理論と最適化手法	卒業研究

授業紹介

人工知能概論



人間の知的活動やその一部をコンピュータで実現するための試みである「人工知能」の分野を概観し、その基礎知識についての理解を深めます。

人工知能実験



人間の知能を計算機で構成することを目的とした人工知能について、講義と実験により理解を深めていきます。

音声情報処理



いろいろな音を聞きながら、音声解析や音声認識の基礎となる信号処理技術を学びます。数式の手計算やコンピュータを使った演習を通して実践力を身に付けます。



詳細情報はこちら



未来をひらく 先端材料の創成

応用化学コースでは、理工学部発足当初からの『理工融合』の理念に基づき、幅広い教養と応用化学分野の専門的な素養を持ち、材料開発や化学工学に強く、自主的かつ協同的に仕事を計画、実行、総括できる化学技術者として社会の幅広い分野で活躍できる人材を養成することを目的としています。

このような化学技術者に必要となる知識を体系的に身に付けていくために、材料化学への応用を主な内容とした専門科目の講義を、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学の5つの分野で構成・配置しています。

また、プロフェッショナルとして課題を発見し、解決する能力、および課題解決につながる協調性と指導力を養うための実験科目も段階的に配置しています。

主な進路

ソニー・セミコンダクター、SUMCO、日産化学、日亜化学等化学系企業、有機・無機材料化学関連企業、化学プラント関連企業、公務員、中学校・高等学校教諭、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目		インターフェース科目		
	専門科目	●理工リテラシーS1	●理工リテラシーS2 ●サブフィールドPBL	●理工リテラシーS3 ●地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	●微分積分学Ia/Ib ●線形代数学Ia/Ib ●物理学概説	●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI		
	専門科目	●微分積分学IIa/IIb ●線形代数学IIa/IIb ●物理学演習 ●化学演習 ●基礎電気回路 ●基礎電磁気学 ●建設力学基礎 ●空間設計基礎 ●基礎化学A/B ●基礎力学	●現代物理学 ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●応用数理学 ●データサイエンス入門 ●知能情報システム工学入門 ●情報ネットワーク工学入門 ●機械システム工学概論 ●機械エネルギー工学概論	●セラミックス科学 ●高分子化学 ●応用物理化学 ●環境化学 ●化学工学 ●化学基礎英語I ●応用化学実験III ●化学基礎英語II ●応用化学実験IV ●無機材料化学	●卒業研究 ●化学者倫理

授業紹介

基礎化学工学



化学工学の基礎として重要な概念である物質収支とエネルギー収支、液体の流れ(流動)および粉粒体操作について理解を深めていきます。

セラミックス科学



セラミックスの製造方法について学ぶとともに、セラミックスの原子レベルおよびマイクロメートルレベルでの構造とそれらに基づく性質や機能について学びます。

高分子化学



金属、セラミックスと並んで素材として古くから重用されてきた、三大素材のひとつである高分子、その合成、構造、物性について学びます。



詳細情報はこちら



自然現象の科学的な解明から、 科学技術を支える物理学

物理学は、自然界のしくみを理解し、さまざまな自然現象を科学的に解明することを目指す学問です。その対象は、宇宙、地球、多様な物質、原子、原子核、素粒子とすべての領域に及びます。ニュートンやアインシュタインらが導いた物理法則を基礎として、現在もわくわくするような研究が続いています。また、研究成果は科学技術を支える基盤として役立っています。

物理学コースでは、実験と数学を通して、重力場や電場・磁場による力や、熱や光のはたらきを知り、自然界のしくみを論理的に説明する方法を習得します。さらに量子論や相対論など、現代物理学の基礎となる考え方を学びます。

物理学コースでの学習や研究活動からは、知識とともに、高い考察力と豊かな発想力を身につけることができます。考える力は理工系全般に有効であり、就職後の活動を支えてくれるものになります。

主な進路

インターネットイニシアティブ、極東産機株式会社、ソニー・セミコンダクターマニュファクチャリング、佐賀電算センター、IT関連企業、電機メーカーなど、中学校・高等学校教諭、公務員、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目		インターフェース科目		
	専門科目	●理工リテラシーS1	●理工リテラシーS2 ●サブフィールドPBL	●理工リテラシーS3 ●地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	●微分積分学Ia/Ib ●線形代数学Ia/Ib ●物理学概説	●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI		
	専門科目	●微分積分学IIa/IIb ●線形代数学IIa/IIb ●物理学演習 ●化学演習 ●基礎電気回路 ●基礎電磁気学 ●建設力学基礎 ●空間設計基礎 ●基礎化学A/B ●基礎力学	●現代物理学 ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●応用数理学 ●データサイエンス入門 ●知能情報システム工学入門 ●情報ネットワーク工学入門 ●機械システム工学概論 ●機械エネルギー工学概論	●物理学実験A ●物理学実験B ●物理学実験C ●解析力学I ●熱力学 ●波動 ●回路理論 ●解析力学II ●電磁気学I ●基礎統計力学I	●卒業研究 ●科学英語

授業紹介

宇宙物理学



ビッグバン宇宙論の観測的根拠が何か、また、最新の観測から密度パラメータが決定される過程や元素合成の理論の概要などについて理解します。

物理学実験A



力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、固体物理学の中の基礎的で重要な実験を行い、種々の物理量の測定方法とそこにあるアイデアを学びます。

電磁気学II



導体と静電場、定常電流および静磁場について学びます。講義の中で演習問題にも取り組み、電磁気学について理解を深めていきます。



詳細情報はこちら



エネルギーの高度利用技術を支える 機械エネルギー工学

機械エネルギー工学コースでは、流体、熱、再生可能エネルギーなどの有効利用において必要となる機械エネルギー工学分野の専門的素養を持ち、高度エネルギー利用技術分野に強い機械工学技術者として幅広い分野で活躍できる人材を養成します。

また、それに加えて、幅広い教養と機械工学およびその関連の領域において、専門的な基礎知識およびその応用力、ならびにものづくりの素養を身に付けるための教育を行っています。

主な進路

JR西日本、NEXCO西日本、鹿島建設、エネルギープラント関連企業、輸送用機械関連企業、電機メーカーなど、公務員、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	理工リテラシーS1	理工リテラシーS2 サブフィールドPBL	理工リテラシーS3 地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	微分積分学Ia/Ib 線形代数学Ia/Ib 物理学概説	化学概説 生物学概説 データサイエンスI		
	専門科目	微分積分学IIa/IIb 線形代数学IIa/IIb 物理学演習 化学演習 基礎電気回路 基礎電磁気学 建設力学基礎 空間設計基礎 基礎化学A/B 基礎力学	現代物理学 コンピュータプログラミング データサイエンスII 応用数理学 データサイエンス入門 知能情報システム工学入門 情報ネットワーク工学入門 機械システム工学概論 機械エネルギー工学概論	科学技術英語 機械システム制御 機械エネルギー工学実験 数値計算法 流体エネルギー工学 熱エネルギー工学 海洋エネルギー工学I 工学者の倫理 機械システム工学実験	卒業研究 エネルギー 変換工学II 流体エネルギー 変換工学
	専門科目	創造工学入門 工業力学 機械設計 機械力学 流体工学 機械熱力学 材料力学 機械数学基礎 実用英語基礎I 機械工作実習I 機械数学応用	ベクトル解析学 機械設計 機械力学 実用英語基礎II 機械熱力学 機械熱力学 材料力学 機械数学基礎 実用英語基礎I 機械工作実習I 機械数学応用	機械工学設計製図 創造工学演習 資源エネルギー概論 エネルギー輸送学 海洋エネルギー工学II エネルギー変換工学I 圧縮性流体工学 機械実学PBL 機械工学インターンシップ	

授業紹介

エネルギー機関論



理想気体の状態方程式から出発し、実在気体および液体への状態方程式の拡張と方程式の数学的な取り扱いを学んだ後、熱から動力への変換プロセスを学びます。

数値計算法



解析的解法に並ぶ主要な計算方法である電子計算機を用いた数値解法(数値計算)など、各種数学的解法の数値的な計算法について講義します。

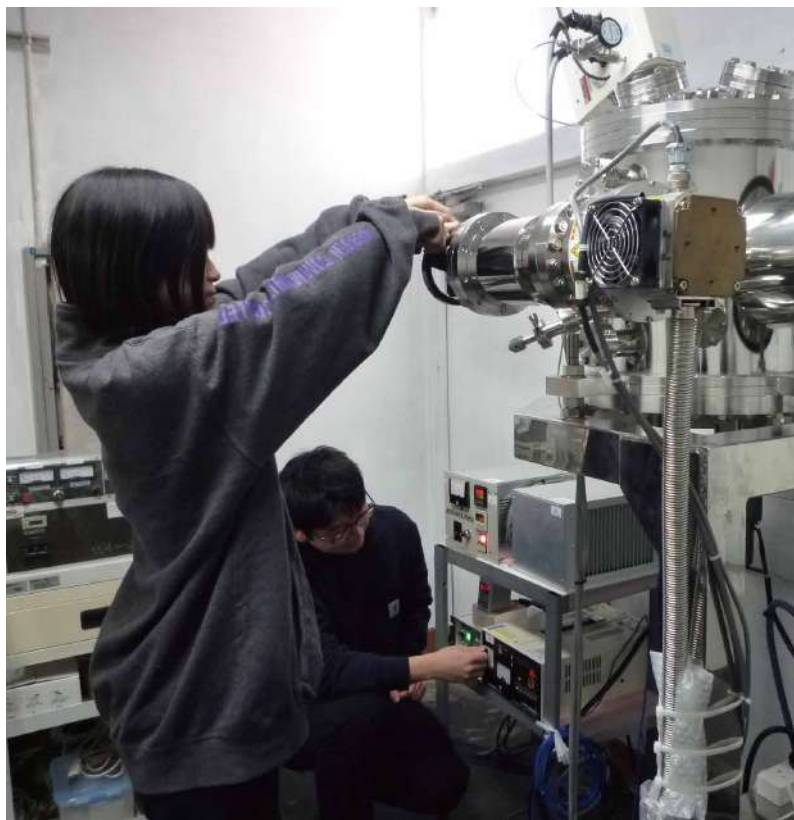
エネルギー変換工学I



熱力学第一法則と第二法則をガス動力サイクルに適用し、ガス動力サイクルで熱と仕事を実際どのようにに変換されているかを学んでいきます。



詳細情報はこちら



産業分野の開発・設計・生産の 基盤をなすメカニカルデザイン

メカニカルデザインコースでは、さまざまな産業分野での開発、設計、生産とそれらのシステムにおいて必要となるメカニカルデザイン分野の専門的素養を持ち、ものづくりに強い機械工学技術者として幅広い分野で活躍できる人材を養成します。

また、それに加えて、幅広い教養と機械工学およびその関連の領域において、専門的な基礎知識およびその応用力、ならびにものづくりの素養を身に付けるための教育を行っています。

主な進路

TOTO、佐賀鉄工所、ファナック、生産用機械関連企業、輸送用機械関連企業、電機メーカーなど、公務員、大学院進学

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	理工リテラシーS1	理工リテラシーS2 サブフィールドPBL	理工リテラシーS3 地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	微分積分学Ia/Ib 線形代数学Ia/Ib 物理学概説	化学概説 生物学概説 データサイエンスI		
	専門科目	微分積分学IIa/IIb 線形代数学IIa/IIb 物理学演習 化学演習 基礎電気回路 基礎電磁気学 建設力学基礎 空間設計基礎 基礎化学A/B 基礎力学	現代物理学 コンピュータプログラミング データサイエンスII 応用数理学 データサイエンス入門 知能情報システム工学入門 情報ネットワーク工学入門 機械システム工学概論 機械エネルギー工学概論	創造工学入門 工業力学 機械設計 機械力学 流体工学 機械熱力学 材料力学 機械数学基礎 実用英語基礎I 機械工作実習I 機械数学応用	卒業研究 エネルギー 変換工学II 流体エネルギー 変換工学
	専門科目	創造工学入門 工業力学 機械設計 機械力学 流体工学 機械熱力学 材料力学 機械数学基礎 実用英語基礎I 機械工作実習I 機械数学応用	ベクトル解析学 機械設計 機械力学 実用英語基礎II 機械熱力学 機械熱力学 材料力学 機械数学基礎 実用英語基礎I 機械工作実習I 機械数学応用	科学技術英語 機械システム制御 機械エネルギー工学実験 数値計算法 流体エネルギー工学 熱エネルギー工学 海洋エネルギー工学I 工学者の倫理 機械システム工学実験	卒業研究 エネルギー 変換工学II 流体エネルギー 変換工学

授業紹介

現代制御



ロボットなどに代表される現代のより複雑な機械システムの制御に用いる現代制御理論において重要となる、状態空間表現による制御法について学びます。

機械設計



機械設計における強度設計の基礎知識や生産設計との関連事項について学び、さらにそれをどのようにに利用するのか、その基礎概念を修得します。

固体力学



さまざまな機械の設計や性能評価において不可欠な、固体材料の変形挙動を理解するための力学を修得すると共に、その具体的な活用方法も学びます。



詳細情報はこちら



未来の社会基盤を支える 電気エネルギー工学

電気エネルギー工学コースでは、電磁気学、電気回路、電子回路などの電気電子工学の基礎的な専門知識と電気エネルギーの発生、変換、利用などについて学修し、幅広い教養とソフトウェアにも強い電気技術者として、工業・医療・農業などさまざまな分野で活躍できる人材を育成します。それらの基礎的な知識と技術を修得するために、数学と物理の理解力と応用力が必要となります。

また、電気エネルギー工学実験を通して、PDCA (Plan→Do→Check→Action) サイクルの実践的な能力を修得し、チーム作業や問題解決学習を行うことにより、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力を養成します。

主な進路

九州電力、戸上電機製作所、東京エレクトロン、日本電気、エネルギー関連企業、電気電子関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	●理工リテラシーS1	●理工リテラシーS2 ●サブフィールドPBL	●理工リテラシーS3 ●地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	●微分積分学Ia/Ib ●線形代数学Ia/Ib ●物理学概説	●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI		
	専門科目	●微分積分学IIa/IIb ●線形代数学IIa/IIb ●物理学演習 ●化学演習 ●基礎電気回路 ●基礎電磁気学 ●建設力学基礎 ●空間設計基礎 ●基礎化学A/B ●基礎力学	●現代物理学 ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●応用数理学 ●データサイエンス入門 ●知能情報システム工学入門 ●情報ネットワーク工学入門 ●機械システム工学概論 ●機械エネルギー工学概論	●微分方程式 ●プログラミング論 ●電子物性論 ●電気回路I及び演習 ●工学系電磁気学I及び演習 ●電気エネルギー変換工学 ●電気設計学 ●分布定数回路 ●応用電子回路 ●オプトエレクトロニクス ●エネルギーシステム工学	●卒業研究
	専門科目		●複素関数論 ●電子材料学 ●電子計測	●電気機器学 ●技術者倫理 ●技術英語 ●応用電気エネルギー工学実験 ●電気機械エネルギー変換工学 ●電気法規及び電力管理 ●環境電気工学 ●プラズマエレクトロニクス ●マイクロ波工学 ●電気電子工学インターンシップ	

授業紹介

応用電子回路



電子回路に関する知識を深め、トランジスタを使った回路について学習し、代表的な電子回路の動作原理や設計方法を学びます。

エネルギーシステム工学



平衡三相交流理論、発電、送電線路・配電線路の線路定数と電気的特性、受電端での電力円線図の描き方などについて講義と演習で理解を深めます。

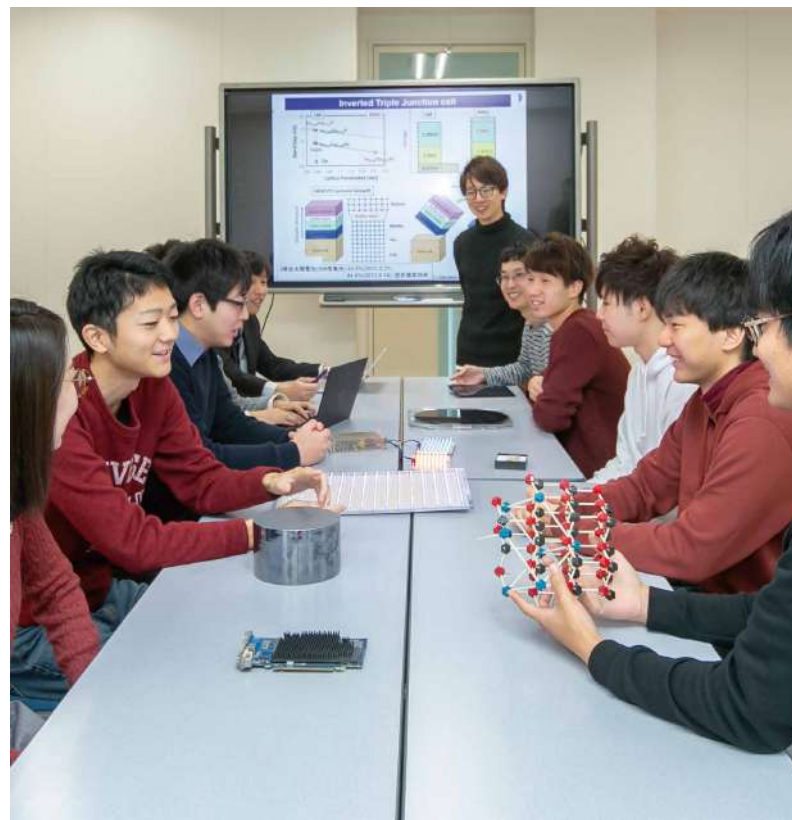
プラズマエレクトロニクス



スマートフォンなどに入っているLSI作製にプラズマが利用されています。プラズマの基礎的な性質、プラズマの発生方法および応用技術について学びます。



詳細情報はこちら



未来の快適な社会を手にするための 電子デバイス工学

電子デバイス工学コースでは、電磁気学、電気回路、電子回路などの電気電子工学の基礎的な専門知識と半導体の物性、電子デバイスの原理、電子工学への応用などについて学修し、幅広い教養とソフトウェアにも強いハードウェア技術者として、エレクトロニクスや情報通信の分野で活躍できる人材を育成します。

それらの基礎的な知識と技術を修得するために、数学と物理の理解力と応用力が必要となります。

また、電子デバイス工学実験を通して、PDCA (Plan→Do→Check→Action) サイクルの実践的な能力を修得し、チーム作業や問題解決学習を行うことにより、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力を養成します。

主な進路

九州電力、戸上電機製作所、東京エレクトロン、日本電気、情報通信関連企業、電気電子関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	●理工リテラシーS1	●理工リテラシーS2 ●サブフィールドPBL	●理工リテラシーS3 ●地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	●微分積分学Ia/Ib ●線形代数学Ia/Ib ●物理学概説	●化学概説 ●生物学概説 ●データサイエンスI		
	専門科目	●微分積分学IIa/IIb ●線形代数学IIa/IIb ●物理学演習 ●化学演習 ●基礎電気回路 ●基礎電磁気学 ●建設力学基礎 ●空間設計基礎 ●基礎化学A/B ●基礎力学	●現代物理学 ●コンピュータプログラミング ●データサイエンスII ●応用数理学 ●データサイエンス入門 ●知能情報システム工学入門 ●情報ネットワーク工学入門 ●機械システム工学概論 ●機械エネルギー工学概論	●電子物性論 ●微分方程式 ●プログラミング論 ●電気回路I及び演習 ●工学系電磁気学I及び演習 ●電気電子工学共通実験I ●電気回路II及び演習 ●工学系電磁気学II及び演習 ●半導体デバイス工学 ●基礎電子回路	●卒業研究
	専門科目		●電気電子工学共通実験II ●情報通信工学 ●複素関数論 ●電気電子材料学 ●電子計測	●論理回路 ●応用電子回路 ●電気回路III及び演習 ●アナログ回路設計 ●電子デバイス工学実験 ●技術者倫理 ●技術英語 ●応用電子デバイス工学実験 ●信号解析論 ●オプトエレクトロニクス	●パワーエレクトロニクス ●分布定数回路 ●LSI回路設計 ●集積回路デバイス工学 ●プラズマエレクトロニクス ●マイクロ波工学 ●電気電子工学インターンシップ

授業紹介

オプトエレクトロニクス



光デバイスで使用される半導体の光物性の基礎を学んだ後、半導体による発光・受光の基本原理、各種光デバイスの構造、物性について学びます。

パワーエレクトロニクス



パワーエレクトロニクスの基礎技術となるインバータ等の電力変換回路の原理を講義。また、研究開発の最前線についても理解を深めます。

LSI回路設計



パルス波形操作回路と発生回路の原理および動作、ダイオード、トランジスタ等を用いた基本ゲート回路と組み合わせ論理回路を理解します。



詳細情報はこちら



これからの安全・安心で快適な 都市の基盤づくりを学びませんか？

都市基盤工学コースでは、安全・安心で豊かな地域社会の構築に貢献できる技術者の養成を目指します。

そのために必要な数理的能力やコミュニケーション能力のほか、建設構造学、建設地盤工学、環境システム工学、および都市・社会システム学などの都市基盤工学分野の専門知識を体系的に学びます。

また、人口減少・少子高齢化の状況下における持続社会の実現、気候変動等による災害外力の増大への対策、社会基盤施設の老朽化とその維持管理、環境に配慮した社会づくりなど、現代社会が直面する課題を都市基盤工学が有する専門技術によって解決できる能力を育成するための教育研究を行います。

主な進路

三井住友建設(株)、前田建設工業(株)、中央コンサルタンツ(株)、西日本旅客鉄道(株)などのゼネコン(土木施工)・総合建設コンサルタント・土木工学関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	理工リテラシーS1	理工リテラシーS2 サブフィードPBL	理工リテラシーS3 地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	微分積分学Ia/Ib 線形代数学Ia/Ib 物理学概説	化学概説 生物学概説 データサイエンスI		
	専門科目	微分積分学IIa/IIb 線形代数学IIa/IIb 物理学演習 化学演習 基礎電気回路 基礎電磁気学 建設力学基礎 空間設計基礎 基礎化学A/B 基礎力学	現代物理学 コンピュータプログラミング データサイエンスII 応用数理学 データサイエンス入門 知能情報システム工学入門 情報ネットワーク工学入門 機械システム工学概論 機械エネルギー工学概論		
	専門科目	建設材料学 工業数学I 構造力学演習I 地盤工学I 地盤工学II 水理学I 都市計画 測量学 技術者倫理 現代建築とデザイン 建築環境工学I 基礎設計製図演習	構造力学演習II 地盤工学II 水理学II 水環境システム工学 鉄筋コンクリート工学 建設生産システム分析 廃棄物資源循環工学 居住環境計画 建築空間とA 建設技術総合演習 建築都市デザイン演習I	都市基盤工学実験 工業数学II 鉄筋コンクリート構造設計 地盤環境学 構造・材料実験演習 環境衛生工学 鉄骨構造学 都市解析演習 建設プロジェクト演習 地域・建築保全再生学 建築法制度とデザイン	卒業研究

授業紹介

都市基盤工学実験



水環境系や地盤系の実験により流れや水質の計測、土質定数の特性把握を行い、講義だけでは理解しにくい都市基盤工学の基礎知識を学びます。

都市基盤工学ユニット演習



都市基盤工学関連に必要な知識と分析能力を身に付けるため、構造系、地盤系、水環境系、都市・環境系より分野を選択し実際の調査・設計への適用を学びます。

構造力学演習



土木・建築技術者にとって必要不可欠な構造力学の知識と運用能力を身に付けるため、講義と演習の反復によって基礎の基礎から徹底的に鍛え上げます。



詳細情報はこちら



地域の気候・風土・歴史・文化をふまえて、 建築と都市の環境をデザインする

建築環境デザインコースでは、建築およびその周辺環境のあり方を創造的に提示することで社会の広い分野で活躍できる人材の養成を目指します。

そのための基礎学力の向上とコミュニケーション能力、美的感性を養うと同時に、建築デザイン学・建築環境工学などの建築環境デザイン分野の専門知識について体系的に学びます。

また、超人口減少社会などに伴って需要が増えつつある空き家・空き地の利活用、都市空間の改善のほか、歴史的環境や自然環境の再生、気候変動に対する環境保全・防災などの現代社会の課題に対応した建築や都市のあり方について理解を深めるとともに、持続可能な地域再生につながる建築都市空間の計画設計に関する教育研究を行います。

主な進路

(株)竹中工務店、松尾建設(株)、大和ハウス工業(株)、NTTファシリティーズ九州などの建築設計事務所・ゼネコン(建築施工)・ハウスメーカー・建築設備関連企業、公務員、大学院進学など

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	基礎科目	大学入門科目			
	専門科目	共通基礎科目「英語」			
	専門科目	共通基礎科目「情報リテラシー」			
	専門科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	基礎科目	理工リテラシーS1	理工リテラシーS2 サブフィードPBL	理工リテラシーS3 地方創生インターンシップS、L	
	専門科目	微分積分学Ia/Ib 線形代数学Ia/Ib 物理学概説	化学概説 生物学概説 データサイエンスI		
	専門科目	微分積分学IIa/IIb 線形代数学IIa/IIb 物理学演習 化学演習 基礎電気回路 基礎電磁気学 建設力学基礎 空間設計基礎 基礎化学A/B 基礎力学	現代物理学 コンピュータプログラミング データサイエンスII 応用数理学 データサイエンス入門 知能情報システム工学入門 情報ネットワーク工学入門 機械システム工学概論 機械エネルギー工学概論		
	専門科目	基礎設計製図演習 現代建築とデザイン 建築環境工学I 構造力学演習I 建設材料学 都市計画 測量学 技術者倫理 現代建築とデザイン 建築環境工学I 工業数学I	建築都市デザイン演習I 居住環境計画 建築空間とA 建築環境工学II 鉄筋コンクリート工学 建設生産システム分析 建築環境工学演習I 構造力学演習II 廃棄物資源循環工学 建設技術総合演習	地域・建築保全再生学 建築都市デザイン演習II 地域施設計画 建築空間とB 建築環境工学演習II 構造・材料実験演習 工業数学II 鉄筋コンクリート構造設計 地盤工学II 都市解析演習	環境衛生工学 環境生態工学 都市工学インターンシップ 都市基盤工学ユニット演習 建築環境デザインユニット演習 構造解析学 地盤工学 建築デザイン手法 都市防災工学 建設プロジェクト演習

授業紹介

建築環境デザインユニット演習



建築都市空間の計画・デザイン能力を高めるために、実在する敷地を対象地とし、周辺環境も含めた建築設計を実践的に学びます。

都市解析演習



地理情報システム(GIS)の基本操作と各種地理情報の検索・収集について学び、総合課題でさまざまな都市解析を行って学びを深めます。

建築環境工学演習II



快適な空間を維持するために必要な空調設備を中心に、給排水衛生設備、建築電気設備等の建築設備設計の実務に関する基礎的事項を学びます。

暮らしを豊かにする

地域創生の

チカラを身につける。

Faculty of Agriculture

農学部

生物資源科学科

- ▶ 生物科学コース
- ▶ 食資源環境科学コース
- ▶ 生命機能科学コース
- ▶ 国際・地域マネジメントコース

生物科学コース
築山 実緒 福岡県 城南高等学校出身

〈学部の特徴〉

21世紀は、人類が大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へと大転換する時代です。「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」等どれをとっても、今ほど人類がその重要性を強く意識した時代はないでしょう。そして、これらの課題こそ農学が得意とするところであり、時代は農学の発展を必要としています。農学は、理系から文系にわたる分野を含む、基礎から応用に及ぶ総合科学です。農学部には、「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」を対象とするさまざまな教育研究分野が揃っています。本学部だけでミニ総合大学といっても過言ではありません。入学すれば皆さんの希望する分野がきっと見つかるでしょう。

■ 教育目的

農学部では、農学および関連する学問領域において、多様な社会的要請に応える深い専門性と幅広い素養を身に付け、国内外での農業および関連産業の発展に貢献する人材を養成することを目的とします。

■ 在学生インタビュー



学ぶことの喜びと感動を知って成長。 今、将来のために力をつけています。

高校の時から得意だった生物学をより専門的に学びたいと思い、農学部に進みました。中でも食品や製薬関係に興味があったことから、生命機能科学コースを選択しました。特に好きな授業は分子生物学です。高校の時より内容が濃くて難しいですが、理解できた時の喜びや、今まで知らなかったことを詳しく知れた時の感動が大きく、夢中になります。実験も一人ではなく複数で協力しながらの研究なので、和気あいあいとした雰囲気を取り組んでいます。将来の進みたい道はまだ明確になっていませんが、やりたいことが見つかった時に問題なく進むためにも、幅広い知識を身につけたいと考えています。

生命機能科学コース
永木 美翔 長崎県 佐世保西高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



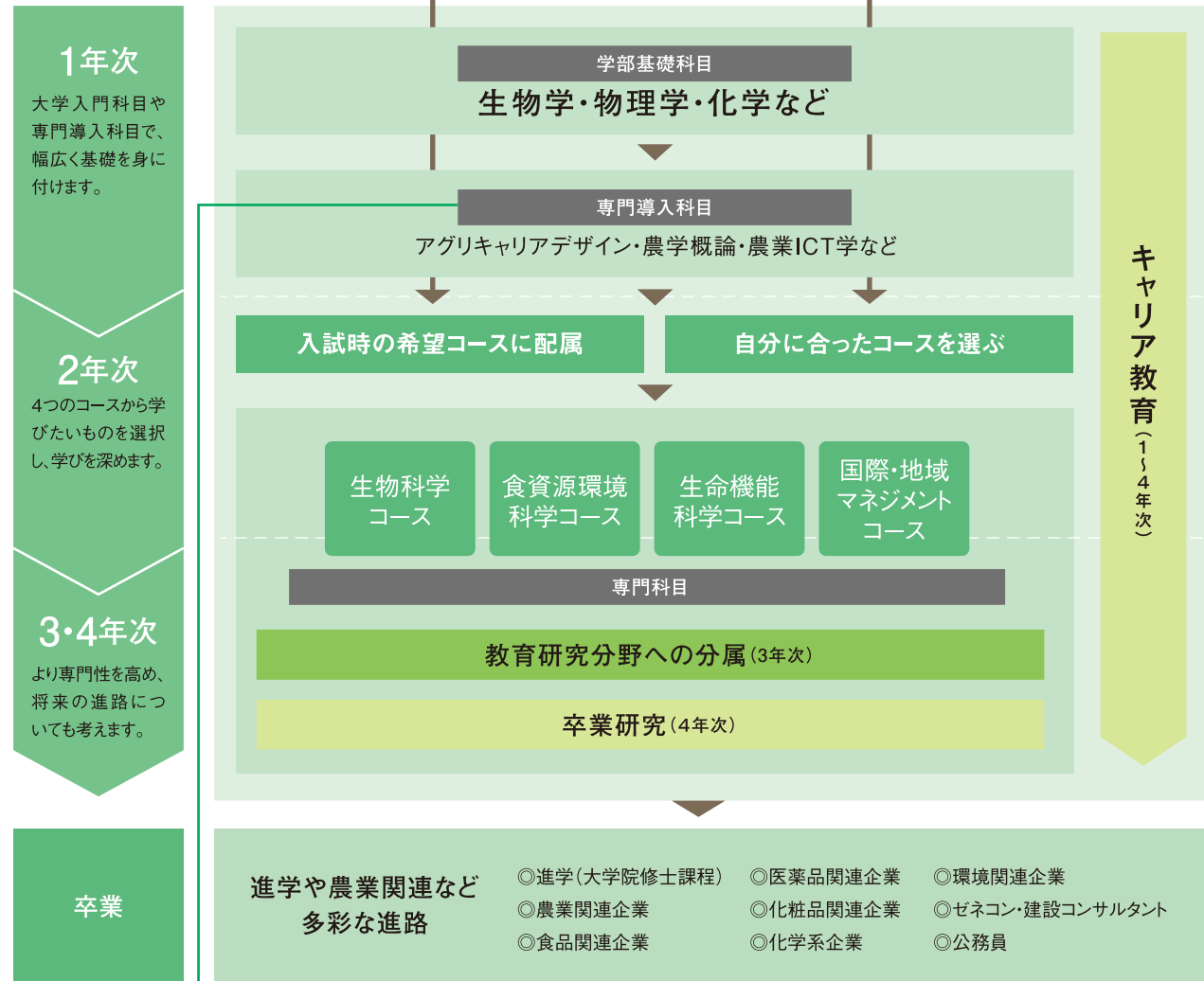
充実の設備で実践学習 体験し、学び、身につける

01 1年次に各専門科目の基礎を学びながら 自分の希望コースをじっくり選択

農学部には「食料」や「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」など、それぞれ特色が異なるさまざまな研究分野があります。そこで、まず1年次に農学の基礎科目である生物学、物理学、化学を必修とし、深い専門性を身に付ける素地を構築。専門導入科目で農学に関する基礎知識を幅広く十分に修得したうえで、2年次の専門コース選択へと進みます。



[4年間の学び]



KEY POINT

専門導入科目

1年次の後学期から始まるカリキュラム。前学期で基礎を十分に修得したうえで、各専門科目の導入部分に触れていきます。2年次から始まる専門コースの教育に必要な幅広い素養を身に付けるとともに、各コースでどのようなことが学べるのかをあらかじめ知ること、コース選択の際に確かなマッチングが行えるようになります。

02 国際社会でも広く活躍できる人材を育成



アジア・フィールドワーク

地域社会における人々の生活・生業・環境・健康問題をグローバルな視野で考察する基礎力を養うため、アジア各国の農山漁村でフィールドワークを行います。現場での調査活動や現地との学生らとのディスカッションなどを通じて、持続可能な社会のあり方について考えます。



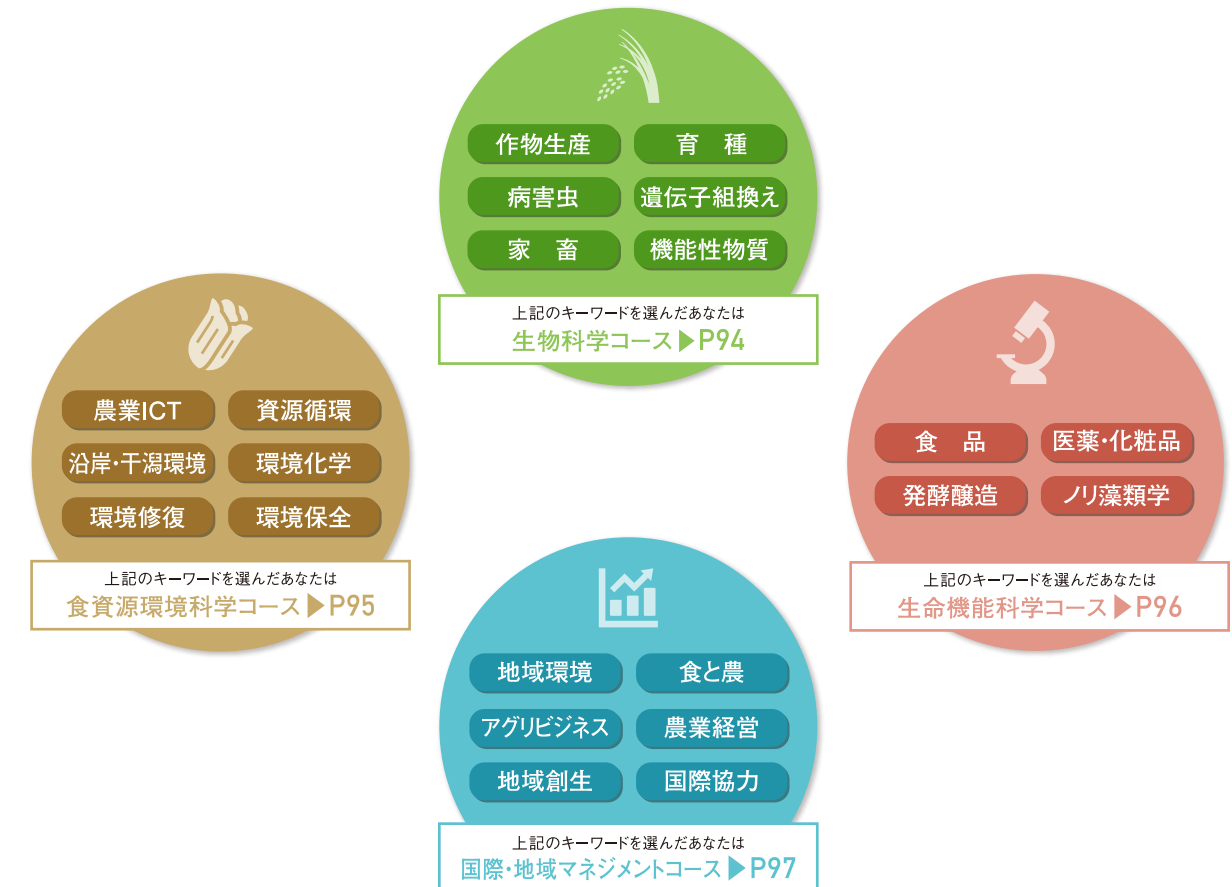
国際・地域インターンシップ

外国語でのコミュニケーション能力の強化と、地域社会の人々との協働に重点を置いた国内外でのインターンシップを実施します。地域のさまざまな企業や団体、開発の現場で通用する応用力と実践力を身に付けます。

KEYWORD SEARCH

気になるキーワードでぴったりの学びを見つけよう!

佐賀大学農学部で学べるさまざまなキーワードの中から気になるものを探して、あなたにぴったりの学びに関連するコースを見つけてください。

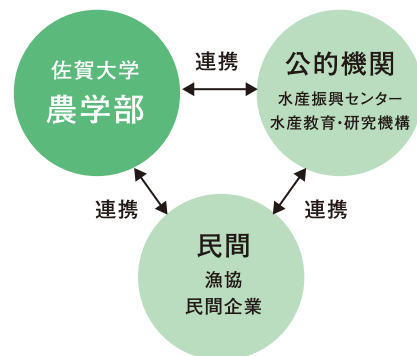


03 佐賀県を代表する「ノリ」「大豆」や「米」を研究する地域特化型農水産研究

佐賀県域の農水圏生物生産や利用技術等をより高度にしていくための試みが、地域特化型農水産研究開発です。さまざまな問題を抱える地域の農・水産業の課題解決・発展を図ることを目的としています。佐賀県の主力農産物のひとつである米や大豆についての研究を進め、佐賀大学発の農産物ブランド化戦略を行っているほか、水産学では水産物の高品質・安定生産を目指して、ノリや二枚貝等の遺伝子解析や代謝解析を実施。佐賀県のノリを中心とした水産業を振興するため、ノリ研究に特化した人材の育成・輩出も行っています。佐賀県が誇る農水産物をさまざまな角度から研究することで、地域の発展に寄与します。



〔ノリ基盤研究を県内で完結する体制〕



04 「米」や「大豆」の品種改良の取り組み 自分たちでオリジナル品種の開発も

多様化する消費者ニーズに対応するために、米や大豆などのオリジナル品種の育成を目指して、学生自ら育種技術の開発や栽培技術の開発に取り組みます。附属アグリ創生教育研究センターで、実際にフィールド研究や遺伝子解析を応用した先端的な研究を行うことで、実践的な力も身に付けることができます。

農学部開発のオリジナル品種・商品

計画・実行・評価・改善を 繰り返し育てる「オリジナルダイズ」

遺伝資源を活用した画期的品種の育成を目指し、機能性ダイズ品種の開発に着手。栽培試験やデータ解析、植物工場におけるコストと生産物品質の検証、その後さらに改善を繰り返して、独自性が高い高付加価値なブランド品種育成に取り組んでいます。



佐賀大学ブランドとして 親しまれている清酒「悠々知酔」

毎年、地元の酒造会社と協力して行う佐賀大学ブランドの清酒。原料の米選びから酒造会社との打ち合わせまで農学部の生徒が主体となって行います。「The SAGA認定酒」として一般の方にも販売されており、毎年多くの人々から好評をいただいています。



「悠々知酔」の企画から販売までのプロセス

1 企画



テーマを話し合いで決定

これまでの研究成果を取り入れて、どのような酒を造るのか、そのためにはどのような戦略を練るべきかを、学生主体で話し合います。

2

醸造(造り)



酒造会社に協力を仰ぎ、共同作業

酒造メーカーにアポイントを取り、仕込みなどの打ち合わせ。スケジュールも細かく決めていきます。

3

製品化・販売



ようやく完成後 一般の方にも販売

完成後は、佐賀大学生生活協同組合のほか、一般の方にも手に取ってもらえるよう佐賀市内の酒販店で販売。

05 広いフィールドから 最新鋭の植物工場まで完備

土の感触を確かめ、動物とじかに触れ合うことができる「附属アグリ創生教育研究センター」をはじめ、2019年にはIoTを駆使した先進農業の研究開発に取り組める最新鋭の太陽光型植物工場を本庄キャンパスに開設。農業とは何か、ということに実際に取り組みながら触れていくことで、農業の未来を担うための実力を養います。

附属 アグリ創生教育研究センター / 太陽光型植物工場



アグリ創生教育研究センター

圃場を利用して作物や果樹の栽培研究を実践的に学習。

広いフィールドを使っの農業学習のほか、食品加工などのプログラムにも取り組みます。



アグリ創生教育研究センター

JCCと連携し、農産物に含まれる機能性成分を研究。

ジャパンコスメティックセンター(JCC)と共に、化粧品素材としての成分研究を進めています。



太陽光型植物工場

最新の施設生産技術を学ぶ植物工場。

農業新時代に対応するために開設された太陽光型植物工場。先端農業に触れられる実習施設です。

■ 教員紹介 (アグリ創生教育研究センター)

後藤 文之 教授
施設園芸学

川口 真一 准教授
有機化学

上埜 喜八 准教授
作物生産学

川添 嘉徳 准教授
ケミカルバイオロジー

福田 伸二 准教授
アグリ資源開発学

松本 雄一 講師
機能性植物資源学

江原 史雄 准教授
動物行動管理学

■ 施設紹介



複合環境制御室

温室内の環境要因(温度、湿度、二酸化炭素、光量、水量、肥料)をコントロールしながら、植物の生育に最適な環境条件を解析します。



藻類培養用恒温室

有明海を代表する食材海苔(スサビノリ)・植物プランクトンなどの藻類を培養する恒温室です。ノリの新品種開発や藻類の機能などを解析するための培養を行っています。



ガラス温室

ミカン亜科植物やダイズなどの有用遺伝資源を保存するためのガラス温室です。これらの遺伝資源を活用し、次世代の新品種育成や新しい栽培技術の開発を行います。



地域社会開発学演習室

各自のフィールドワークの結果をそれぞれのゼミで発表し、討論することによって議論を深めるため、演習室では学部生や院生による活発なゼミが行われています。



株式会社海の中道 海洋生態科学館
マリンワールド海の中道 勤務
明石 夏澄さん
応用生物科学科 2017年3月卒業

〔企業内容〕
1989年に開設した福岡市東区にある水族館。日本初のダイバーショーを開催するなど、ファミリーが楽しめるイベントも豊富。

フィールドワークなど大学での経験が 今の仕事に役立っています。

大学時代で特に印象に残っているのは、ほぼ毎日過ごした研究室での日々です。月に1回はフィールドに出かけて、データを回収したり調査したりするのは楽しくもきつくもあり、やりがいがありました。その時間を過ごすことで、昔から考えていた「飼育員さんになる」「水族館で働きたい」という気持ちがさらに強くなったと思います。長年の思いが叶って今は地元の水族館・マリンワールド海の中道の飼育員として、大水槽、ウミガメ、クラゲ、深海生物、淡水魚を担当しています。餌やりや健康管理のほか、マイクを持って解説したり、フィールドで採集したりと、仕事内容はさまざま。覚えること・やることがたくさんあり、潜水士の資格も取得しました。大学時代に淡水魚を研究していたことが、今になって生き物の飼育や保全に非常に役立っています。将来は、当館の淡水魚展示の魅力度をもっとアップさせ、多くの人に見てもらいたいです。





詳細情報はこちら



生物資源を活用し、 新たな農産物・品種を開発

地域の特色ある生物資源を活用した高付加価値の新規農産物や新品種の開発、効率的で収益性の高い農産物生産技術の開発、また多様な生物と環境との関わりや、新たな機能性を持つ生物素材の産業利用に関する教育研究を行っています。食用植物や園芸・薬用植物、植物病原菌、共生微生物、ウイルス、昆虫、線虫や哺乳類など多様な生物を取り扱い、生物資源の開発と応用に関する幅広い学問分野をカバーしています。フィールドワークや豊富な実験が組み込まれたカリキュラムで学ぶことにより、遺伝子や細胞レベルから、個体レベル、さらには生物間相互作用を基本とする生態系レベルまで、幅広い内容の専門知識と先端技術を修得することができます。

主な進路

〈就職先〉

公務員(福岡労働局、九州経済産業局、佐賀県庁、福岡県庁、熊本県庁、兵庫県庁、鹿児島市役所)、あじかん、(株)えひめ飲料、ジェイエイ北九州、日本香堂、いなば食品、九州シー・アイ・シー、(独)農研機構、第一三共ケミカルファーマ、新日本科学、久原本家 他

〈進学先〉

大学院進学(佐賀大学大学院など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目		大学入門科目				
		共通基礎科目「英語」				
		共通基礎科目「情報リテラシー」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学			
	専門導入科目	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学		
	専門科目		●生物科学概論I-II ●応用動物昆虫学 ●植物生理学 ●遺伝学 ●園芸学 ●生物学実験 ●フィールド科学基礎実習I-II ●群集生態学 ●昆虫学 ●線虫学	●食作物学 ●植物育種学 ●植物病理学 ●畜産学 ●行動生態学 ●植物栄養学 ●熱帯作物学 ●蔬菜花卉園芸学 ●応用生物学実験 ●応用化学実験 など	●植物代謝解析学実験I-II ●果樹園芸学実験I-II ●熱帯作物改良学実験I-II ●蔬菜花卉園芸学実験I-II ●植物分子育種学実験I-II ●動物資源開発学実験I-II ●植物病理学実験I-II ●線虫学実験I-II ●昆虫学実験I-II ●生態学実験I-II	●作物学実験I-II ●遺伝資源フィールド科学実験I-II ●科学英語 ●食品化学 ●動物飼養管理学 ●農業気象学 ●農業ビジネスマネジメント ●分子遺伝学 ●有機化学 ●微生物学 など
						●卒業研究 ●生物科学演習I-II

授業紹介

応用動物昆虫学



昆虫、線虫、ダニなどの発育と個体数を制御して被害を軽減する方法を理解するための基礎として、これらの動物の生理・生態について学びます。

果樹園芸学

果樹を含む園芸作物全般の生理現象について講義し、果樹の品種、分類、遺伝・育種、栽培生理、健康機能性成分について理解を深めます。

動物繁殖生理学

生命の連続性を理解するために哺乳動物における生殖現象の基礎を学び、当該分野における開発された技術の社会での活用について理解します。

教員紹介

一色 司郎 教授 蔬菜花卉園芸学	石丸 幹二 教授 植物代謝解析学	草場 基章 教授 植物病理学	古藤田 信博 教授 果樹園芸学
後藤 文之 教授 施設園芸学	鈴木 章弘 教授 作物生態生理学	鄭 紹輝 教授 熱帯作物改良学	徳田 誠 教授 システム生態学
吉賀 豊司 教授 線虫学	上埜 喜八 准教授 作物生理学	江原 史雄 准教授 動物行動管理学	辻田 有紀 准教授 蔬菜花卉園芸学
西田 翔 准教授 植物栄養学	福田 伸二 准教授 アグリ資源開発学	藤田 大輔 准教授 熱帯作物改良学	山中 賢一 准教授 動物資源開発学
渡邊 啓史 准教授 植物遺伝育種学	松本 雄一 講師 機能性植物資源学	アイマンシルガイド 助教 システム生態学	下村 彩 助教 作物生態生理学



詳細情報はこちら



地球規模の課題に向き合い、 解決へと導く実践力を養う

環境保全・エネルギー・農業生産システムに関する先端技術の開発と利用は、地球規模に値する重大かつ重要な課題です。食資源環境科学コースは、これらの課題を解決するための教育、研究を行うことで、地域社会からの需要に応える農業の技術革新を先導し、地域の農業基盤を根底から支えることを目標としています。そのために農業機械・植物工場・コンピュータや通信等のICT技術や農業工学、また食品研究から土壌や環境水の分析化学等、さまざまな農業生産に関する先端技術を幅広く学ぶ機会を提供し、地域の農業現場をしっかりとリードする実践力を確実に養成していきます。なお、このコースは農学部における高等学校理科教員免許の主コースとなっています。

主な進路

〈就職先〉

公務員(九州農政局、佐賀県庁、長崎県庁、福岡県庁、山口県庁、鳥栖市役所、教諭(中学・高校))、民間((株)三祐コンサルティング、サンスイコンサルタント(株)、(株)竹中土木、井関農機(株)、(株)OPTIM、三和酒類(株))

〈進学先〉

大学院進学(佐賀大学大学院、九州大学大学院など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目		大学入門科目				
		共通基礎科目「英語」				
		共通基礎科目「情報リテラシー」				
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目				
専門教育科目	学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学			
	専門導入科目	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学		
	専門科目	●環境基礎解析学I・II ●応用力学 ●応用力学演習 ●生産情報処理学 ●農業水理学 ●農業気象学 ●フィールド科学基礎実習I・II ●栽培環境制御学 ●生化学 ●遺伝学	●土壌環境科学 ●地盤環境学I ●環境水理学I ●環境水理学演習I ●農業生産機械学 ●農産食品流通貯蔵学 ●栄養化学 ●食品化学 ●植物栄養学	●英語講義 ●環境水理学II ●環境水理学演習II ●食資源物質工学 ●測地学I・II ●測地学演習I・II ●地盤環境学II ●農村環境計画学 ●設計・製図学 ●実験水気環境学	●生物有機化学 ●昆虫学 ●園芸学 ●地球環境学 ●有機化学 ●分析化学 ●物理化学 ●応用微生物学 ●植物生理学 ●インターンシップ S・L など	●卒業研究 ●食資源環境科学演習 ●農業工学総合演習

授業紹介

農産食品流通貯蔵学



青果物に含まれる栄養成分の種類と性質を知り、その品質維持を図るために必要な選別、洗浄、包装、貯蔵、輸送技術などについて学びます。

干潟環境学

有明海の干潟をフィールドケースに、干潟を取り巻く沿岸域の水環境や干潟の生態系と物質循環について学び、干潟の保全とワイズユースについて理解を深めます。

食資源物質工学

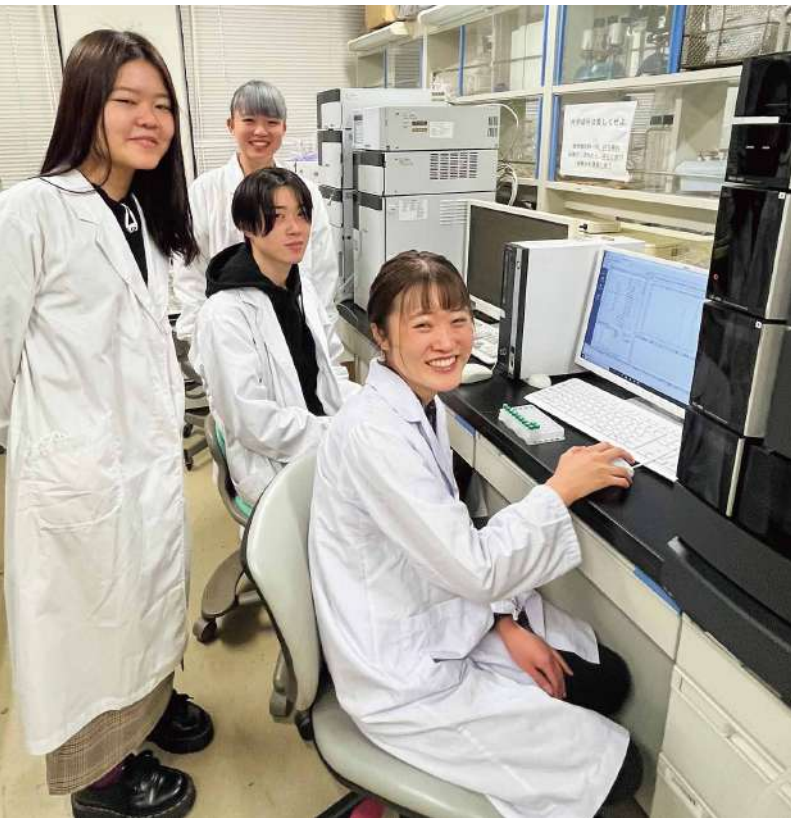
食産業や化粧品産業で扱われるどんな物質が、健康産業にどのようなプロセスで活用されているかを、大学の教養課程で学んだ知識をもとに講義します。

教員紹介

北垣 浩志 教授 食資源情報学	近藤 文義 教授 環境地盤学	田中 宗浩 教授 農業環境・情報工学
弓削 こずえ 教授 灌漑科学	阿南 光政 准教授 水利環境保全学	稲葉 繁樹 准教授 農業(農産)機械学・情報科学
上野 大介 准教授 におい・かおり環境化学	郡山 益実 准教授 浅海干潟環境学	速水 祐一 准教授 沿岸海洋学
宮本 英揮 准教授 地域環境工学・計画学	徳本 家康 准教授 農業環境・情報工学	



詳細情報はこちら



生命科学を理解し、科学的に思考できる人材を育成

生化学や分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらに応用した食品機能の追求と開発、食品の安全性、バイオマス利用について教育と研究を行うコースです。多様な生物の生命現象を分子レベルで解明するとともに、生物資源が持つユニークな機能を開発・利用することを目的に教育と研究を行います。生体における遺伝子発現や物質代謝とそれらの調節機構、食品の生体調節機能・栄養機能・物性や安全性について、基礎から専門に至る積み上げ方式で教育を行います。また、多様な生物の生命現象の解明、バイオテクノロジーを駆使した生物機能の改良と有用物質生産システムの開発、生物資源の生理機能や特性の化学的・栄養生理学的解析に基づく機能性食品の開発、食品の品質評価に関する研究を行っています。これらを通して生命科学、食糧科学について基本的な理解を深め、社会で活躍できる思考力と実践力を有する人材の育成を目指しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員(県庁、農業試験研究センター、市町村役場、教諭(中学・高校))／民間(山崎製パン(株)、東洋水産(株)、(株)不二家、(株)久原本家、キッセイ薬品工業(株)、積水メディカル(株)、アステラスファーマテック(株)など)／教員(大学)／法人団体(JA、化学物質評価機構など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	学部基礎科目	大学入門科目			
		共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	専門導入科目	インターフェース科目			
		●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
		●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
		●物理化学 ●有機化学 ●分析化学 ●生物有機化学 ●生化学 ●酵素化学 ●微生物学 ●食品衛生学 ●栄養化学 ●食品化学	●分子生物学 ●化学実験I・II	●食糧安全学 ●食品工学 ●食品機能化学 ●応用微生物学 ●食糧流通貯蔵学 ●水圏生物学 ●分子細胞生物学 ●生物資源化学 ●遺伝子工学 ●基礎放射線科学	●卒業研究 ●生命機能科学演習II・III ●生物学基礎実験

授業紹介

栄養化学



食品成分の栄養機能性から最近の分子栄養学まで講義し、栄養素がどのように代謝され、どのような役割を果たしているのかの基礎知識を修得します。

化学実験II

食品に含まれる各種成分の分離、分析、定義を行う実験手法、器具の操作方法について学び、科学的な思考を行う能力および観察力を身に付けます。

分子生物学

生命現象に欠かせないタンパク質、核酸(DNA、RNA)の構造と機能、遺伝子の発現、細胞の制御機構について講義し、学びを深めます。

教員紹介

後藤 正利 教授 応用微生物学	小林 元太 教授 応用微生物学	宗 伸明 教授 分析化学
永尾 晃治 教授 食品科学	濱 洋一郎 教授 水圏生命科学	光武 進 教授 応用生物化学
川口 真一 准教授 有機化学	川添 嘉徳 准教授 クミカルバイオロジー	木村 圭 准教授 水圏生産科学
辻田 忠志 准教授 生化学	出村 幹英 特任准教授 生物資源科学	野間 誠司 准教授 食品科学
井上 奈穂 准教授 食品科学	堀谷 正樹 准教授 生体関連化学	関 清彦 講師 応用生物化学
折田 亮 助教 水圏生産科学	本島 浩之 助教 応用生物化学	吉田 和広 助教 水圏生産科学



詳細情報はこちら



地域を知り、体験し、人々と出会い成長する

国際・地域マネジメントコースは、地域の農業と環境に関わるグローバルな知識と確かな理解に基づいて、農林漁業やその関連産業の持続的な成長に貢献できる人材の育成を目的としています。「地域」の問題を考えるには、まずその「地域」のことをよく知ることが大事です。そのため、実際に「地域」を訪問し、自分の目で見学します。学ぶ内容は、自然環境・経済・社会・文化など幅広く、そこで暮らす人々との交流を通じて学ぶことを特に大切にしています。このような考え方から、本コースでは、国内外でのフィールドワークを重視した特徴ある教育プログラムを用意しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員、団体職員(JAなど)、教諭(中学・高校)／民間(アグリビジネス関連企業、金融機関(銀行など)、報道機関(新聞・放送)、農業(農業法人・自営)、NPO・NGO団体)

〈進学先〉

大学院進学(佐賀大学大学院など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	学部基礎科目	大学入門科目			
		共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
専門教育科目	専門導入科目	インターフェース科目			
		●生物学 ●物理学 ●化学	●基礎数学 ●基礎統計学		
		●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学	●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学	●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学	
		●国際・地域マネジメント入門 ●アジア地誌 ●農村地理学 ●農業市場流通学 ●群衆生態学 ●地域再生論 ●地域マネジメント論 ●国営学 ●農業水利学 ●人間開発論	●社会調査実習I・II ●フィールド科学基礎実習I・II ●環境社会学 ●国際地域調査法 ●国際関係学要説 ●裁地環境制御学 ●経済法I ●昆虫学 ●経営管理論 ●農業生産機械学 など	●生態人類学 ●農業ビジネスマネジメント学 ●比較農政学 ●開発経済論 ●農村環境計画学 ●農村と産業演習I・II ●環境と生活演習I・II ●実践語学 ●アジア・フィールドワーク ●民法I・II	●卒業研究I ●アカデミック・プレゼンテーションI・II ●国際・地域インターンシップ ●卒業研究II

授業紹介

国際地域調査法



農業や農村が抱える諸問題に取り組むために必要な調査技法や理論を学び、後期からの授業や卒論で実際のフィールドワークに応用していきます。

農村社会学

地域社会の基礎構造について学び、フィールドワークの際に、その背景となる地域コミュニティの情報を多面的に捉える視点と方法を修得します。

農村と産業演習

農業経営の管理や成長に関わる多岐にわたる課題の中から具体的な問題を設定し、その解決に向け、グループワークによって情報の収集と分析、考察を行います。

教員紹介

藤村 美穂 教授 環境社会学・農村社会学	中井 信介 准教授 文化人類学・地理学
辻 一成 准教授 農業経済学・農業経営学	



大学院

■ 学校教育学研究科 ■ 地域デザイン研究科 ■ 先進健康科学研究科 ■ 医学系研究科
■ 理工学研究科 ■ 農学研究科 ■ 鹿児島大学大学院連合農学研究科

もっと深く、さらに専門的に。 自らの可能性と未来につながる学びを大学院で。

大学院は専門領域でのスペシャリストを養成する課程で、学生が自ら積極的に学び探究する姿勢が求められます。佐賀大学では、学部での学びを深め、さらに発展させるために、設備や専門的な教員を充実させ、しっかりと研究に集中できる環境づくりを行っています。専門領域が好きな学生や学びたい学生には絶好のチャンスであり、また、大学院で培った高度な研究能力や論理的思考力や研究成果は、学生が目指す将来の職業や進路に役立ちます。

「学士」「修士」「博士」の違い

博士 Doctor	3年間	大学院
修士 Master	2年間	大学院
学士 Bachelor	4年間	大学

POINT

専門性の高い 職業に就きやすくなる

特に理系の技術職や研究職には、修士以上の学位が求められる場合があります。文系でもビジネスに密接に関わる経営学や経済学では、専門性を活かす仕事に就くことが可能です。

整った環境で 活動研究に没頭できる

文系理系に関わらず、整った環境や専門性の高い教員のもとで研究に没頭できます。同じ分野に専念する人と交流することで、より専門的な視点や思考を持つきっかけにもなります。

初任給が学部卒より 高い傾向がある

大学院での学びを通して培った専門性や論理的思考力や分析能力などが評価され、職種や業種によっては、学部卒業者より初任給が高く設定されている傾向があります。

理工学研究科と 農学研究科の高い進学率

佐賀大学でも、知識・技術を深めたいと考える学生が毎年大学院に進学しています。特に理工学部で約5割、農学部で約3割の学生が進学し、積極的に研究に取り組んでいます。

学校教育学研究科 [専門職学位課程]

学校教育学研究科は、教育委員会・学校と大学の連携・協働により「学び続ける教師」を育成するため、教員養成教育の改善・充実を図るべく、高度専門職業人養成として教員養成に特化した教職大学院(専門職学位課程)です。「教育実践探究専攻」の中に、授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コースの3つのコースがあります。それぞれのコースは、学力問題、多様な教育ニーズ、地域社会の変貌に応じた新たな学校づくりに対応したものです。現職教員、新規大学卒業者、社会人を対象に、教員としての資質・能力を総合的に高いレベルで育成し、各コースに応じて、特定の資質・能力を高め、地域の学校教育が抱えている課題を解決し、学校変革に貢献できる教員を育成することを目的としています。

先進健康科学研究科 [修士課程]

先進健康科学研究科は、健康科学分野における新時代の産業需要に対応する技術革新と、医療および看護を含む臨床現場での先端技術の総合的応用を目指しています。本研究科は、「先進健康科学専攻」を置いています。「先進健康科学専攻」は、生体医工学コース、健康機能分子科学コース、医科学コースおよび総合看護科学コースの4コースで構成され、他に例を見ない理工医農が有機的に連携する教育研究組織です。そこでは、健康科学領域における実践的な異分野融合体制により、最先端の専門知識と医療技術が幅広く提供され、従来踏み込めなかった未開拓領域における教育研究が可能になっています。その結果、専門分野に特化したプロフェッショナルな研究者に加えて、「橋渡し」機能も担える健康科学系の研究開発マネジメント人材や、幅広い専門知識と先端技術に対応できる新しいタイプの高度医療・看護人材を養成する「先進」性が期待されます。

理工学研究科 [博士前期課程]

「数学コース」「物理学コース」「データサイエンスコース」「知能情報工学コース」「機能材料化学コース」「機械エネルギー工学コース」「機械システム工学コース」「電気電子工学コース」「都市基盤工学コース」「建築環境デザインコース」の10コースで構成され、創造性豊かな高度な人材を養成することをめざしています。専門分野ごとのコース制を採ることで、教育実施体制を柔軟に構築し、教育や研究指導において専門分野間の連携を容易に図ることができる環境を作り、専門分野の枠を超えた内容を自らのキャリアデザインに基づき自主的に学ぶことができます。

農学研究科 [修士課程]

農学研究科は、農学の専門分野における知識と技術を修得し、分野の枠を超えた知識及び考え方を取り入れた、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成することを目的とします。本研究科は、「生物資源科学専攻」を置いています。「生物資源科学専攻」は、生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコースの4コースがあります。

地域デザイン研究科 [修士課程]

地域デザイン研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営の三方向からのアプローチにより、地域創生をリードできる高度な知識と実践的リサーチ能力を持つ職業人の養成を目的としています。「地域デザイン専攻」の中に、芸術デザインコースと地域マネジメントコースの2つのコースを置いています。フィールドデザインは、芸術と経済・経営という異分野を媒介し両者を総合する分野であるため、いずれのコースにも不可欠なものです。なお、本研究科において「フィールドデザイン」とは、従来の自然環境的、あるいは工学的なフィールドデザインではなく、芸術、文化財保護、都市地理学、都市デザインなどの知識とスキルを使って地域にあるさまざまな資源に芸術文化と経済・経営の光をあて、新たな資源の活用方法を見だし、地域の間(フィールド)をデザインしていくものです。

医学系研究科 [博士課程]

社会に応える研究者および高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療の向上に寄与することを目指しています。「博士課程医科学専攻」は、独創的研究活動を遂行できる研究能力と、その基礎となる豊かな学識と豊かな技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

理工学研究科 [博士後期課程]

理学および工学を主体とした融合領域を含む学問領域において、高度な専門的知識と論理的思考力を持ち、社会のグローバル化に対応でき、実践力に富む優れた人材を育成します。博士後期課程には「理工学専攻」があり、数理・情報サイエンスコース、機械・電気エネルギー工学コース、社会基盤・建築デザインコース、バイオ・マテリアルエンジニアリングコースの4コースに分かれます。

鹿児島大学大学院連合農学研究科 [博士課程]

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、佐賀大学の農学研究科、鹿児島大学の農学研究科、同水産学研究科、琉球大学の農学研究科の4つの研究科の修士課程を母体として編成され、これらの研究科の綿密な連携のもとに運営されている新しいスタイルの博士課程大学院です。学生の研究指導は、学生1名について複数の大学から指導教員3名が担当することになっており、この点が連合大学院の大きな特徴と言えます。

キャリアセンターの取り組み



キャリアセンターでは、キャリア教育および学生の皆さんの就職活動を支援するための様々なメニューを、学年や必要に応じて企画・実施しています。公務員・教員採用の対策講座や、面接対策講座（4年次）など実践的な取り組みも多数実施。また、不安や悩みを解消するために、相談員を常時配置して就職相談も行っています。誰でも利用できるので、ぜひ気軽に利用してください。

相談窓口

就職相談員

キャリアコンサルタント、社会保険労務士、教職経験を持った本学OB等を就職相談員として配置し、進路相談や履歴書の添削、面接指導など、就職に関する相談を随時受け付けています。

就職担当教員〔各学部〕

学部によって学生の就職希望もさまざまであることから、各学部に就職担当の教員を配置し、学生の専門性に応じた指導を行っています。



豊富な情報提供

キャリアタスUC

キャリアタスUCは就職活動を強力にサポートするシステムです。企業から大学に寄せられる求人を見ることが出来ます。本システムは学外からアクセスできるだけでなく、新しい求人情報をサイト上で一目で確認できるほか、サイト上でエントリーもできます。また、キャリアセンターのホームページにも学内ガイダンスや合同・個別会社説明会およびインターンシップに関する最新の情報が提供されています。

さまざまな資料の閲覧

企業から送られてきた多くの求人票がファイリングされていますので、いつでもチェックすることができます。また、求人票だけでなく、さまざまな業界に関する資料や書籍、企業セミナーやイベントのお知らせなど、キャリアセンターに来ると、就職活動について何でも知ることができます。



学内実施の会社説明会

学内で実施する会社説明会には、各企業が単独で実施する「個別会社説明会」と複数の企業が合同で実施する「合同会社説明会」があります。学生は学内にいながらにして自分のベースで企業の人事担当者から話を聞くことができます。2021年度は、主にオンラインで開催し、個別会社説明会に50社、合同会社説明会に385社の参加がありました。

就職支援プログラム

学生の志望に応じたさまざまな支援プログラムが実施されています。

民間志望

●キャリアデザイン講座 ●職業適性診断
●SPI対策講座 ●面接指導
●グループディスカッション対策
●インターンシップガイダンスなど

教員志望

●教員試験対策講座
●願書・自己PRの書き方

公務員志望

●公務員セミナー ●公務員就職ガイダンス
●公務員試験対策講座 など

キャリア教育

年間スケジュール

1年生		2年生		3年生			4年生							
4～3月		4～3月		4～8月	9～10月	11～12月	1～2月	3月	4～5月	6～7月	8月	9月	10～12月	1～3月
大学入門科目														
キャリアデザイン科目														
				インターンシップ										
				就職ガイダンスに参加する										
				自己解析を行う										
				業界研究(職種研究)・企業研究を行う										
								エントリーシート提出						
				本格的な就職活動は3年生の3月から。 それまでにインターンシップや 自己分析・企業研究などを行います。				会社説明会に参加する						
								採用試験(筆記試験・面接など)を受ける						
								内内定			内定			

大学入門科目

新入生に必要とされる学習及び生活に関するガイダンスに加えて、卒業生による講演などキャリアデザイン、就職意識の啓発、将来の仕事について考える機会として、正課の必修科目にキャリア教育が組み込まれています。

キャリアデザイン（基本教養科目）

佐賀県内外の企業等で実際に働く社会人のゲスト講師による講演や、グループワークなどを通して、キャリアデザインの必要性やキャリアオーナーシップを涵養するための授業です。

インターンシップ

インターンシップとは「就業体験」とも呼ばれ、学生が企業などで一定期間、仕事をしながら研修することを示します。本学でも各学部の担当教員の協力で受け入れ企業の開拓を行っています。学部によっては、インターンシップが一部単位として認められるところもあります。

SUPPORT

キャリア・アクセラレーションプログラム
実践的プログラムで社会人基礎力を高める

佐賀大学キャリアセンターが2021年度から取り組んでいる、正課外のキャリア教育プログラムです。参加企業から提供された実践的なプログラムに参加し、「語り合う」「一緒に創る」「経験する」といった体験を通して大学生らしいキャンパスライフの機会を提供するとともに、キャリアデザインを加速・促進します。2年間で累計42社7団体により53コースが提供され、のべ274名の学生が参加しました。

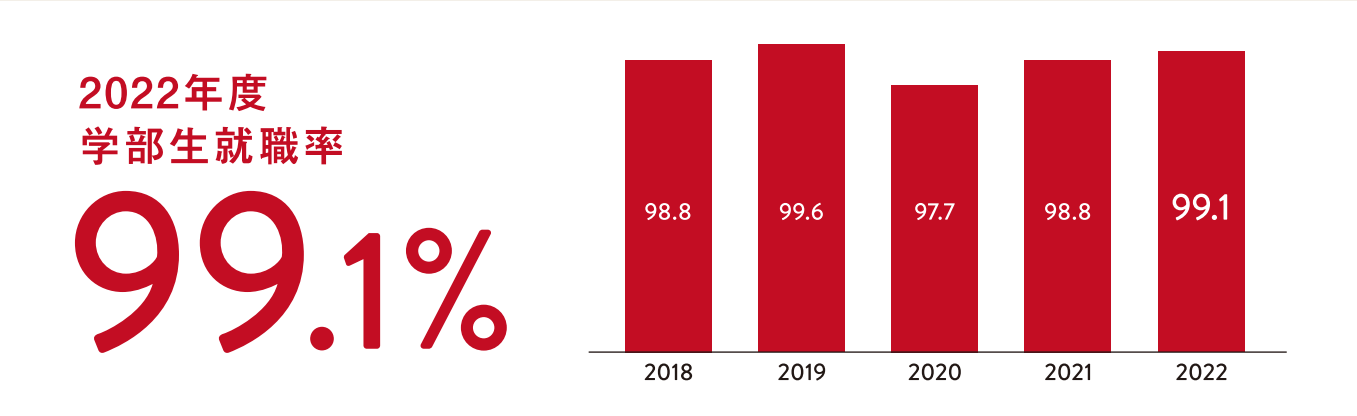
キャリアラジ

「ゆる〜く人生について考えよう」がコンセプト

キャリアセンターの先生が中心となって展開する、佐賀大学オリジナルの動画配信型ラジオです。学生のお悩み相談やイベント情報のほか、企業等へ提出する志望動機や自己PRを記載したエントリーシートの添削、社会人（卒業生や企業の社員）をゲストに迎えたキャリアに関するトークなど、幅広いコンテンツで展開しています。肩ひじを張らず、気軽に視聴できるのが魅力です。



佐賀から全国へ、たくさんの学生たちが
さまざまな分野で活躍しています！



大学(学部)卒業後の進路選択には、企業の就職、公務員や教員の採用試験、大学院への進学、海外留学などがあります。学生の多くが就職を希望する学部や、大学院進学を目指す学生が多い学部など、学部によって様々です。就職に関して言えば毎年、就職希望者のほとんどが就職を決めて全国各地で活躍しています。

■ 近年の学部別就職率

学 部	2018	2019	2020	2021	2022
教育学部	—	100.0	100.0	100.0	100.0
芸術地域デザイン学部	—	98.7	89.8	95.7	92.9
経済学部	97.5	99.2	96.1	97.9	99.6
医学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
理工学部	99.3	100.0	99.2	100.0	100.0
農学部	100.0	100.0	98.2	98.1	100.0

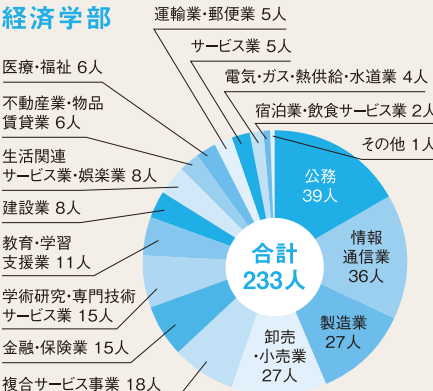
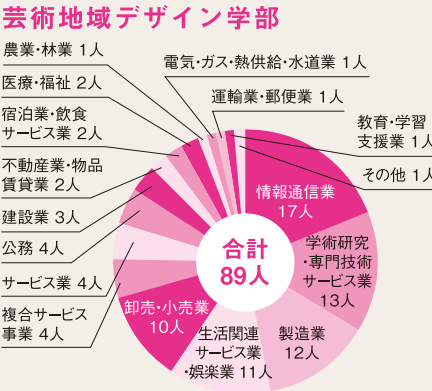
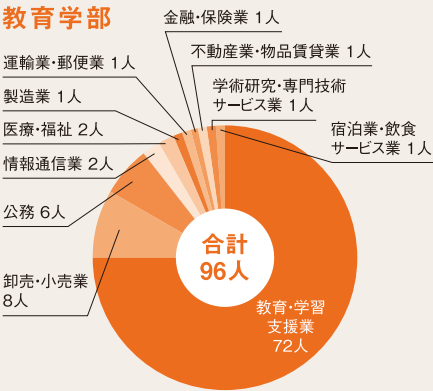
■ 卒業・修了者の進路(2022年度) 学科・課程ごとの卒業・修了者の進路・就職先は、各学科・課程の紹介ページをご覧ください。

学 部	卒業者	就職希望者		進学者	その他
		就職者	未就職者		
教育学部	119	107	0	6	6
芸術地域デザイン学部	114	78	6	14	16
経済学部	256	223	1	2	30
医学部	168	159	0	2	7
理工学部	438	213	0	212	13
農学部	149	94	0	44	11
合計	1244	874	7	280	83

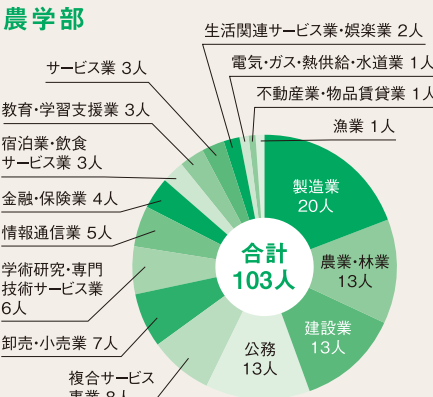
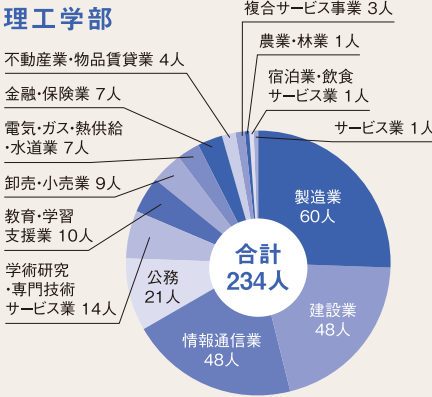
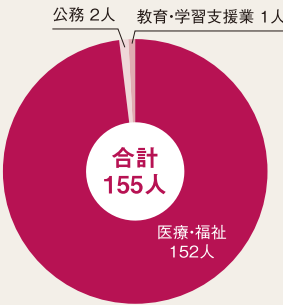
大学院	修了者	就職希望者		進学者	その他
		就職者	未就職者		
学校教育学研究科	20	8	0	0	12
地域デザイン研究科	20	14	0	0	6
医学系研究科(博士)	15	1	0	1	13
理工学研究科(修士)	9	4	0	3	2
理工学研究科(博士前期)	148	139	0	6	3
先進健康科学研究科	55	42	0	4	9
工学系研究科(博士後期)	9	7	0	0	2
農学研究科	39	28	0	6	5
合計	315	243	0	20	52

※「その他」は社会人、帰国した留学生、公務員・教員の再受験希望者、進学準備中の者、専門学校等への入学者、科目等履修生・研究生、家事手伝い・主婦、就職意思がない者(一時的な仕事に就いた者を含む)を計上。
※改組に伴い、修了者数が逓減している研究科については、個人が特定される恐れがあることから就職状況の内訳は公表しておりません。

産業別就職状況(2021年度)

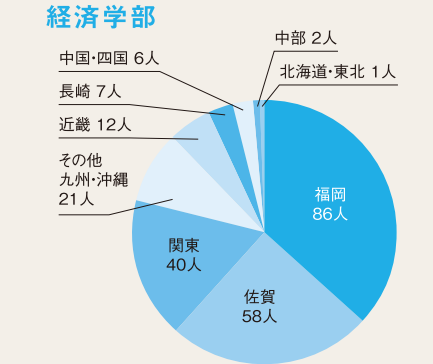
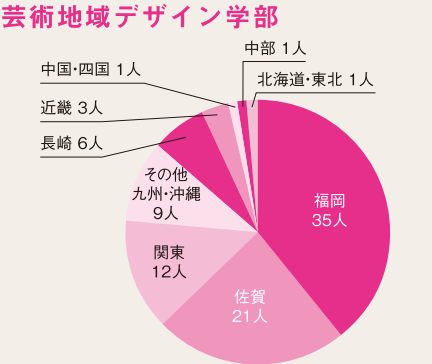
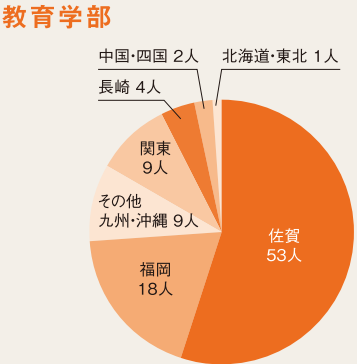


医学部

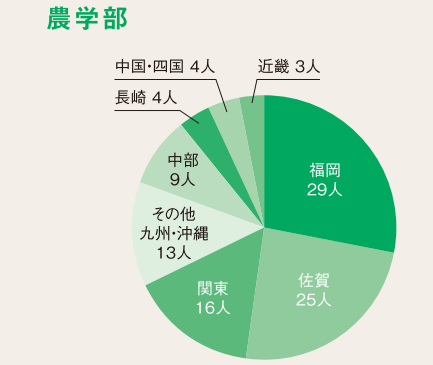
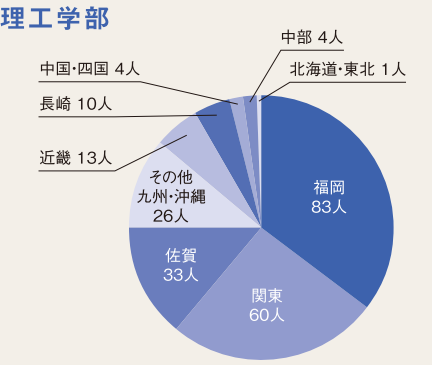
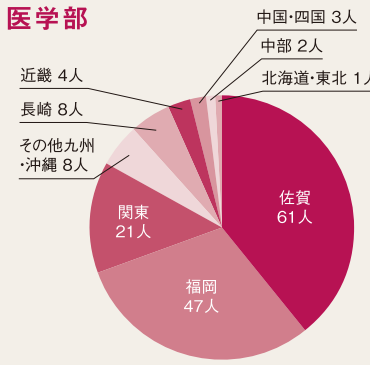


※2022年5月現在の集計結果

地域別就職状況(2021年度)



医学部



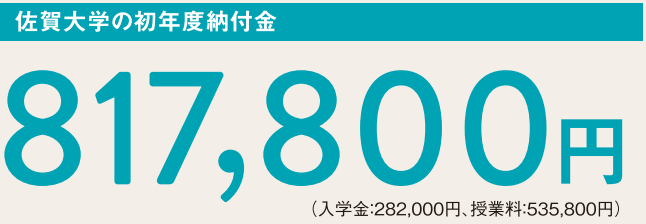
※文化教育学部はグラフを省略、「理工学部」「農学部」は、学部・学科改組前のデータを表記。

大学生活をより充実させるために、まずはお金のことを知しましょう。

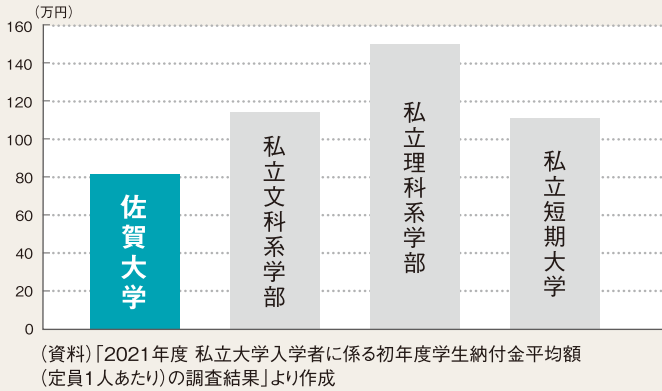
大学に通ううえで、とても大切なお金のこと。授業料免除制度や奨学金制度についてや自宅通学と一人暮らしの違いについてなど、事前に調べておくことは、これからの大学生活をより充実させるためにとても重要です。

● 学費と奨学金制度

学費の初年度納付金はこれだけ違う



国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約37万円、理系で約75万円(医歯系は、約407万円)の開きがあります。



● 入学料・授業料免除制度 本学では、入学料・授業料の免除について、2つの制度があります。

(1) 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除制度

日本人学部生で、日本学生支援機構の給付奨学生として認定を受けている学生は、入学料・授業料について、支援区分毎(第1区分:全額免除、第2区分:3分の2免除、第3区分:3分の1免除)に支援を受けることができます。

(2) 佐賀大学独自の入学料免除／徴収猶予・授業料免除制度

佐賀大学独自の入学料・授業料免除は、原則大学院生を対象とした制度です。入学料徴収猶予に関しては、学部生を含む全学生を対象としています。本制度の申請資格に該当する者を対象として、本人の申請に基づき選考を行い、入学料免除・授業料免除(全額免除、半額免除)又は入学料徴収猶予を行います。

高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除者数

2022年度実績

区 分	入学料免除	授業料免除	
		前 期	後 期
第1区分(全額免除)	88	368	382
第2区分(2/3免除)	52	214	190
第3区分(1/3免除)	32	117	98
計	172	699	670

● 奨学金制度

新しい修学支援制度

住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生に対して、(1)+(2)の支援

- (1) 授業料減額又は免除 54万円(上限額)
- (2) 返済不要の給付型奨学金を支給 約80万円(自宅外通学の場合の上限額)

詳しくは、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」をご確認ください。
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

● 学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)

- ・全員加入(保険料:大学負担、加入手続:大学が一括して行う)
- ・補償の対象(通院・入院・死亡・後遺障害)

①正課中 ②学校行事中 ③キャンパス内にいる間 ④課外活動中 ⑤通学中 ⑥接触感染予防措置をつけた場合(病院で行う臨床実習が対象)

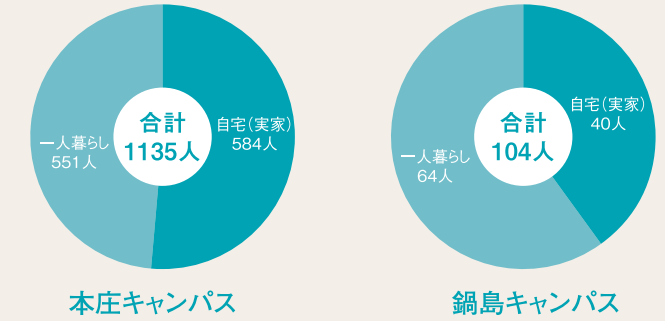
奨学金受給者数

2023年3月実績

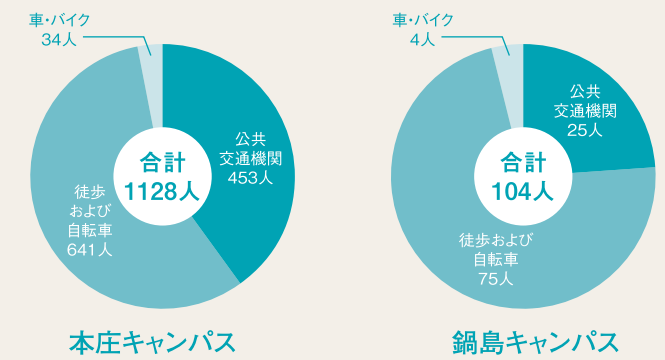
区 分	日本学生支援機構			
	第一種	第二種	給 付	合 計
教育学部	68	132	88	288
芸術地域デザイン学部	92	114	86	292
経済学部	199	280	196	675
医学部	57	160	125	342
理工学部	281	552	349	1,182
農学部	79	151	120	350
合 計	776	1,389	964	3,129

● 佐賀大生の生活 (2020年度新入生アンケート調査より)

住まいについて



通学について



通学に必要な費用および各駅の始発と終電

※2022年4月調べ

経路	手段	料金(1か月)	時間	始発[平日]	最終[平日] 佐賀駅発
博多～佐賀	JR(普通)	13,870円	1時間17分	5:13	22:58
	JR(特急)	34,110円	35分	6:00	23:03
天神～佐賀	バス	26,640円	1時間20分	6:30	21:35
鳥栖～佐賀	JR(普通)	9,170円	26分	6:06	22:58
	JR(特急)	18,780円	17分	6:22	23:03
二日市～佐賀	JR(普通)	10,810円	53分	5:38	22:15
久留米～佐賀	JR(普通)	9,780円	38分	5:53	22:58

※料金は、学割適用価格です。特急はエクセルバスを使用した場合の金額です。
※上記データは、あくまでも参考データであるため、正確な情報を知りたい場合は、JR等にご確認ください。

一人暮らしについて

アパート等の紹介

佐賀市にはアパート等の斡旋業者がたくさんありますが、佐賀大学生生活協同組合でも学生向けアパートの紹介および斡旋を行っております。

実際に決めた部屋代と管理費合計の平均金額

アパート	37,700円
マンション	49,200円

部屋を決めるときに気をつけたことや希望条件

大学に近い	92.1%
部屋代	73.7%
生活に便利	65.8%
間取り	57.9%
ネット回線	55.3%
日当たりや風通し	55.3%

※2020年度保護者に聞く新入生調査(大学生協連実施)より

● 生活費

自宅生

収 入		支 出	
小遣い	7,730円	食費	8,070円
奨学金	16,700円	住居費	960円
アルバイト	32,740円	交通費	6,680円
定職	490円	教養娯楽費	8,910円
その他	1,530円	書籍費	2,080円
		勉学費	2,700円
		日常費	5,180円
		電話代	2,340円
		その他	1,890円
		貯金・繰越	19,730円
収入合計	59,190円	支出合計	58,540円

一人暮らし

収 入		支 出	
仕送り	50,690円	食費	22,500円
奨学金	25,100円	住居費	47,140円
アルバイト	29,680円	交通費	1,750円
定職	360円	教養娯楽費	10,290円
その他	4,870円	書籍費	1,290円
		勉学費	2,470円
		日常費	7,570円
		電話代	3,350円
		その他	2,310円
		貯金・繰越	11,460円
収入合計	110,700円	支出合計	110,130円

※2020年学生生活実態調査(大学生協連実施)より

JR佐賀駅から自転車を利用する場合

JRを利用する学生の多くが、JR佐賀駅周辺の市営の駐輪場(有料:1か月1,040円)に自転車を置いて通学に利用しています。自転車は、キャンパス内の移動にも便利です。

JR佐賀駅からバスを利用する場合

佐賀駅から各キャンパスまではバスも利用できます。本庄キャンパスまでは約15分(200円)、鍋島キャンパスまでは約26分(320円)かかります。ただし、渋滞で遅れたり、雨の日には利用者が多くなることがあります。

学生寮[楠葉寮]について

詳しくはこちら

項 目	概 要
収容定員	男子100名 女子50名(空き部屋に応じて入寮者を募集)
費 用	月額5,300円(共益費込)。光熱水料で5,000円程度を自己負担
部屋の形態	洋式個室(約6畳)。各部屋には、ベッド、整理箱、机、椅子、本棚が設置 風呂およびトイレは共同。各階に、補食室、洗面所、洗濯室、トイレあり
入寮期間	原則として2年間
入寮条件	健康かつ自宅からの片道通学時間が公共交通機関で90分以上かかる人 上記該当者で家庭状況および経済状況を勘案して入寮者を決定
場 所	本庄キャンパス内

悩みや不安があるときは、まずは相談。さまざまな窓口をご用意しています。

大学生活は、自分の勉強したいこと、やりたいことを自由に行うことができます。その反面、自分の居場所が見つからなかったり、自分のやりたいことと現実のギャップに悩んだりすることがあるかもしれません。そんなときは、一人で悩まずに相談窓口にご相談ください。

主な相談内容

■ 学生生活について

授業がわからない、ゼミで浮いている、サークルになじめない、ハラスメントを受けている、相談するところがない。

■ 人間関係について

友人との関係がうまくいかない、恋愛のことで悩んでいる、コミュニケーションができない。

■ 生活環境について

アルバイトがうまくいかない、経済的に困っている、家族との関係がうまくいかない。

■ その他

詐欺にあった、交通事故にあった、不審者に付きまわっている。性別違和のことについて。

■ 進路について

就職活動をどうすればよいかわからない、自分の進路を決めきれない、社会に出るのが不安。

相談項目

■ 学生なんでも相談窓口

キャンパスライフにおけるあらゆる疑問や悩み、困っていることの内容に応じて、より適切な解決法や相談員(学内外の関係者)を紹介しします。

■ チューター(担任)制度

修学、進路選択、心身の健康などの問題について相談役となり、学生が充実したキャンパスライフを送るための支援を目的とした、各学部教員によるチューター(担任)制度があります。アドバイスが必要な場合は、気軽に相談してみてください。

■ 学生カウンセラー相談窓口

学生の皆さんの心や身体の相談や悩み、困っていることなどを直接、カウンセラー(臨床心理士)に相談できます。

■ 学生支援室集中支援部門

悩みを抱えている、障害や病気を持つ等の修学に困難を抱えた学生の大学生活を専門のスタッフが集中的にサポートしています。安心して充実した大学生活が送れるように、悩みや問題を解決していくために一緒に考えます。

■ 身体・精神面の健康上の相談

保健管理センターの学生相談室は「学生の身体・精神面の健康上の問題」について個人的に相談できます。

■ キャンパス・ソーシャルワーカー制度

何らかの理由で大学の講義等に出席できない学生及び特別な支援が必要な学生に対して、キャンパス・ソーシャルワーカーが積極的に連絡を取り合い、場合によっては直接出向いて相談を受けるアウトリーチ型支援を行ったり、心理の専門家(臨床心理士等)と連携して問題の解決を図ります。

PEER SUPPORT

学生アドバイザー

■ 新入生アドバイザー

新入生が入学して感じる疑問について、新入生アドバイザーが相談に応じます。「履修の仕方がわからない」「おもしろい授業を教えてほしい」「建物がわからない」など気軽に相談することができます。

■ 学習アドバイザー

授業でわからなかった点、自学自習のポイント、学習方法に関する悩みや疑問など学習上のさまざまな悩みや疑問について学習アドバイザー(大学院生)が相談に応じます。

■ ノートテイク

支援を希望する聴覚障害学生等に対し、ノートテイク等のサポートを準備します。



大学内で福利厚生面でサポートする佐賀大学生生活協同組合

佐賀大学には、大学生協があります。1963年に当時の佐賀大学の学生と教職員が学内の福利厚生の実施のため設立しました。大学生協は、食堂・購買・書籍等の取り扱いのほか、アパートの斡旋や管理、受託共済業務を行っています。近年は、TOEIC®などの学びや公務員試験対策、教員採用試験対策の就職支援の事業にも力を入れています。合格者によるサポーター制度などにより合格者も増加しています。食事面では、栄養バランスが偏りがちな大学生にきちんと食べて学んでいただきたい目的で「ミールカード」システムを導入して好評をいただいています。自動車学校の組合員割引などのサービスも充実しています。佐賀大学のIC学生証プリペイドマネーで食事や買い物ができます。

学びのサポート

学内でTOEIC®入門講座を実施するなど英語に関するサポートをしています。就職支援事業として、公務員試験対策講座や教員採用試験対策講座などを実施しています。合格を決めた先輩たちが後輩へアドバイスをするサポーター制度が確立し継続しています。



公務員試験対策講座



講座担当職員による面談



専門書・就活書の品揃え(大学会館)



TOEIC®入門講座



経済学部 経済法学科
一ノ瀬 麻友
内定先:東京都庁

食事から公務員試験対策講座まで、生協は学内にある学生の味方!

入学前の住まい探しから毎日の食事、運転免許取得や公務員試験合格に至るまで、生協には大学生活のすべてをサポートしていただきました。どの窓口も学内にあるので、いつでも気軽に訪れて直接相談することができます。また、組合員であれば書籍を10%割引で購入することができるので、教科書等を購入する際には非常に助かっていました。特にお世話になった公務員試験対策講座では、合格された先輩方がサポーターとして在籍しており、どんな相談にも親身に対応していただけます。手厚いサポートがあったからこそ、合格まで挫折せずに続けることができました。みなさんも生協をたくさん活用して、充実した学生生活を送ってください!

食のサポート

佐賀大生の「食」は大学生協食堂とミールカードにおまかせください。

大学生協では、バランスが取れて安全で安心な食事を3食ご利用いただけます。ミールカードは、大学生協オリジナル「食堂年間利用定期券」です。

ミールカード6つのポイント

食費を1年分確保できるから
手持ちがなくても大丈夫!

豊富なメニューで
健康的な食事をサポート!

ライフスタイルに合わせて
4つのプランをご用意!

ご利用履歴がWEBで確認できる!

お会計はキャッシュレス!
大学生協アプリや学生証でお会計が可能!

コロナ禍に対応して、条件付き返金制度があるので、登校できないときなども安心!



麻婆茄子 275円
春雨しそサラダ 99円
ライス小 94円
味噌汁 44円



キーマカレー中 440円
白身フライの副菜 187円
スープ 44円



ネギトロ丼中 473円

※上記価格は、23年3月6日からの値上げ後の価格です ※上記価格は、消費税10%を含みます。



CAMPUS LIFE

さあ、一緒に楽しもう! 「だからこそ」がいっぱいの佐賀大キャンパスライフ

大学生活ってどんな感じ?先輩たちはどんな毎日を送ってるの?
あなたの毎日がもっと楽しくなる、佐賀大学でのキャンパスライフをご紹介します。

Sadai
PHOTO
GALLERY

Webサイトでも
ご覧いただけます



CAMPUS CALENDAR

年間を通して、楽しいイベントが盛り沢山!

4

April

- ・入学式
- ・新入学生健康診断
- ・学部オリエンテーション
- ・学友会紹介
- ・サークル紹介
- ・前学期開講
- ・在学生定期健康診断



5

May

6

June

- ・入学者選抜要項 発表[下旬]



7

July

- ・前学期定期試験

8

August

- ・総合型選抜I
教育学部／芸術地域デザイン学部
学生募集要項 発表[上旬]
- ・夏季休業



9

September

- ・学校推薦型選抜・帰国生徒選抜
学生募集要項 発表[中旬]
- ・総合型選抜I
学生募集要項 発表[中旬]
- ・総合型選抜II
学生募集要項 発表[中旬]



10

October

- ・後学期開講
- ・解剖体慰霊式<医学部>
- ・大学祭<本庄キャンパス>



11

November

12

December

- ・一般選抜
学生募集要項 発表[上旬]
- ・冬季休業



1

January

- ・大学入学共通テスト

2

February

- ・後学期定期試験
- ・一般選抜<前期日程>



3

March

- ・一般選抜<後期日程>
- ・学位記授与式



生活スキルもUPして
楽しく有意義な毎日です。

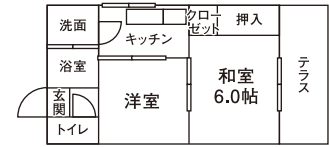
医学部医学科
中村 しおり 福岡県 修猷館高等学校出身

佐賀は静かで、程よく自然があるところがとても好きですし、都市部にある大学よりも生活費が安いのも魅力。医学部は一人暮らしの人がほとんど大学の近くに住んでいるので、家を行き来しやすいのも楽しいです。時間を自由に過ごせるのもうれしいし、お金の管理や書類など、責任をもって自分で扱うようになった点では成長したと思っています。

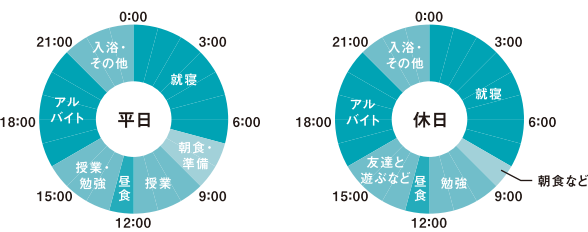
Q. 1か月の生活費は平均いくらぐらい？

〔収入〕		〔支出〕	
アルバイト	50,000円	家賃	33,000円
奨学金(給付)	50,000円	光熱費・通信費	15,000円
奨学金(貸与)	40,000円	食費	15,000円
		日用品など	7,000円
		交際費	20,000円
		貯金(学費)	50,000円
合計	約140,000円	合計	約140,000円

Q. お部屋の間取りはどんな感じ？



Q. 平日と休日の過ごし方は？



しっかりと食事を取り
規則正しく寮生活を満喫！

農学部生物資源科学科食資源環境科学コース
松永 昇 佐賀県 弘学館高等学校出身

中学・高校も寮生活だったので、大学では民間の学生寮に入りました。平日の朝と夜は食事が出るので生活リズムを崩すことなく過ごせていますし、食事の出ない休日は、共同のキッチンで友達と料理を作ったり、近くの飲食店に出かけて楽しんでいます。エアライフル射撃の部活後には、温泉や岩盤浴でスッキリすることも。毎日がとても楽しいです。

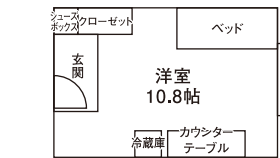


Q. 1か月の生活費は平均いくらぐらい？

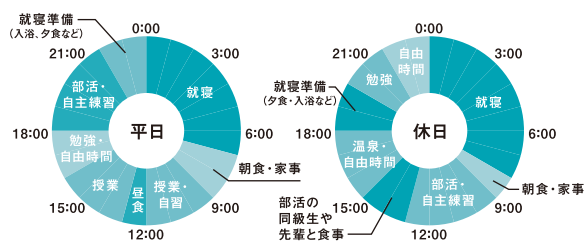
〔収入〕		〔支出〕	
仕送り*	105,000円	家賃	40,000円
		光熱費	5,000円
		食費	30,000円
		交際費	30,000円
合計	約105,000円	合計	約105,000円

〔*〕は親負担

Q. お部屋の間取りはどんな感じ？



Q. 平日と休日の過ごし方は？



▶本庄キャンパス

●統括団体(5団体)

学友会／文化協議会／体育協議会／ボランティア協議会／大学祭中央実行委員会

●文化系団体(21団体)

アカペラサークルScore!!
アニメーション研究会
囲碁・将棋部
演劇サークルdrama!!
FMメディア研究会
管弦楽団
クラシックギターハーモニー
Green-Nexus
K-net
軽音楽サークルCLOVER
混声合唱団コーロカンフォア

コンピュータ研究会
茶道部
写真部
佐賀大学JAZZ研究会
吹奏楽団
聖書かじる会
フォークソング研究会
文芸部
ボーイ撮り
漫画研究会

●体育系団体(35団体)

合気道部／アイスホッケー部
アメリカンフットボール部
エアライフル射撃部
空手道部／S.U.Dfamily
弓道部／競技ダンス部／剣道部
硬式野球部／サイクリング部
硬式庭球部／男子サッカー部
女子サッカー部／自動車部／柔道部
準硬式野球部／少林寺拳法部
水泳部／スキー部／ソフトテニス部
卓球部／探検部／トライアスロン部
熱気球部／男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
バドミントン部／男子バレーボール部
女子バレーボール部
男子ハンドボール部
Fantasists(フットサル部)
ラグビー部／嵐舞／陸上競技部

●ボランティア団体(12団体)

Kodomo2.1
有明会
ぞうさんのwa
佐賀県学生献血推進協議会(ちっち)
Sharearth
さがんせん隊守るんじゃー
ルート佐大
佐賀学生スーパernet
佐賀大学EA学生委員会(Earth)
佐賀環境フォーラム環境教育班えこいく
るびなす
For.s

▶鍋島キャンパス

●学生自治団体等(4団体)

学生自治会／部活動統括委員会／医学科国試対策委員会／看護学科国試対策委員会

●文化系団体(20団体)

混声合唱部
現代音楽倶楽部
音楽鑑賞部
美術部
軽音楽部
茶道部
E.S.S
国際医療研究会
天文部
室内楽部

漢方研究会
SILS(ACLSサークル)
写真部
IFMSA-Saga(国際医学生連盟佐賀支部)
USGOS(ウスゴス)
Happiness
ほびろほびろ
勉部
MUTSUGOROU E.P.
演劇部

●体育系団体(20団体)

硬式テニス部
漕艇部
卓球部
準硬式野球部
空手部
バスケットボール部
剣道部
サッカー部
ラグビー部
バドミントン部

水泳部
バレーボール部
ヨット部
弓道部
陸上競技部
ビリヤード部
チアリーディング部
フットサル部
ソフトボール部
ウィンタースポーツ部

2024年度入学者選抜概要

本学への出願、受験に際しては、本学が公表する入学者選抜要項及び各学生募集要項を佐賀大学のホームページ等で必ず確認してください。

2024年度入学者選抜概要

2024年度 佐賀大学入学者選抜（一般選抜）における実施教科・科目

日程	学部・学科・コース等			大学入学共通テスト																					2 段階選抜	備考							
				募集 人員	外国語				国語	数学				地理歴史・公民							理科						教科 科目数						
					英語 リーディング リスニング	ドイツ語	中国語	韓国語	科目数	国語	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学ⅡB	簿情	科目数	世界史A	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	政治経済	倫理	政経				科目数	基礎 物理基礎 化学基礎 生物基礎	専門 地学基礎 物理 化学 生物 地学	科目数		
前期	教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース			15	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	1	5又は 6・7 900	地歴・公民・理から3						
		小中連携教育コース	主専攻 初等教育	地歴・公民 2科目型	41	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	2	A、B、C、D 100~200		地歴・公民2科目型 及び理科2科目型は 出願時に選択					
				理科 2科目型	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	2	A、B、C、D 100							
			主専攻 中等教育	地歴・公民 2科目型	12	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	2	A、B、C、D 100			5又は 6・7 900				
				理科 2科目型	○	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	2	C、D 200				900			
		芸術地域デザイン学部	芸術表現コース	3科目型	27	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	◇		◇	◇	◇	1	3・3 500	地歴・公民・数・理から1
				4科目型	○	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	0	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	0	◇		◇	◇	◇	0	3又は 4・4 600	
			地域デザインコース			25	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	1		A、B、C、D 100	700				
	経済学部		経済学科 経営学科 経済法学科			70 30 35	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	1		4・5 700	約5 倍				
		医学部	医学科	50	◎	◎				1	◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	1		◎	◎	2	5・7 630	約5 倍					
	看護学科		35	◎	◎				1	◎	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1		○	○	2	5・6 650							
	理工学部	理工学科			269	○	○	○	○	○	1	◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	2	5・7 900				
農学部		生物資源科学科			77	○	○	○	○	○	1	◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	2	5・7 600					
	後期	教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース			5	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1	○	○	1	5・5 1000				
小中連携教育コース 初等教育主専攻			12	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	1	5・5 1000						
			小中連携教育コース 中等教育主専攻	5	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	○	1	○	○	1		5・5 1000				
芸術地域デザイン学部		芸術表現コース	8	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	1	3・3 500	地歴・公民・数・理から1			
		地域デザインコース	15	○	○	○	○	○	1	◎	◇	◇	◇	◇	1	○	○	○	○	○	○	○	1	◇	◇	◇	◇	1	4・4 600		数・理から1		
経済学部		経済学科 経営学科 経済法学科			20 20 25	○	○	○	○	○	1	◎	○	○	○	2	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1	◇	◇	◇	◇	1	4・5 700		地歴・公民・理から1	
		医学部	医学科	10	◎	◎				1	◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	1			○	○	2	5・7 630	約10 倍				
看護学科			5	◎	◎				1	◎	○	○	○	1	○	○	○	○	○	○	1			○	○	2	5・6 590						
理工学部		理工学科			88	○	○	○	○	○	1	◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	1			○	○	2	5・7 600			
		農学部	生物資源科学科			32	○	○	○	○	○	1	◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	2	5・7 550			

【表の見方】
 ① ◎は必須教科の必須科目、○は必須教科の選択科目、◇は選択教科、△は複数教科受験可能で、高得点採用の科目、☆は任意の申請。
 ② 配点に()を付している場合は選択教科。配点比率は大学入学共通テストと個別試験の配点比率を表示。
 ③ 大学入学共通テストでは「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は必ず2科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は2つ合わせて「1科目」として扱う。
 ④ 大学入学共通テストの理科における受験パターンをA～Dで表示。Aは基礎2科目、Bは基礎2科目又は専門1科目、Cは基礎2科目及び専門1科目、Dは専門2科目。
 ⑤ 大学入学共通テスト外国語の英語はリスニングの受験が必須です。リーディング/リスニングの配点については、学生募集要項で確認。
 ⑥ 面接は、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

日程	学部・学科・コース等		個別試験																	特色 加点 率	配点 比率	備考							
			外国語			国語		数学				理科				総合 問題	小論文	実技	面接				その他	満点	教科 点数				
			Ⅰ 英	Ⅱ 英	Ⅲ 英	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ	国語総合	国語表現	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅳ	数学Ⅴ	物理基礎・物理											化学基礎・化学	生物基礎・生物	地学基礎・地学	
前期	教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース			◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△								400	2	☆	9:4	前期日程の教育学部は 「英語」必須。 「国語」、「数学」は1科目または 2科目選択可。 「国語」と「数学」の2科目を受験 した場合は高得点科目を採用	
			200			(200)			(200)															400	2	☆	9:4		
			主専攻 初等教育	地歴・公民 2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△									400	2	☆		9:4
				200			(200)			(200)															400	2	☆		9:4
		理科 2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△										400	2	☆	9:4		
			200			(200)			(200)															400	2	☆	9:4		
		主専攻 中等教育	地歴・公民 2科目型	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△		△	△									400	2	☆	9:4		
			200			(200)			(200)															400	2	☆	9:4		
	芸術地域デザイン学部 芸術表現コース	3科目型																	◎					500		5:5	実技試験は描写表現 3つから選択 (学生募集要項を参照)		
																				500									
		4科目型																	◎					400		6:4	実技試験は発想表現必須 (学生募集要項を参照)		
																							400						
地域デザインコース																		◎					400	☆	7:4	総合問題については 学生募集要項で確認			
																									15				
経済学部	経済学科 経営学科 経済法学科	◎	◎	◎	◎	◎																	100	1	☆	7:1			
		100																							15				
医学部	医学科 看護学科	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎				300	3		63:30			
		80						80			80								60										
																		◎	◎			160			65:16				
理工学部	理工学科							◎	◎	◎	◎	◎	○	○									600	2	☆	9:6			
								360			240														30				
農学部	生物資源科学科	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎		◎	◎										400	2	☆	6:4			
		200						200																	50				
後期	教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース			◎	◎	◎	◎	◎									◎					400	1	☆	10:4			
			200																	200					20				
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻	◎	◎	◎	◎	◎											◎					400	1	☆	10:4			
			200																				200					20	
	小中連携教育コース 中等教育主免専攻	◎	◎	◎	◎	◎											◎					400	1	☆	10:4				
		200																				200				20			
	芸術地域デザイン学部 芸術表現コース	3科目型																◎					300		5:3	実技は描写・発想表現から1 (学生募集要項を参照)			
																				300									
	地域デザインコース	4科目型	◎	◎	◎	◎	◎												◎					300	1	☆	6:3	その他は問題解決・提案力テスト (学生募集要項を参照)	
			100																				200			15			
	経済学部	経済学科 経営学科 経済法学科																◎					100	☆	7:1				
																								15					
医学部	医学科 看護学科																	◎					120			63:12			
																			◎										
																			◎										
理工学部	理工学科								△	△	△	△	△	△	△								400	1	☆	6:4	「数学」、「物理」、「化学」から1科目 または2科目選択。2科目受験した場合は 高得点科目を採用。ただし「物理」と 「化学」の2科目選択は不可。		
								(400)			(400)													30					
農学部	生物資源科学科								◎	◎		◎	◎										200	1	☆	55:20			
								200																	50				

☆「特色加点」の内容については学生募集要項を参照

2024年度 学校推薦型選抜I・II/佐賀県推薦入学 出願資格・選抜方法

新型コロナウイルスの感染状況によっては、試験日時等を変更して実施する場合があります。変更する場合は、佐賀大学のホームページ等で速やかにお知らせいたします。

2024年度 入学者選抜概要

出願資格 出願要件 (全学部)		(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2024年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2024年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長(※)が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記1)～(3)の学校長を示す															
学部・学科・コース等			方式	募集 人員	共テ	出願要件	提出書類	段階	試験				その他要件等				
									試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日					
学校 教育 課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	学校推薦型 選抜I	5	×		(1) 将来、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 (2) 高等学校の調査書における学習成績の状況が3.8以上の者	調査書、推薦書		基礎学力試験(外国語)、 小論文、面接	11/1 ～11/7	11/25	12/4	・外国語はコミュ英I・コミュ英II・コミュ英III・英語表現I・英語表現II				
	小中連携教育コース 初等教育主免専攻	学校推薦型 選抜I [佐賀県枠]	7	×		(1) 佐賀県内の高等学校を2024年3月に卒業見込みの者 (2) 将来、佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲、資質、適性等を有する者 (3) 高等学校の調査書における学習成績の状況が4.3以上の者	調査書、推薦書、 志望理由書	1次	佐賀県教育委員会に よる書類審査		—	11/16頃					
								2次	基礎学力試験(外国語、 数学)、小論文、面接		11/25	12/4	・外国語はコミュ英I・コミュ英II・コミュ英III・英語表現I・英語表現II ・数学は数I・数II・数A・数Bで数Bは数列・ベクトル				
芸術 地域 デザイン 学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野	学校推薦型 選抜I	3	×		学業成績、人物とともに特に優れ、芸術表現や当該分野に関して興味関心がある者、又は優れた経験・知識・技術・実績及び熱意がある者	調査書、推薦書、 ポートフォリオ		面接(口頭試問を含む)、 実技検査	11/1 ～11/7	11/25	12/4	・実技検査 静物着色・粘土による造形表現(試験時に手びねり又はロクロ成形を選択)から1 ・入学志願者が募集人員の約4倍を超えた場合は、書類(調査書、推薦書及びポートフォリオ) による第1次選考を行う場合がある				
経済 学部	経済学科	学校推薦型 選抜I	10	×		(1) 全体の学習成績の状況が4.3以上の者で、人物、学力について優れる者 (2) 2023年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む (1) 社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者(外国語については学習成績の状況4.3以上) ②社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付けける資料のある者 ③個性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活において、その能力を充分に発揮できると評価し、推薦に価すると思われる者 (2) 2023年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 志望理由書、 活動実績報告書 (加点式)(任意)		基礎学力・学習力テスト(英語) 小論文、面接 (口頭試問を含む)	11/1 ～11/7	11/24	12/4	・商業系(商業高等学校の全科を含む)・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・活動実績報告書(加点式)について 「簿記」「情報」「英語」「商業経済」の4分野に関する資格・検定について、その難易度に応じて評価します。 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。				
	経営学科	学校推薦型 選抜I [商業系]	20														
	経済学科	学校推薦型 選抜I [普通系]	10					・普通科又はこれに準ずると本学部が認める科 出願要件の②については証明する資料を添付 ・活動実績報告書(加点式)について 校内外を問わず、高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。 校内活動としては、体育系・文化系の部活動、生徒会活動、課題研究(探究型学習)など、 校外活動としては、社会活動(ボランティア、地域活動)、海外留学、スポーツ活動、文化・芸術活動、 検定・資格取得、課題研究(探究型学習)などが該当します。なお、「課題研究(探究型学習)」に 関する活動とは、校内外を問わず、高等学校在学中に取り組んだ課題研究(探究型学習)に関する 活動です。高等学校の総合的な学習の時間等での課題研究(探究型学習)といった校内活動、 大学(本学または他大学)による高校生対象の課題研究(探究型学習)や、国・地方公共団体・ 企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場(ビジネスプランコンテスト、まちづくり プランコンテスト、社会科学系の論文コンテスト等)といった校外活動が該当します。 申請がなければ当初配点で合否判定を行います。 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。									
	経営学科		10														
	経済法学科		10														
医学 部	医学科	学校推薦型 選抜II [一般枠]	20	5-7		(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できようと思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を 積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2023年4月以降に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 自己推薦書	大学入学共通テスト、 小論文、面接	11/1 ～11/7	11/25	2/13	・調査書の「4.学習成績概評」欄に㊸と標示する場合は、「8.備考」欄にその理由を必ず明記 ・推薦人数は各高校2人以内					
		学校推薦型 選抜II [佐賀県枠]	18			(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できようと思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2024年3月に卒業見込みの者又は2022年4月以降に卒業を認められた者で、 次のいずれかに該当する者 ①佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ②佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち、佐賀県内の小学校、中学校のいずれかを卒業し、保護者が 佐賀県内に2023年10月1日現在で3年以上継続して在住している者(出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票で確認) (4) 大学卒業後は、佐賀県内の基幹型臨床研修病院において、初期臨床研修(2年)を受けることを確約できる者	調査書、推薦書、 自己推薦書、 志願理由書、確約書					・調査書の「4.学習成績概評」欄に㊸と標示する場合は、「8.備考」欄にその理由を必ず明記 ・保護者とは、子に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは、未成年者後見人をいう。 (本学における保護者の定義<学校教育法から引用>)					
		学校推薦型 選抜II [長崎県枠]	1			(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できようと思いやりのある温かい心を持ち、将来、長崎県内の地域医療に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2024年3月に卒業見込みの者又は2022年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①長崎県内の小学校又は中学校を卒業した者 ②長崎県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (4) 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 (5) 大学在学中に長崎県と契約を締結し、長崎県キャリア形成プログラム及び長崎県キャリア形成前支援プランの適用を受け、新専門医制度に おける専門医選択について、原則として県指定基本領域(内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科及び総合診療科)から選択を了承できる者	調査書、推薦書、 自己推薦書、 志願理由書、同意書					・調査書の「4.学習成績概評」欄に㊸と標示する場合は、「8.備考」欄にその理由を必ず明記 ・長崎県医学修学資金については長崎県福祉保健部医療人材対策室に問い合わせ					
	看護学科	学校推薦型 選抜I	20	×	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できようと思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者 あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2023年4月以降に高等学校卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、 自己推薦書		小論文、面接	11/1 ～11/7	11/25	12/4	・調査書の「4.学習成績概評」欄に㊸と標示する場合は、「8.備考」欄にその理由を必ず明記 ・推薦人数は各高校2人以内					
	理工 学部 理工学 科	情報 分野	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース	2	×		専門系の科および総合学科を卒業見込みの者で学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者	調査書、推薦書、 活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト(数学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	11/1 ～11/7	11/24	12/4	・専門系の科、総合学科の情報分野に関係する専門教育に関する科目の単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います			
化学 分野		生命化学コース 応用化学コース	2						基礎学力・学習力テスト(数学・化学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)	・工業系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います							
機械工学 分野		機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース	4						基礎学力・学習力テスト (数学・物理)、小論文、面接 (口頭試問を含む)					・機械系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います			
電気電子 工学分野		電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース	4	・電気・電子・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います													
都市工学 分野		都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	4	・土木・建築系の科、総合学科の専門科目単位取得者(20単位以上) ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います													
農学 部	生物 資源 科学 科	生物科学コース	3	×		(1) 専門系の科および総合学科を卒業見込みの者で学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 学習成績概評が㊸として推薦できる者	調査書、推薦書、 活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト(化学・生物)、 小論文、面接	11/1 ～11/7	11/24	12/4	農業系の科、総合学科の専門科目単位 取得者(20単位以上)	推薦人数は各高校の 各課程から2人以内	・調査書の「8.備考」欄に学習 成績概評が㊸の理由を明記 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的 な学力を測るテストを行います		
		食資源環境科学コース	2						基礎学力・学習力テスト(数学・英語)、 小論文、面接(口頭試問を含む)				農業系の科、工業系の科及び総合学科 の専門科目単位取得者(20単位以上)	推薦人数は各高校の 各課程から2人以内			
		生命機能科学コース	1						基礎学力・学習力テスト(化学)、 小論文、面接(口頭試問を含む)				農業系の科、総合学科の専門科目単位 取得者(20単位以上)	推薦人数は各高校の 各課程から1人			

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件(全学部)に記載した学校及び施設を示す。 ※「共テ」とは大学入学共通テストを、5-7とは5教科7科目を示す。

医学 部	医学科	佐賀県 推薦入学	4	5-7	(1) 佐賀県が責任をもって推薦できる者(佐賀県による第一次選考合格者) (2) 病める人の気持ちが理解できようと思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内での医療活動に従事し、 県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者 (3) 高等学校を2024年3月に卒業見込みの者若しくは2021年4月以降に卒業を認められた者、又は、高等専門 学校第3学年を2024年3月修了見込みの者若しくは2021年4月以降に修了した者で、いずれも高等学校等 における調査書の学習成績概評がA段階に属する者(高等学校には、中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む) (4) 最終合格者は、必ず佐賀大学医学部に入学し、入学後は、「佐賀県医師修学資金」の貸与を6年間受けること及びキャリア形成プログラム (佐賀県が策定した医療法(昭和23年法律第205号)第30条の23第2項第1号に規定する計画)に同意することを確約できる者 (5) 大学卒業後は、キャリア形成前支援プラン及びキャリア形成プログラムに基づき、①高度急性期機能の需要増加に対処するた めの医師(内科、小児科、外科、産婦人科、脳神経外科、麻酔科及び救急科)、②総合的な診療能力を有する医師(総合内科及び 総合診療科)等として佐賀県が指定する佐賀県内の医療機関で診療に従事することを確約できる者	調査書、所信書、 確約書	1次	佐賀県による選考	10/23 ～11/2	11/11・12	11/14	・佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者を対象とする ・第1次選考については佐賀県健康福祉部医務課医療人材政策室に問い合わせ	
						佐賀県からの 推薦書	2次	大学入学共通テスト、 小論文、面接	11/15 ～11/20	11/25	2/13	・佐賀県が行う第1次選考を経て、佐賀県の推薦により佐賀大学医学部による 第2次選考を受験する資格を得た者	

2024年度 総合型選抜I・II 出願資格・選抜方法

新型コロナウイルスの感染状況によっては、試験日時等を変更して実施する場合があります。変更する場合は、佐賀大学のホームページ等で速やかにお知らせいたします。

2024年度 入学者選抜概要

学部・学科・コース等			方式	募集人員	共通	出願資格および出願要件	提出書類	試験				その他要件等
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日	
教育学部 学校教育課程	小中連携教育コース 初等教育主専攻		総合型 選抜I	10	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年4月以降に修了した者及び2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、体育、家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 活動実績報告書	小論文、 面接(口頭試問を含む)、 志望分野に関する適性検査	9/14 ～9/21	10/13 音楽分野、 体育分野は 10/13・14	11/1	・適性検査内容 英語分野:筆記試験とタブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定 理数分野:理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料(持参)をもとに発表及び質疑応答 音楽分野:専攻楽器(または声楽)の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 体育分野:器械運動(マット運動)、ダンス、ゴール型球技(バスケットボール)、ネット型球技(バレーボール)、 ベースボール型球技(ソフトボール)、武道(柔道か剣道より選択)の6種目における技能 家庭分野:与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書)により、第1次選考を行う
	小中連携教育コース 中等教育主専攻		総合型 選抜I	8	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年4月以降に修了した者及び2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、保健体育、家庭、技術のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、中等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、中学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者						・適性検査内容 英語分野:筆記試験とタブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定 理数分野:理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料(持参)をもとに発表及び質疑応答 音楽分野:専攻楽器(または声楽)の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 保健体育分野:器械運動(マット運動)、ダンス、ゴール型球技(バスケットボール)、ネット型球技(バレーボール)、 ベースボール型球技(ソフトボール)、武道(柔道か剣道より選択)の6種目における技能 家庭分野:与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 技術分野:与えられたテーマについてレゴブロックを用いて作品をつくり、プレゼンテーション及び質疑応答 ・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書)により、第1次選考を行う
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野		総合型 選抜I	10	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2023年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 ポートフォリオ	志望分野に関する 適性検査、面接		10/14		・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野		総合型 選抜I	7	×	(2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者				10/13		・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及びポートフォリオ)による第1次選考を行う場合がある
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース		総合型 選抜I	15	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月修了見込の者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 活動実績報告書 (加点式)(任意)	小論文、適性検査、 面接	9/14 ～9/21	10/14	11/1	・適性検査内容 与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 ・活動実績報告書(加点式)について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。 地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。 申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、「主体的にものごとに取り組むことができる積極的な行動力」、「高等学校入学以降の主体的な実績・活動」について総合的に評価します。活動・実績の具体例として、地域創生などに関わる主体的な活動、課外活動(部活動や生徒会活動など)における実績や取り組み、研究活動(高大連携活動(SSH、SGH等を含む)、総合的学習等での活動実績)、資格・検定試験などの外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志願理由書及び活動実績報告書(加点式)(申請者のみ))による第1次選考を行う場合がある 申請がなければ当初配点で合否判定を行います。
理工学部 理工学科	数理 分野	数理サイエンスコース	総合型 選抜I	2	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年4月以降に修了した者及び2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野、データサイエンス分野、情報分野……数学Ⅲ／化学分野……数学Ⅲ、化学／その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	適性検査、面接 (口頭試問を含む)	11/1 ～11/7	11/25	12/4	・適性検査内容／数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。出題範囲は、数学IA、数学ⅡB、数学Ⅲとします。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合がある
	データサイエンス 分野	データサイエンスコース		3								・適性検査内容／数学の知識を活用した問題を出題することにより数学に対する適性を評価します。また、資料等を正しく読み解き、論理的に説明する能力を評価します。出題範囲は、数学IA、数学ⅡB、数学Ⅲ、情報の科学とします(出題する内容に応じて、ペーパーテストまたは口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合がある
	情報 分野	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		8								・適性検査内容／問題文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムを示すことができるかについての論理的思考力を評価します(出題する内容に応じて、ペーパーテストまたは口頭試問により実施)。 ・入学志願者が募集人員の約2.5倍を超えた場合は、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合がある
	化学 分野	生命化学コース 応用化学コース		5								・適性検査内容／化学実験などに関する動画や資料(写真や図表など)を題材に、知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します(タブレット端末で問題を提示し、解答用紙に解答)。
	物理学 分野	物理学コース		7								・適性検査内容／物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。
	機械工学 分野	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10								・適性検査内容／機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより、高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。
	電気電子 工学分野	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		5								・適性検査内容／電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより、知識のみならず論理的思考力も重視した上で、電気電子工学に対する適性を評価します(ペーパーテストで実施)。
	都市工学 分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4								・適性検査内容／数学(数ⅡB(確率と統計・ベクトル・数列)・数Ⅲ(微分・積分))と物理(力学・熱力学・エネルギー・波動)に関する融合問題により、知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の素養を評価します(ペーパーテストで実施)。
	数理 分野	数理サイエンスコース	総合型 選抜Ⅱ	2	5-7	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年4月以降に修了した者及び2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野、データサイエンス分野、情報分野……数学Ⅲ／化学分野……数学Ⅲ、化学／その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/15 ～1/31	－	2/13	
	データサイエンス 分野	データサイエンスコース		2								
	情報 分野	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		7								
	化学 分野	生命化学コース 応用化学コース		15								
	物理学 分野	物理学コース		3								
	機械工学 分野	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10								
	電気電子 工学分野	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		12								
	都市工学 分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		12								
農学部	生物資源科学科	国際・地域マネジメントコース	総合型 選抜I	5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年4月以降に修了した者及び2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 国際・地域マネジメントコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	基礎学力・学習力テスト (英語)、適性検査、面接	11/1 ～11/7	11/24	12/4	・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います。 ・適性検査内容 提示した課題や資料等を題材として、食料、農業、環境、開発の問題などに関する時事的な話題を含む基礎知識を前提とした問題を出題し、分析力、判断力、論理的思考力、コミュニケーション力(発信力)、想像力の観点から、総合的に評価します。 課題のための資料は紙媒体を用いて提示し、解答は解答用紙への記入や口頭(集団討論形式の場合も有)で行います。 ・入学志願者が募集人員の約3倍を超えた場合に、書類(調査書、志望理由書、活動実績報告書)による第1次選考を行う場合がある
		生物科学コース	総合型 選抜Ⅱ	10	5-7	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2022年4月以降に修了した者及び2024年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月以降にこれに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 各コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	大学入学共通テストの 成績、書類審査	1/15 ～1/31	－	2/13	
		食資源環境科学コース		5								
		生命機能科学コース		10								

※「共テ」とは大学入学共通テストを、5-7とは5教科7科目を示す。

入試情報

2023年度 入試実績

学部・学科・課程・コース・専攻			募集人員										志願者数										受験者数										合格者数										入学者数									
			前期	後期	推薦	推薦Ⅱ	推薦Ⅲ	総合Ⅰ	総合Ⅱ	計	前期	後期	推薦	推薦Ⅱ	推薦Ⅲ	総合Ⅰ	総合Ⅱ	計	前期	後期	推薦	推薦Ⅱ	推薦Ⅲ	総合Ⅰ	総合Ⅱ	計	前期	後期	推薦	推薦Ⅱ	推薦Ⅲ	総合Ⅰ	総合Ⅱ	計	前期	後期	推薦	推薦Ⅱ	推薦Ⅲ	総合Ⅰ	総合Ⅱ	計										
学校教育課程	教育学部	幼小連携教育コース		15	5	5	—	—	—	25	49	76	22	—	—	—	147	47	27	22	—	—	—	96	18	8	5	—	—	—	—	31	18	5	5	—	—	—	—	28												
		小中連携教育コース	初等教育主免専攻	41	12	7	—	—	10	—	70	92	122	19	—	—	41	—	274	89	30	16	—	—	41	—	176	45	18	7	—	—	10	—	80	43	15	7	—	—	10	—	75									
			中等教育主免専攻	12	5	—	—	—	8	—	25	24	44	—	—	—	24	—	92	24	12	—	—	—	24	—	60	14	8	—	—	—	8	—	30	13	7	—	—	—	8	—	28									
		小計		68	22	12	0	0	18	0	120	165	242	41	0	0	65	0	513	160	69	38	0	0	65	0	332	77	34	12	0	0	18	0	141	74	27	12	0	0	18	0	131									
	芸術地域デザイン学部	芸術表現コース		30	10	5	—	—	10	—	55	73	80	7	—	—	43	—	203	72	43	7	—	—	42	—	164	32	10	5	—	—	12	—	59	31	8	5	—	—	12	—	56									
地域デザインコース		25	15	—	—	—	15	—	55	77	102	—	—	—	47	—	226	69	40	—	—	—	47	—	156	30	20	—	—	—	16	—	66	27	17	—	—	—	16	—	60											
小計		55	25	5	0	0	25	0	110	150	182	7	0	0	90	0	429	141	83	7	0	0	89	0	320	62	30	5	0	0	28	0	125	58	25	5	0	0	28	0	116											
経済学部	経済学科		70	20	20	—	—	—	110	150	188	45	—	—	—	—	383	142	53	45	—	—	—	—	240	81	37	21	—	—	—	—	139	68	20	21	—	—	—	—	109											
	経営学科		30	20	30	—	—	—	80	60	146	54	—	—	—	—	260	57	53	54	—	—	—	—	164	32	25	36	—	—	—	—	93	30	14	36	—	—	—	—	80											
	経済法学科		35	25	10	—	—	—	70	78	166	20	—	—	—	—	264	78	48	20	—	—	—	—	146	41	38	10	—	—	—	—	89	35	28	10	—	—	—	—	73											
	小計		135	65	60	0	0	0	260	288	500	119	0	0	0	0	907	277	154	119	0	0	0	0	550	154	100	67	0	0	0	0	321	133	62	67	0	0	0	0	262											
	医学部	医学科		50	10	—	39	4	—	103	230	223	—	121	7	—	—	581	181	50	—	121	7	—	—	359	51	12	—	39	4	—	—	106	50	10	—	39	4	—	—	103										
看護学科		35	5	20	—	—	—	60	74	82	64	—	—	—	—	220	70	30	64	—	—	—	—	164	39	7	20	—	—	—	—	66	35	5	20	—	—	—	—	60												
小計		85	15	20	39	4	0	0	163	304	305	64	121	7	0	0	801	251	80	64	121	7	0	0	523	90	19	20	39	4	0	0	172	85	15	20	39	4	0	0	163											
理工学部	理工学科		269	88	16	—	—	44	63	480	688	1,178	26	—	—	102	123	2,117	623	457	26	—	—	101	123	1,330	311	138	16	—	—	35	65	565	294	100	16	—	—	35	65	510										
	小計		269	88	16	0	0	44	63	480	688	1,178	26	0	0	102	123	2,117	623	457	26	0	0	101	123	1,330	311	138	16	0	0	35	65	565	294	100	16	0	0	35	65	510										
農学部	生物資源科学科		77	32	6	—	—	5	25	145	223	340	9	—	—	10	73	655	196	144	9	—	—	10	73	432	91	34	5	—	—	5	26	161	88	22	5	—	—	5	26	146										
	小計		77	32	6	0	0	5	25	145	223	340	9	0	0	10	73	655	196	144	9	0	0	10	73	432	91	34	5	0	0	5	26	161	88	22	5	0	0	5	26	146										
合計			689	247	119	39	4	92	88	1,278	1,818	2,747	266	121	7	267	196	5,422	1,648	987	263	121	7	265	196	3,487	785	355	125	39	4	86	91	1,485	732	251	125	39	4	86	91	1,328										

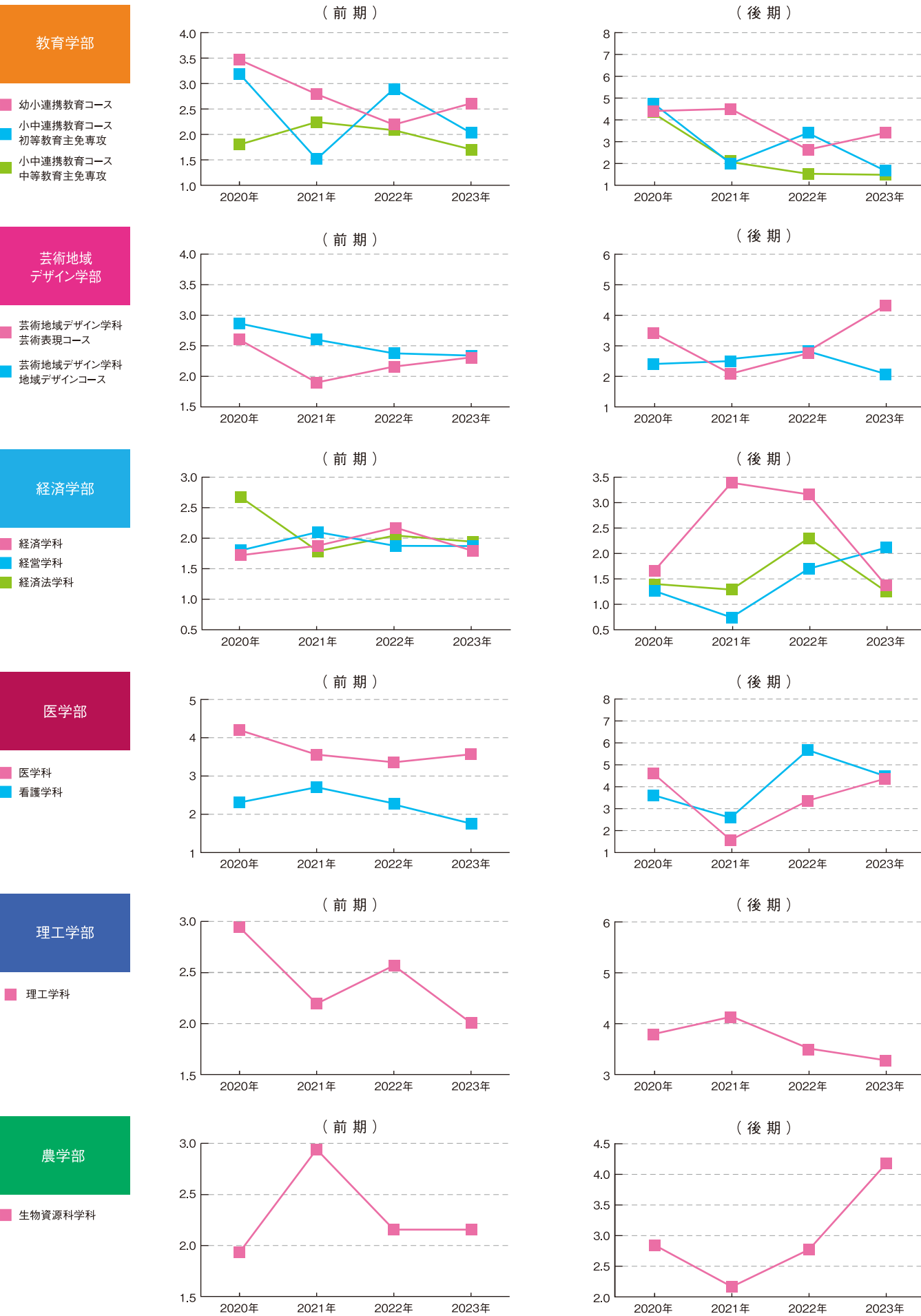
※私費外国人留学生入試、帰国子女入試、社会人入試は除く。

2023年度 一般選抜における合格者のデータ

学部・学科・コース等				前期日程				後期日程			
				大学入学共通テスト 個別試験 配点比	大学入学共通テスト 平均点	個別試験平均点	合計最低点	大学入学共通テスト 個別試験 配点比	大学入学共通テスト 平均点	個別試験平均点	合計最低点
教育学部 学校教育課程	幼小連携教育コース			900：400	545.194	245.56	715.500	1000：400	—	—	—
	小中連携教育コース	初等教育 主免専攻	地歴・公民2科目型		540.671	246.63	730.500		612.806	261.44	802.000
			理科2科目型		—	—	—				
		中等教育 主免専攻	地歴・公民2科目型		607.182	259.82	820.500		—	—	—
			理科2科目型		—	—	—				
	芸術地域デザイン学科	コース	芸術表現		3科目型	500：500	319.100		343.83	579.500	500：300
4科目型				600：400	—	—	—				
地域デザインコース			700：400	462.900	278.40	701.000	600：300	411.125	203.05	575.000	
経済学部	経済学科			700：100	451.673	71.70	497.500	700：100	477.149	69.84	509.000
	経営学科				453.109	71.53	499.000		480.540	70.84	510.000
	経済法学科				457.732	73.29	509.000		472.711	72.37	516.000
医学部	医学科			630：300	532.096	226.64	728.500	630：120	—	—	628.400
	看護学科			650：160	408.095	113.99	483.350	590：120	—	—	—
理工学部	理工学科			900：600	535.437	362.15	805.400	600：400	403.608	317.45	645.625
農学部	生物資源科学科			600：400	359.720	261.58	595.000	550：200	367.728	153.94	501.000

◎合格者が10人未満のデータについては公表していません。
◎医学部(後期日程)については、大学入学共通テスト及び個別試験の最高点・最低点・平均点を公表していません。
◎芸術地域デザイン学部芸術表現コース及び医学部以外の合計最低点には特色加点の得点が含まれます。

過去の一般選抜の実質倍率（受験者数÷合格者数）



2023年度 学校推薦型選抜入試実績

学部・学科・コース等				対象となる高等学校の科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数・入学者数
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	一般枠	全科	5	22	22	5
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻	佐賀県枠	全科	7	19	16	7
芸術地域 デザイン学部	芸術地域 デザイン学科	芸術表現コース		全科	5	7	7	5
経済学部	経済学科			商業系の科・ 情報系の科 および総合学科	10	12	12	8
	経営学科				20	30	30	23
	経済学科			普通科	10	33	33	13
	経営学科				10	24	24	13
	経済法学科				10	20	20	10
医学部	医学科	学校推薦型 選抜Ⅱ	一般枠	全科	20	61	61	20
			佐賀県枠	全科	18	57	57	18
			長崎県枠	全科	1	3	3	1
	看護学科	学校推薦型選抜Ⅰ		全科	20	64	64	20
理工学部	理工学科	情報分野		情報系の科・総合学科	2	4	4	4
		化学分野		工業系の科・総合学科	2	3	3	1
		機械工学分野		機械系の科・総合学科	4	7	7	5
		電気電子工学分野		電気・電子・情報系の科・総合学科	4	9	9	4
		都市工学分野		土木・建築系の科・総合学科	4	3	3	2
農学部	生物資源 科学科	生物科学コース		専門系の科・総合学科	3	7	7	3
		食資源環境科学コース			2	1	1	1
		生命機能科学コース			1	1	1	1

2023年度 佐賀県推薦入学入試実績

学部・学科		募集人員	第2次選考志願者数	受験者数	第2次選考合格者数・入学者数
医学部	医学科	4	7	7	4

※第1次選考は、佐賀県が実施。第2次選考は、佐賀大学が実施。(参考)第1次選考志願者数は7人。

2023年度 総合型選抜入試実績

学部	学科・課程・コース・専攻		募集人員		志願者数		受験者数		合格者数・入学者数	
			総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
教育学部 学校教育課程	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	10	—	41	—	41	—	10	—
		中等教育主免専攻	8	—	24	—	24	—	8	—
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	10	—	43	—	42	—	12	—
		地域デザインコース	15	—	47	—	47	—	16	—
理工学部	理工学科	数理分野	2	2	5	9	5	9	2	2
		データサイエンス分野	3	2	3	3	3	3	1	2
		情報分野	8	7	21	27	21	27	7	7
		化学分野	5	15	11	23	11	23	3	16
		物理学分野	7	3	14	7	13	7	7	3
		機械工学分野	10	10	20	10	20	10	8	10
		電気電子工学分野	5	12	10	14	10	14	5	12
		都市工学分野	4	12	18	30	18	30	2	13
農学部	生物資源科学科	生物科学コース	—	10	—	21	—	21	—	10
		食資源環境科学コース	—	5	—	7	—	7	—	6
		生命機能科学コース	—	10	—	45	—	45	—	10
		国際・地域マネジメントコース	5	—	10	—	10	—	5	—

2024年度 入試スケジュール

	総合型選抜Ⅰ・Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ 佐賀県推薦入学	一般選抜〈前期〉	一般選抜〈後期〉
	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・理工学部 ・農学部	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 看護学科 ・理工学部・農学部	・医学部 医学科	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 ・理工学部・農学部	・教育学部 ・芸術地域デザイン学部 ・経済学部・医学部 ・理工学部・農学部
9月	総合型選抜Ⅰ 〈出願期間〉 教育学部・芸術地域デザイン学部 9/14(木)～21(木)				
10月	教育学部・芸術地域デザイン学部 〈試験日〉 10/13(金)・14(土)				
11月	〈合格者発表〉11/1(水) 総合型選抜Ⅰ 〈出願期間〉 理工学部・農学部 11/1(水)～7(火) 〈理工学部 試験日〉 11/25(土) 〈農学部 試験日〉 11/24(金)	〈出願期間〉 11/1(水)～7(火) 〈経済学部・理工学部 ・農学部 試験日〉 11/24(金) 〈教育学部・芸術地域デザイン学部・ 医学部 看護学科 試験日〉 11/25(土)	学校推薦型選抜Ⅱ 〈出願期間〉 11/1(水)～7(火) 佐賀県推薦入学 〈出願期間〉 11/15(水)～20(月) 〈試験日〉 11/25(土)		
12月	〈合格者発表〉12/4(月)	〈合格者発表〉12/4(月)			
1月	1/13(土)・14(日) 大学入学共通テスト				
	総合型選抜Ⅱ 〈出願期間〉 理工学部・農学部 1/15(月)～31(水)			〈出願期間〉 1/22(月)～2/2(金)	〈出願期間〉 1/22(月)～2/2(金)
2月	〈合格者発表〉2/13(火)		〈合格者発表〉2/13(火)	〈試験日〉2/25(日) 〈医学部 試験日〉 2/25(日)・26(月)	
3月				〈合格者発表〉3/6(水)	〈試験日〉3/12(火) 〈合格者発表〉3/21(木)

募集要項等の発表時期

要項の種別	発表時期
入学者選抜要項	6月下旬
総合型選抜Ⅰ 学生募集要項(教育学部、芸術地域デザイン学部)	8月上旬
総合型選抜Ⅰ 学生募集要項(理工学部、農学部)	9月中旬
総合型選抜Ⅱ 学生募集要項	
学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ 学生募集要項	

要項の種別	発表時期
学校推薦型選抜Ⅰ 教育学部 学校教育課程 佐賀県枠 学生募集要項	9月中旬
佐賀県推薦入学特別入試 学生募集要項	
一般選抜 学生募集要項	12月上旬

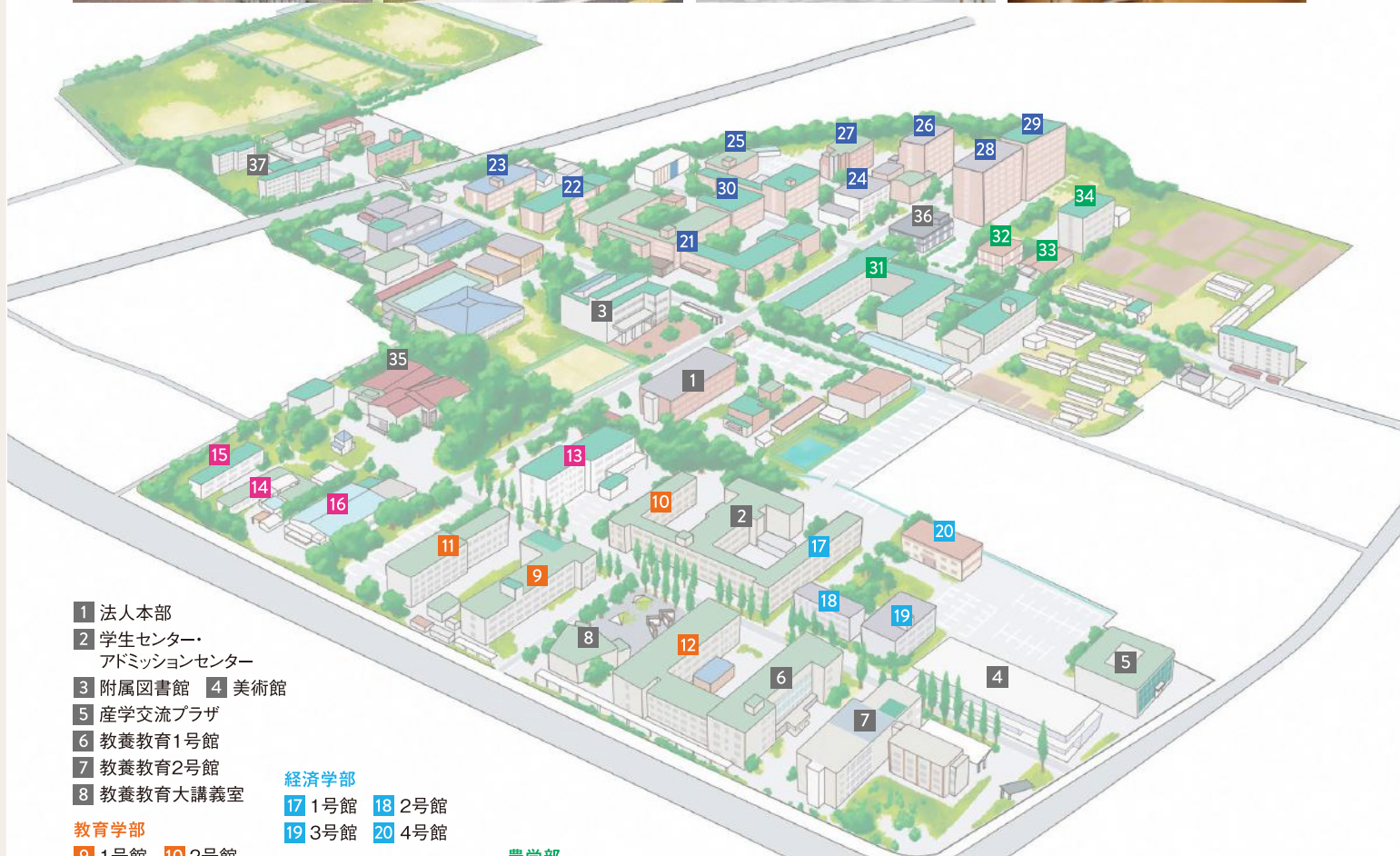
CAMPUS MAP

キャンパスマップ

本庄キャンパス

国道208号線沿いに位置した暮らしに快適な環境。
佐賀県の歴史や文化にも触られます。

教育学部 芸術地域デザイン学部
経済学部 理工学部 農学部



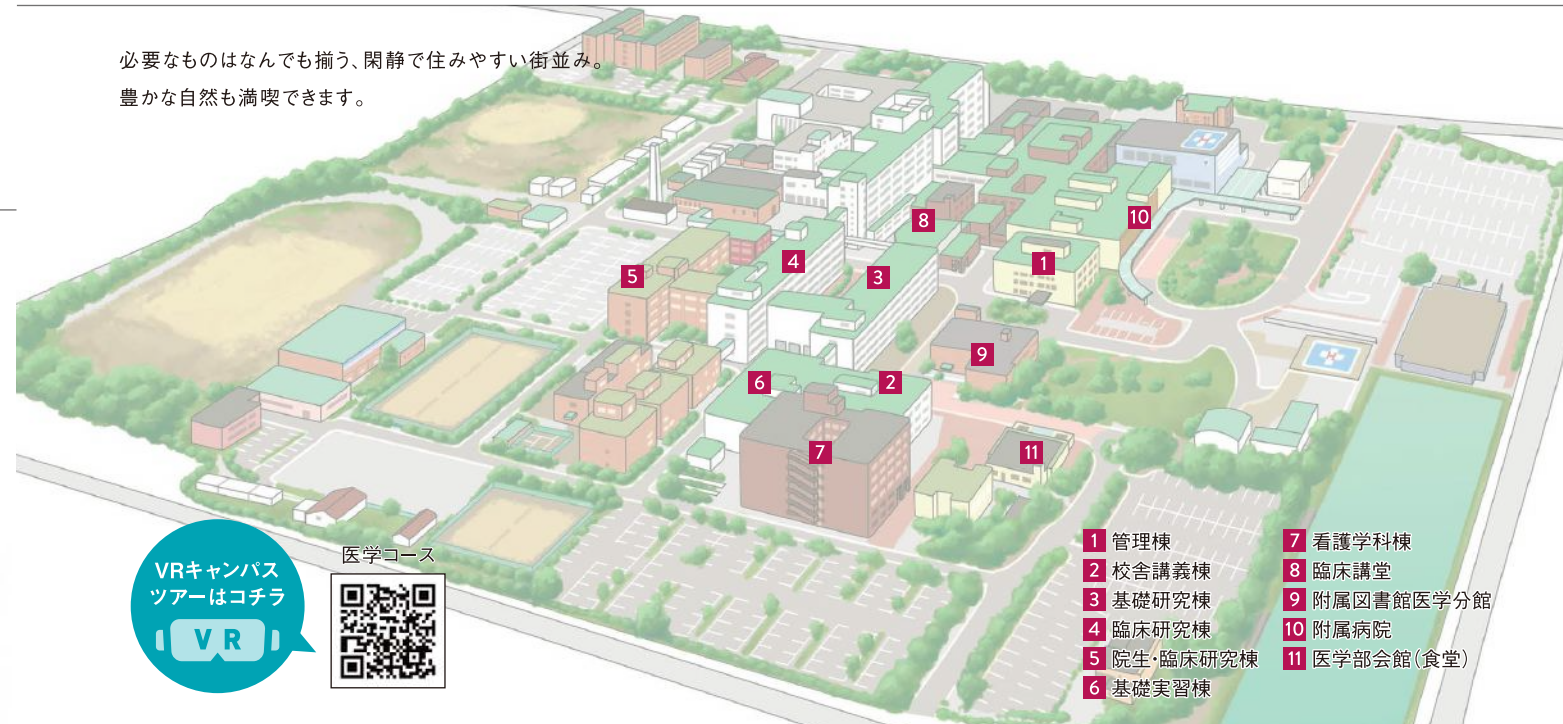
- 1 法人本部
- 2 学生センター・アドミッションセンター
- 3 附属図書館 4 美術館
- 5 産学交流プラザ
- 6 教養教育1号館
- 7 教養教育2号館
- 8 教養教育大講義室
- 経済学部
 - 17 1号館 18 2号館
 - 19 3号館 20 4号館
- 教育学部
 - 9 1号館 10 2号館
 - 11 3号館 12 5号館
- 芸術地域デザイン学部
 - 13 1号館 14 2号館
 - 15 3号館
 - 16 総合研究1号館
- 理工学部
 - 21 1号館 22 2号館
 - 23 3号館 24 4号館
 - 25 5号館 26 6号館
 - 27 7号館 28 8号館
 - 29 9号館 30 大学院棟
- 農学部
 - 31 1号館 32 2号館
 - 33 3号館 34 4号館
 - 35 大会館・大学生協
 - 36 かさざきホール
 - 37 楠葉寮



鍋島キャンパス

医学部

必要なものはなんでも揃う、閑静で住みやすい街並み。
豊かな自然も満喫できます。



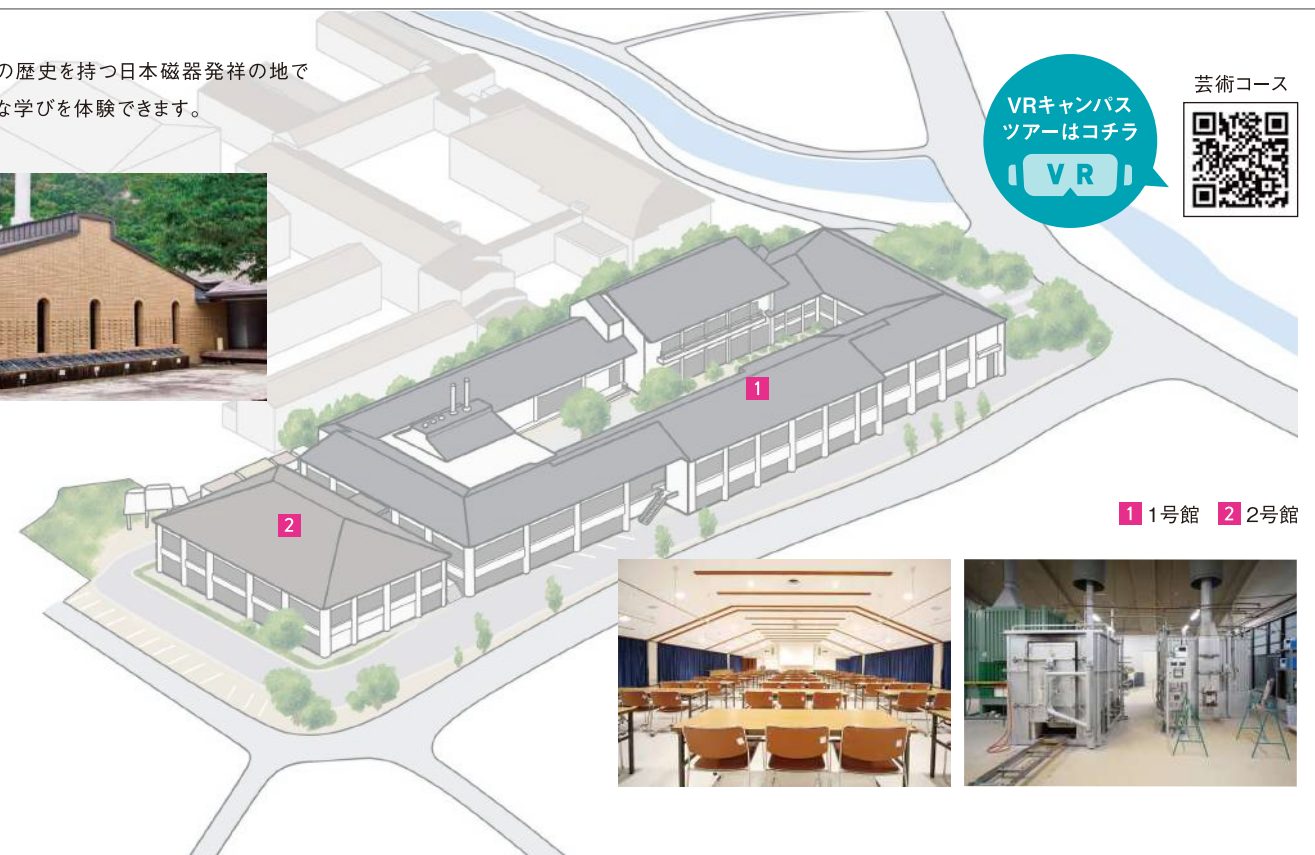
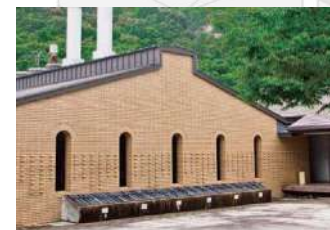
- 1 管理棟
- 2 校舎講義棟
- 3 基礎研究棟
- 4 臨床研究棟
- 5 院生・臨床研究棟
- 6 基礎実習棟
- 7 看護学科棟
- 8 臨床講堂
- 9 附属図書館医学分館
- 10 附属病院
- 11 医学部会館(食堂)



有田キャンパス

芸術地域デザイン学部

400年の歴史を持つ日本磁器発祥の地で
本格的な学びを体験できます。



- 1 1号館
- 2 2号館



ロケーション/アクセス

LOCATION / ACCESS

佐賀県の魅力を余すところなく体験できるロケーション

佐賀大学は、歴史と文化と自然の漂う有明海に近い佐賀市内にキャンパスを構えています。
アクセスも便利で生活しやすさは抜群。佐賀の魅力をご堪能ください。

本庄キャンパス・鍋島キャンパスMAP



本庄キャンパス



鍋島キャンパス

アクセス

本庄キャンパス	自転車	JR佐賀駅	電車(特急)	JR博多駅
	約15分		約35分	
	バス	佐賀駅	西鉄高速バス	天神
	約15分	バスセンター	約1時間20分	
鍋島キャンパス	自転車	JR佐賀駅	電車(普通)	JR久留米駅
	約15分		約1時間	
	バス	佐賀駅	西鉄バス	西鉄久留米駅
	約15分	バスセンター	約1時間30分	

鍋島キャンパス	バス	JR佐賀駅	電車(特急)	JR博多駅
	約25分		約35分	
	バス	佐賀駅	西鉄高速バス	天神
	約25分	バスセンター	約1時間20分	
有田キャンパス	バス	JR佐賀駅	電車(普通)	JR久留米駅
	約25分		約1時間	
	バス	佐賀駅	西鉄バス	西鉄久留米駅
	約25分	バスセンター	約1時間30分	

有田キャンパスMAP



有田キャンパス

佐賀大学だけの入試POINT

入試3つの
ポイントについて
詳しくはこちら



POINT 1

自分の強みをアピールして加点! 特色加点制度 一般選抜

「特色加点制度」とは、高校時代に取り組んできた活動や経験を大学入試後にどう活かせるのか、「学びに向かう態度」を評価する佐賀大学独自の制度です。大学入学共通テスト、個別学力検査などの合計点とは別に、これまでの主体的な活動や実績をアドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請が必要なので積極的に活用しましょう。

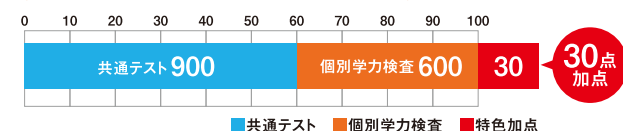
〈申請できる活動実績の例〉

- 研究活動 ●課外活動 ●学校行事 ●社会活動 ●資格・検定取得
- 海外留学経験 ●大会・コンテスト ●その他主体的な活動

〈導入学部〉・教育学部・芸術地域デザイン学部(地域デザインコース)
・経済学部・理工学部・農学部



〈2023年度一般選抜の加点例(理工学部の例)〉



POINT 2

検定試験のスコアを大学入学共通テストに換算! 英語外部検定試験の利用 一般選抜

英語外部検定試験の結果を一般選抜(前期日程及び後期日程)に利用できます。

〈利用できる検定試験(大学入学共通テストの英語は受験必須)〉

実用英語技能検定

英検CSEスコア2.0、英検S-CBT、
英検S-Interview、英検(従来型)全て含む

TEAP(4技能)

GTEC(4技能)

CBT、Advanced、Basicタイプの
オフィシャルスコアに限りません

TOEFL iBT

〈利用方法〉

- ・検定試験の成績を換算表に基づき、大学入学共通テスト(英語)の得点に換算し、大学入学共通テスト(英語)の成績とみなして合否判定に利用します。
- ・検定試験の換算点が、大学入学共通テスト(英語)の得点より高い場合に、検定試験の換算点を採用します。
- ・大学入学共通テストの英語(リーディング及びリスニングの合計200点)が100点を下回る場合には(得点率50%未満)、換算表の基準を満たしていても検定試験の換算は行いません。

POINT 3

タブレットを使って動画などの問題を解く! CBT試験 特別選抜

「佐賀大学版CBT(Computer Based Testing)」とは、ペーパーテストでは評価することが難しい「能力・資質」について、デジタル技術を活用して評価します。

TYPE1 基礎学力・学習力テスト

タブレット上で基礎的な問題を出題し解答します。すべての問題を解き終わった後、自動採点を行い、間違えた問題については正答と解説文が提示されます。更に類題の「再チャレンジ問題」に進み正答すれば、「学習力」が備わっていると評価します。

問題への解答後、採点ボタン
試験時間中に自動採点

全問正解

試験終了
基礎学力が
あると評価

間違えた場合

間違えた
問題に対する解説表示
学習・理解

再チャレンジ問題へ進む 類題に再挑戦

正答すると学習力があると評価

〈入試制度〉基礎学力・学習力テスト

〈導入学部〉経済学部(学校推薦型選抜I)、理工学部(学校推薦型選抜I)
農学部(学校推薦型選抜I、総合型選抜I)

TYPE2 思考力・判断力・表現力を問うテスト

動画を活用してペーパーテストでは評価できない思考力等を評価するテストです。



実験動画などをみる

問題のイメージ

- ・科学的な現象を説明する
- ・記述式は、解答用紙に記入する

着眼点:
科学的な思考力
や表現力を評価
します

〈入試制度〉思考力・判断力・表現力を問うテスト

〈導入学部〉芸術地域デザイン学部(3年次編入学)、医学部(3年次編入学)、
理工学部 化学分野(総合型選抜I)

TYPE3 英語技能テスト

対話的コミュニケーションだけでなく、映像や資料の読み取りなどを基本にした基本的なプレゼンテーション能力もコミュニケーション能力(SpeakingとListeningのみ)の一部として評価します。ReadingとWritingは筆記試験で評価します。

英語4技能

(聞く、話す、読む、書く)

コミュニケーション能力

(プレゼンテーション能力も含む)

総合的に
評価します

〈入試制度〉英語技能テスト

〈導入学部〉教育学部 英語分野(総合型選抜I)

SAGA UNIVERSITY GUIDE BOOK 2024

受験生
応援サイト



SAGA UNIVERSITY
国立大学法人

佐賀大学

佐賀大学 学務部入試課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL.0952-28-8178

contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

<https://www.saga-u.ac.jp>

佐賀大

検索

AIが24時間365日いつでも回答!

佐賀大学 AIチャットボット

佐賀大学へ入学を希望する方々の
様々な質問にAI(人工知能)が
24時間365日いつでもお答えします!!



佐賀大 AIチャットボット

検索